無産階級戰鬪雜誌

進め

第四年 ◆ 一月 ◆ 第一號

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
第四年第一號　大正十五年一月一日發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

◇我等の宣言……卷頭言

◇時評
共產派と反共產派分離の意義、共產黨の責任
排すべきものを排せ。ブルジユアー政府の失業對策、
擧國一致。狙上の四百萬圓。青年を送り新年を迎ふ。

◇論彈
論理と實際上の間隔……高木平源
ファシズムの高潮……物部明
學者の狹投……邊山香澄
人間權を奪還せよ……井上生
或るアンチミリタリストの信條……水野正次
新らしき女性へ……梅津四郎
無產政黨と無產者……湯原彦三
勞働運動に警告……山本生

全土戰報
十四年回顧と十五年の豫想　勞働運動家、社會運動家、思想家四十氏
爭議に對する見解と應援の態度

◇川崎爭議に於ける評議會の態度批判
共產黨なる伏魔殿の打破

◇共產黨の陰謀政研乘取りの顚末……濱田博之
全國水平社聯盟第一回協議會
高橋貞樹放逐さる

論文
◇學藝への警告……本莊可宗
戰爭と階級爭鬪……橋野昇
大衆への生活……渡邊信義
進め社だより　福田だより

◇社會講談御藏入鄉の暴動……山川亮
編輯だより……

社告

外に向つては反動の激流渦巻く中を勇敢に闘爭しながらまた自己の陣營内にだては幾多の紛爭と分裂に悩みながら我國の無產階級は大正十四年を送り、無產政黨樹立の問題に直面しつつ、茲に大正十五年を迎へた。資本の總攻擊は無產階級の戰線に對して繼續せられると共に、吾等の陣營內に於ても、より深刻により隆然と左右兩翼の確執が開始せられる事を、吾等は深く豫期しなければならぬ。

この重大なる劃時代的の年に於て吾が「進め社」は無產階級解放運動の原理に打ち鍛えられたる精銳の戰士を結束して、吾等が解放戰線上障碍となる可き一切の事相に對して、斷乎として決戰することを茲に宣言する。

權謀と陷穽を無產階級の戰術と心得る、また無批判なる盲從的事大精神を共產主義の鐵則なりとする輩が、吾國無產階級の上に君臨して專制を縱にするが如きは、許す可らざる階級戰の犯罪者である。

吾「進め社」は之等の奇怪なる封建主義に對して、無產階級の名に於て極力論難すると共に、その正道なる者に對しては敢て援助を辭せず、眞に「進め」をして無產階級の爭鬪精神たる充ちたる雜誌たらしめるであらう。

吾等と志を同じくする全無產階級の純眞なる戰士諸君の熱誠なる援助の下に、刀折れ矢盡くる迄も、吾等は奮鬪力戰せんことを期する。希はくば、諸君との協力に依つて、吾等の志を遂げしめよ吾が「進め社」は以下の如き新陣容を整へて、從來嘗て無かりし組織と結合とに基く戰鬪振りを示さうとする。その諸戰士の顏觸れと、組織の如何は次の如くである。再三行はんとして種々の事情の下に行ひ得ざりし計劃を、大正十五年の新春劈頭に於て、諸君に告げ得ることを實に吾等は欣快とするものである。

吾等のこの運動をして最も意義あらしむ事は運動目下の急務である。

吾等と志を同じふせられつゝある大方同志諸君の自發的應援あらんことを切望する

顧問
布施辰治　山崎今朝彌　高畠素之　福田狂二

同人代表　福田狂二

同人
石川準十郎　山川亮　鈴木厚　渡部信義　近藤男二　大橋虎雄　加藤利藏　服部道夫　松里茂　岳陽之助　北山平次　秋山晋　渡邊理治　松山政雄　奥野直義　山根積　福田狂二

編輯部委員
石川準十郎　山川亮　鈴木厚　渡部信義　松里茂　渡邊理治　松山政雄

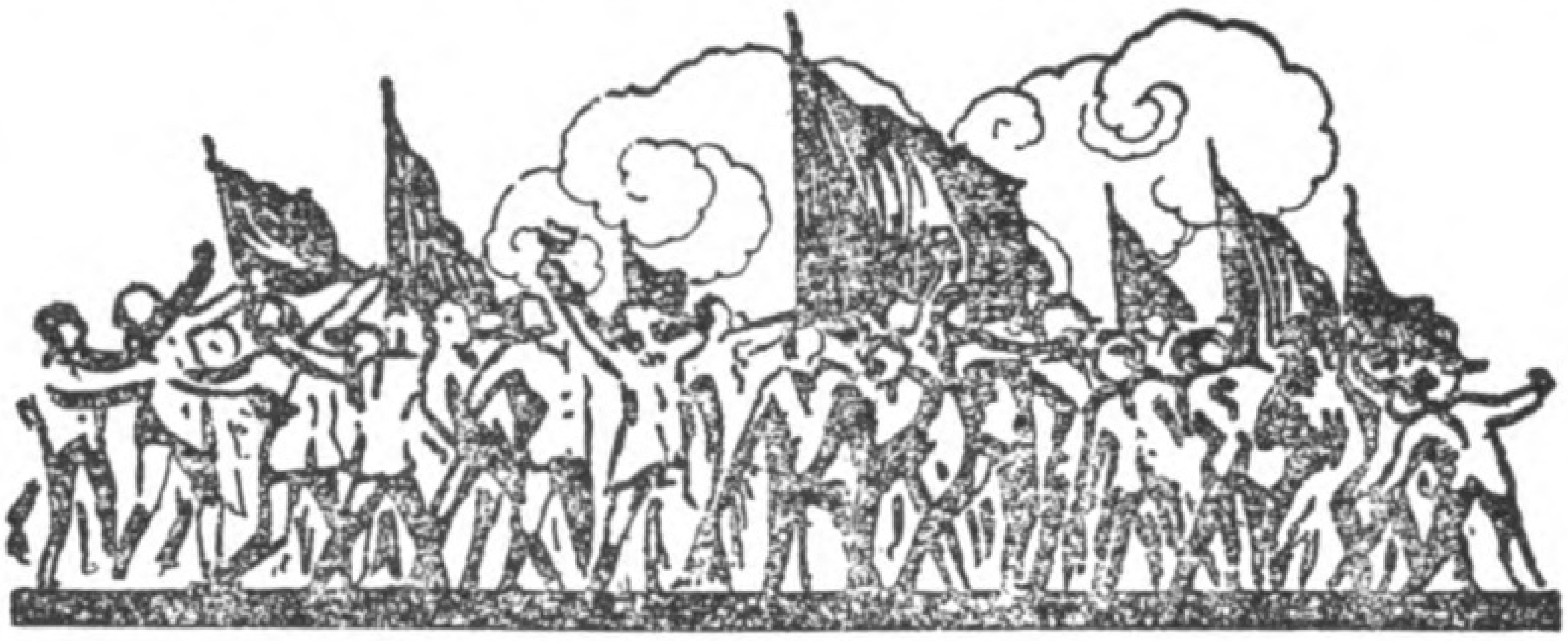
事務部委員
北山平次　近藤男二　大橋虎雄　加藤利藏　松里茂　渡邊理治　松山政雄　服部道夫　渡部信義　山根積　奥野直義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級戦闘雑誌進め

第四年

第一號



我等の宣言

我等は日本無産階級の解放を期し、日本無産階級解放戰線上にその最善を盡して戰はんことを期する。その階級精神の把持と斃れて後止むの覺悟に於ては、決して天下の同志諸君の後に落つるなきを信ずるものである。我等は我等の戰線を愛す。我等は我等の理想に向つてその眞正の運動を展開せしめんことを期す。

然し乍ら省みるに、然らば如何なる踏進精神乃至如何なる規範的態度の上に築き進められる運動こそが、日本無産階級の解放にとつて眞正の運動であり、眞に日本無産階級をして解放に至らしむる所以であり得べきか。日本無産階級運動昨今の情勢は、此處に我等をして我等の採る所を明らかにせしめ、我等の今後の戰ひを明瞭ならしむる必要あるを思はしむ。我等は我等の責任を賭けて次の如き我等の踏進精神乃至我等の規範的態度を宣言する。

第一に、我等は批評的精神の上に日本無産階級運動を發展せしめんことを期する。批評的精神こそは常に被支配階級の實在的必要の要求する所のものであり、近世社會主義運動の根底に横はる所のものである。我等は、この批評的精神の上に築き進められる運動のみが、よく眞に日本無産階級をして解放に至らしむべきを信ずる。我等は大体に於てマルキシズムを採る。然し乍ら、マルキシズムを天降り的偶像的に信奉するものではない。マルキシズムを批評的精神を以て、日本の實在に即して、發展せしめんとするものである。我等はモースコーの教義若しくはアムステルダムの教義を實證せんが爲に、[illegible] 我等は日本無産階級を解放せんが爲に [illegible] ある。我等は一切の天降り的、獨斷的、偶像的信奉を排する。天降り的、獨斷的、偶像的信奉こそは、よしそれが如何に民衆の利益の名に於て行はれようとも、その窮極に於ては常に民衆をして奴隷の境遇に沈倫せしむるに役立つ所のものである。

第二に、我等は互助の精神の上に日本無産階級運動を發展せしめんことを期する。我等は互助の精神こそは常に人類社會の、隨つて無産階級の實在的必要の要求する所のものであり、互助の精神の上にこそ初めて我等の理想社會の到達さるべきを信ずる。我等は互に僞りなき信愛の情を以つて相扶け、相導き、相慰め以つて我等の聖戰を營まんことを期する。我等は人間を以つて目的ではなく手段とする一切の利用主義者を排する。利用主義は由來支配階級の一特質をなすものであつて、理想社會を期する我等の間に許さるべきものではなく、利用主義者は眞の無産階級解放の友ではない。

我等は以上の如き踏進精神乃至規範的態度の上に日本無産階級運動を發展せしめんことを期する。若しそれ日本無産階級運動の内部に、マルキシズムを批評的精神を以つて發展せしめようとせず、踏臺として利用せんとする一種の新たなる支配階級志願群あるあらんか、我等は [illegible] と共に、斯かる一團に對して勇敢なる排撃を期するものである。(完)

時評

共産黨派と反共産派との分裂の意義

日本無産階級運動は今や重大なる時期に差し掛りつゝある、嘗て所謂無政府主義派とボルシエビズム派の名の下に概括されて居た反無政府主義派との間に醸された分裂にも勝る劃時代的な、大規模な分裂が、今や日本無産階級運動の上に行はれようとしつゝある。所謂共産黨派と反共産黨派との分裂である。この分裂は決して評議會と總同盟との分裂、無産政黨準備委員會に於ける評議會側と總同盟側との分裂に止まるものではない大正十五年の日本無産階級運動は、全國に亘るその分裂を以つて終始するであらう。

然らば、所謂共産黨派と反共産黨派との、分裂を呼び起せる乃至呼び起す所の原因はそも〳〵何んであるか。由來斯の如き社會的事象の醸さるゝ背後には、常に種々の原因が錯綜して作用して居るものであつて、嚴密には決して一定の原因に限られるものでもなく、又一定の原因に還元し得られるものでもない、然し乍ら、大体に於て來りつゝある共産黨派と反共産黨派との分裂は、ロシア社會主義をロシアの後援に依つてそのまゝ日本に展開せしめようとするものと日本は日本で日本の實情に即した社會主義を展開せしめようとするものとの分裂であり、同志も民衆も道具として利用せんとする利用主義者と利用主義反對者との分裂である。されば、その分裂の根底に横はる所のものは、全体として、日本のリアリテイ、であり、道徳觀の問題である

日本無産階級運動が嘗つて無政府主義派とボルシエビズム派(所謂復歸共産主義派)とに分裂するに至つた時、それは「空想より科學へ」の進步の一段階を意味するものであつた。同時に、共産黨派と反共産黨派との分裂も、亦「空想より科學へ」の進步の一段階を意味するものである。それは普遍的實在より個別的實在への進化であり、反社會的より社會的への進化である。

所謂共産黨派の理論家諸君は口を並べ得意の曲筆を弄して、この反共産黨派の勃興的徴候をば「資本主義最後の階段としての帝國主義反動期」若しくは「異る社會族」「勞働貴族」等にこじつけようとして居る。然し乍ら斯くの如き「觀念」のために「實在」を捏ね上げた批評は、その得意の常套手段たる「スパイ」「反動」「日和見」と共にやがて其効力を失て行くであらう。(石川)

共産黨の責任

無産政黨創立委員會は、反共産黨組合の本城たる總同盟の最後の果敢なる決意に依る脫退(十一月三十日)及び、次いで現れたる共産黨組合の本城たる評議會の策略的脫退(十二月二日)に依つて、果然共産黨派と反共産黨派との決裂を見るに至つた。尤も、共産黨派必死の暗中飛躍と「單一無産政黨成立」なる無意義なる美名とは、辛うじて殘部諸團体をして一時よく「農民勞働黨」を成立せしむるに至つたけれ共、然し乍らそれは初めより無理を有する成立であつて、早晩共産黨派(少數)と反共産黨派(多數)とに分裂すべき性質のものであつた。而して、眞の日本無産階級解放運動の發展のために、その過程經驗は寧ろ望ましきものであつた。然るに、不幸にして「農民勞働黨」は成立と同時に支配階級政府に依つて禁止せらるに至つた。そして今や日本無産政黨は、その創立委員會の分裂に次ぐ禁止に依つて、その初めより分立せざるべからざるに至つた。

かくしてヘーゲル的マルキンスト、唯物論的辨證法主義者の「正」「反」「合」發展論理の大本教的予言は、「事實」の前に、一たまりもなく粉碎され了つた(蓋し、彼等に依ると、總同盟よりの評議會の分裂は「正」に對する「反」であり、單一無産政黨の成立はその「合」であつたのだ)單一無産政黨成立の裡に飽迄相手(反共産黨派)を道具として利用して行かうとした共産黨派にとつては、この分裂(結合失敗)は定めて回天の痛恨事に相違なからうが、日本無産階級運動にとつては寧ろ喜ぶ可き劃時代的進步である。それは「空想より科學へ」の進化であり普遍的實在より個別的實在へ反社會的より社會的への進化である。

無産政黨の分裂決定と共に所謂共産黨派はその全機關紙を擧げて其豫定行動─總同盟に對する分裂の責任呼ばり─に移るであらう。山川均先生

を初めとして共產黨派の理論家諸君は、例の立板に玉を轉ばせるが如き辯舌の巧みを以つて、分裂の責任呼ばりをするであらう。

けれ共今日の無產政黨創立委員會の決裂を見、無產政黨の分裂を見るに至つたについては、既に述べたるが如き當然の理由が存在すると共に、若し責任呼ばりをするならば寧ろ共產黨派にその責任が存在するのである。多年我國無產階級運動に傳統的勢力を形成し來つた共產黨諸君は、由來驕慢と惡辣とを以つて一貫して居た。彼等は彼等の勢力維持のためには、如何なる手段をも、同志をも「スパイ」「反動」「日和見」の名に於て葬ることも又兄弟の罷業を妨害することも（川崎の爭議に於けるが如き）辭しなかつた。この共產黨派の行り方こそは今日四方に反共產黨の共產主義者を蜂起せしめつゝある所以であり、總同盟をして無產政黨創立委員會より脫退を決意せしめた所以なのである。されば、今日無產政黨の分裂の責任を那邊かに求むるならば、それは共產黨諸君のこの傳統的態度に求むるより他はないのである。誰かその信じ得ざる者と行を共にする者ぞ!!!。

興望を失ふものを葬れ!
排すべきものを排せ

今や日本無產階級運動の上に、その當然興る可かりしものが興りつゝある。日本の土に足をつけた社會主義運動は今や日本無產階級運動の中央に於て漸く決定的勢力を占め來りつゝある。一時日本無產階級運動の全國は風靡した、觀のあつた直接社會主義即ち共產黨社會主義運動は、今や運動の中心地帶に於て日一日と新興社會主義運動のために其勢力を驅逐されつゝある。而して中央に於て次第にその信を失ひつゝある共產黨派は今やその豐富なる運動資金を通じて、地方に向つて其全力を擧げつゝあるもの〻如くである。運動費なく機關紙の少い反共產黨派は、宣傳戰に於て明らかに負けて居る。今日事情を知らざる地方の同志は稍々もすれば彼等得意の巧妙なる言動のために惑はされつ〻ある傾向にある。

然し乍ら、この傾向は決して長く續くものではない。やがて各地に反共產黨の地方的無產者團体はその朴訥なる營と共に、勞働組合の形態に於て若しくは政治團体の形態に於て、興起し來るであらう。且興起し來らせねばならぬ。それは日本無產階級社會の實在的必要が要求する所のものである。眞に日本無產階級の解放を希ひ、共產黨派の邪道的進み方に反對する者は、この全國的反共產黨派の興起に從事せねばならぬ。

反共產黨派の勃興は既に全國的氣運である。事實の進展とマルキシズムに對する研究の進歩とは、兩々相俟つて益々反共產黨派をして勃興せしむるであらう。而して、反共產黨派團体の全國的勃興は、必然的に反共產黨派のみの無產政黨の組織を呼び起して來るであらう。そしてそれは正に當然である。

來るべき無產政黨の計畫は嚴に共產黨派と反共產黨派とに分れなければならぬ。今日「單一無產政黨設立」なる大義名分論は成立しない。「單一無產政黨設立」は、眞に全無產階級にとつて利益であり必要である實情の下に於てのみ成立する議論である。今日共產黨派のあの進み方を排除することが、日本無產階級運動の正しき發展にとつて何より必要なる實情の下に於て、「單一無產政黨設立」そも／＼何んの大義名分ぞ。反共產黨派は須らく純粹の同志のみの無產政黨設立に向つて準備すべきである。

ロシア社會主義の密圖をそのまゝロシアの後援に依つて移さうとするものを排せ!!!同志も民衆も道具として利用する者を排せ!!!（福田）

ブルジョア政府の失業對策

不景氣の旋風は吹き荒び經濟的恐慌は殆んど底止する所を知らず、疲れたる生存の敗慘者、働くに職なく、食ふにパンなく、寢るに家なき失業者は饑えたる腹を抱えて恰も野犬の如く、寒風つんざく夜の街を彷徨してゐる。

そして之等失業者の數は日一日と激增し、產業豫備軍が街頭に充滿しつゝあるの時、我等は之れに對するブルジョア政府の所謂失業救濟策の何等賴むに足らざるものである事を知るのである。

曰く失業保險、曰く何々と頗る多岐多端に亘る諸種の計畫を常に新聞紙上で見るが、之等の內一として、具体的に實施されたものはないのみならず、誰れ一人として政府の爲めに救濟された者もない。去る日の國勢調查と共に行はれた失業調查の結果、東京に於ける失業者數は一萬四百余人、大阪には二萬人と判明したそうである。そして其の數が豫想より少なかつたと云つて盛んに自慢をしてゐるが我々は之れに對して具体的批判を加へる事は止めたい。色眼鏡を此處迄徹底すれば寧ろ啞然たるのみ。

唯だ我等の云はんとする所

は、ブルジョア政府及びブルジョア新聞の云ふ所謂失業者とは只壹厘の收入もなき者を指すのであつて、假令失業者であつても内職等に依つて壹錢の收入でもありとすれば、其れは最早失業者でなく、立派な有職者であると云ふのである。

即ち政府の云ふ失業者とは勿論壹錢の收入もなく、食ふにパンなく、住むに家なく、着るに衣なき眞實の赤裸々なる人間、—正に饑死乃至は凍死に瀕せる者を指してゐるのである。

然らば資本主義文明の中樞を以つて誇る東京には其の制度の齎らす缺陷から、饑餓の爲め、凍寒の爲め將に死生の境に置かれてゐる者は實に一萬四百余人ある譯になる。

それでは此の不合理なる失業、此の悲慘なる死活問題に對して現政府は果して如何なる措置を執らんとするか。之れ我等の聞かんとする所である。

恐らく現政府は漸次、所謂温情主義の社會政策を曲りなりにも實施するに至るだらう作、併今日の目覺めたる勞働者は懐柔、ゴマ化しの社會政策……（松山）

俎上の四百萬圓

下は中學諸學校から上は官私立の大學にまでの、全國の學生に對する軍事教育よりもより以上に重大な問題として陸軍當局と文部當局との申合せで、十五年度から實施しようと計劃してゐるのが、青少年訓練と云ふやつで、文部省がその訓練費として要求した額は四百萬圓であつた。その内譯は百貳拾參萬圓が軍事教練費で殘額の貳百七拾七萬圓を公民教育費と實業補習教育費とに分割する豫定だつた。所がこの文部省の青少年訓練費四百萬圓の要求額を、大藏省では百萬圓に削減して終つた。そこで不足額の參百萬圓を文部省ではどうするかと云ふ問題なのだが、文部當局が百萬圓だけで青少年軍事教練費と公民教育費と實業補習教育費とに分割するやうなら何も文句はないが、然しそれでは何の仕事も出來ない。だから結局は百萬圓は軍事教練費に全部を使用して終い、公民教育費と實業補習教育費とを合せた參百萬圓を地方費に移擔せしめやしないかと云ふことである。否、必ずさうして最初の計畫通り四百萬圓で全國の青少年に對する軍國主義的教育實施をやるに相違ない。

十五年度の義務教育費國庫補助金額は貳千萬圓である。結局青少年に對する教育費參百萬圓の不足額は、この貳千萬圓の中から差引かれる結果を見る。この義務教育費國庫補助金は、その名目は義務教育に對する補助金であつてもその目的は地方財政救濟にあるのだから、參百萬圓を軍事教育費として削減することは目下窮乏に瀕してゐる地方農村をます〱搾取して、農村の青年少年に軍事教練並に軍國主義的思想を吹き込む費用となるのである。

かく四百萬圓の巨費を使用して軍國主義的訓練を施す對象—即ち青少年と云はれる範圍は如何と云ふに、十六歲から廿歲迄の男子であつて、この四ケ年間に施す教育時間は文部當局の計畫に依ると八百時間だと云ふことである。即ち一週間に四時間づゝの訓練を受けることゝなる。吾々が茲で問題にしなければならぬのは、さらでだに十時間以上の勞働時間に依つて生命を削り減らされてゐる、これらの勞働青少年に對して、更らに一週間に四時間の軍事教育を課せんとする無謀さである。陸軍當局の威壓に屈して、白衛軍の下準備の爲めに四百萬圓の巨費と一週間四時間の軍事勞働を強請せんとする、文部當局の意氣地なさと反動的勇氣とには呆然たるものがある。

學生に對する軍事教育に對しては、學校と云ふ強制力が存在する。然しながら地方の勞働青少年に對して、若しも之等の青少年が反對したならば、何の力を以て之れを押えんとするか。吾々はそれに對して地方官憲が必ずや警察力を以て暴壓を試みるであらうことを豫斷する。斯くしてその結果は混亂に始まり混亂に終るであらうことも豫斷するものである。××的氣運は其處に釀成されて行く。

走れ、走れ、どんづまり迄も走れ、目かくしされた資本主義の馬よ。（山川）

學國一致

陸軍、文部兩當局の計畫した青少年軍事訓練なるものが無產階級の子弟を驅り集めて無產階級の進歩的分子に對する組織的××を行使せんが爲めの計畫であると同様に、△△大將の手に依つて生れた立憲大同聯盟即ち黑シヤツ篇なるものも、同じく無產階級の保守的分子を糾合して、我國の勞働階級の進歩的分子即ち勞働組合に挑戰し、勞資戰の陣頭に立つては資本家のブルドックとなり、政爭に際しては保守派の勢力擁護の爲めに暴力を振はんとするものであることは明かである。

斯くして十六歲の少年より

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

廿歳前後の大學生までを、軍事教育を施行することに依つて統一し、それを中央にして在鄕軍人團を右翼として、黑シャツ黨を左翼として、國を擧げて巧妙なる○○の組織の下に强制せんとするのが、官憲の吾等無產階級に對する陰謀對策である。

たとへ立憲大同聯盟が現政府反對派に依つて生れたが爲めに、加藤內閣並に其の與黨がこの黑シャツ黨に好感を有せず、現に多少なりとも壓迫を加へつゝある事實より見てこれを單に資本階級の陣營內に於ける出來事とのみ觀る者は、黑シャツ黨が無產勞働階級の陣營に對する作用を餘りに輕視する者であると云はざるを得ない。勿論かくの如き反動勢力は一時的に如何に威力を逞しくするとも、遂には地平線下に沒し去る可き運命にあるものではあるが、政府黨と云ひ在野黨と云ひ、また官僚と云ひ、これを吾等無產階級から觀れば悉く同じ穴のムジナに過ぎない。無產階級の壓倒的勢力に對しては等しく恐怖を感ずるものであるから、資本の共同戰線に立つブルジョア政黨にとつては之等の保守的反動勢力を動かして、無產階級の前衛と白兵戰を演ずるも尙且つ辭せざるの覺悟を持つてゐるに相違ない。而かも黑シャツ黨の構成分子は如何と見るに、一朝有事の日に白衛中組織の下準備として青少年軍事訓練の名義の下に、〇〇の子弟を集めたと同じく、必ずや無產勞働階級から驅り集めて來て、一大悲劇を演ぜしめやうと彼等は企むに相違ない。

[illegible]るの計劃あることを傳聞した。然しながら四國の事情はそれを露骨にすることを差控えさせたが、今日になつて學生に對する軍事教育、無產階級青少年に對する軍事教練の形に於てその鋒尖を現し、立憲大同聯盟の名に使つて、伊太利のフワスシスチを模倣せんとしてゐる。立憲大同聯盟こそは、伊太利黑シャツ黨を見本にした拙劣極まるカリカチュアである。

吾等は斯の如く軍教と云ひ黑シャツと云ひ、所謂「頭隱して尻かくさず」の軍閥者流の時代錯誤を嘲笑する。（山川）

舊年を送り新年を迎ふ

千九百二十五年を送り千九百二十六年を迎へるに當つて考へるに、本年は最も忌憚なく語るならば、日本無產階級運動が內紛より再び內紛へ入り込むであらう。無產階級運動の戰線內部に於ける小黨分裂私情確執が、益々以て其の激甚の度を加へ來るであらう。しかしながら小黨分裂私情確執の中心問題となるものは、今年も相變らず無產政黨の問題である。

千九百二十五年は思ふに無產政黨の準備期であつた。政治研究會總同盟及評議會に關する諸事件諸問題は總て皆なこの準備期に屬する事件であり問題であつた。それと同時に無產政黨問題に就いての諸種の論說も亦、總て皆なこの準備期に於ける特質を示した。しかしながら千九百二十六年は、早くもこの準備期より構成期に這入る。即ち準備せより構成への中間の過渡期となる。既に準備期に於てさへ小黨分裂私情確執は、決して少しとはしなかつたのだ。今や構成への過渡期に及んで、これが激甚の度を加へ來るは疑ふ餘地がない。

總同盟によつて代表される分子と評議會によつて代表される分子とが、果して一政黨に結合され、一致協力し得るや否や、其れは甚だ疑はしきことである。何故かなれば一政黨に結分され、一致協力し得ると假定せよ。先に我が官憲は、無產政黨の樹立に際し其れが左へ行かざるが爲めには、其の豫備として[illegible]なるものを制定してあるのだ。評議會にしてコンミュニステックな色彩を放棄せざる限り無產政黨を强大ならしめる爲めには、少からざる障害を來すであらう。これは無產政黨を一政黨としての運用上の重大問題である。しかしながら評議會にしてコンミュニステックな色彩を放棄する時は、あつて無きに等しきものとなるが故に其れは不可能なことである。斯くて一時的結合、一時的妥協はあるとしても、兩者の關係は今後益々紛糾するに相違ない。而して兩者の關係が今後益々紛糾するに伴つて、一方又小黨分裂私情確執の層一層激甚の度を加へ來るのである。

小黨分裂私情確執、年々歲々人同じからずだと雖ども、この秋に際し、比較的中間の立場を持する「進め」及其の讀者諸君の如きは眞に無產階級戰線の全國的統一の爲めに、現實に即し大いに奮闘なす可きである。（鈴木）

時評は我等にとつて一番大切なものである。從つて諸君に話したい事がウント山程あつた筈だ。來月からは同人揃つて此れに熱を上げる事にした。諸君も注意して讀んでくれ。

× × × ×

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

爭議に對する吾等の見解と應援の態度

吾等は現在行はれつゝある勞資の實際戰場に於て、その爭議中の一組合の持つ主義及び要求條件に對し、その高低如何を論ずる聊かの必要をも認めぬ。

應援者及び友誼應援組合は爭議組合の旗下に、即ち要求條件の貫徹の爲めに無條件に參集すれば足りるのである。何故かなれば、爭議とは現在にあつて要求條件の貫徹の爲めの鬪爭である以外のなにものでもないからである。

從つて、吾等は爭議中の組合が右傾黨であると左傾黨であるとは、應援の場合何等問題とすべきではない。「爭議はその本然に於て勞働階級、無產階級のものだからである」とは云へ吾等に於ても常に爭議に對する要求條件の高低が問題でないと云ふのではない。大いに問題とすべきである。

只我等の云はふとする所のもの「爭議」なるものは、勞働者側の要求に對し資本家側が勢力、即ち金力と權力とを持つて壓伏せんとする行爲行動に對し、勞働者側はこれの對策としてストライキ、サボタージユに依つて應戰してゐる現狀を爭議と云ふのであつて此の場合に吾等の注意はすべて「爭議が敵の勝利？味方の勝利？」の一点に集中さるべきだと云ふだけの事であつて

若しこの場合に於て要求條件の高低が問題で有り得るとすれば、應援者に取つては、只より高き要求條件が、より低き要求條件より好ましいと云ふだけの話しである。只この好ましいと云ふだけの事であるならば、應援者も爭議組合も共に好ましい事であり、それに不贊成を鳴らす寸毫の理由もない筈である。

そこで爭議に當面しての重大問題は敵との勝敗如何であつて、要求條件の高級とか低級とかのみが問題でない事の理由が分明である。

改めて高級なる要求條件とは、要求に對する高級それ自身に價値あるものではないのであつて、只それが價値あるものとなるには「要求條件の貫徹」即ち爭議に對する勝利と云ふ事が必要である。故に當面せる爭議に際し、「爭議が斯の要永に依つて爲れてゐる」と云ふ事と「爭議の提出條件をして斯くあらしめたい」と云ふことゝの二つの問題は全然劃別して考ふべきである

何故かなれば、此の二つの問題は、一つは思想であり理想であり、一つはそれを超越した、將來に於いて起さなければならない問題。そんな時間をもつた問題ではなく、今現に「行はれつゝある爭鬪」の勝敗それが只の問題なのである。この唯一の問題は物理學上の原則と等しく、同時に同一事件の中刻を占むることが出來ぬのであつて見れば、既に要求條件提出以後に於ける爭議の場合思想は要求條件の勝敗の次きに置かるべきものであることを確心する。

この意味に於て、近頃の爭議なるものを見るに、一組合の爭議に對し他の組合がこれに向つて嘲笑乃至攪亂せんとする組合運動目下の傾向を悲しむ。

× ×

「爭議に當面して主義の如何を論ずれば、今日の一切の勞働爭議は要求條件の上から見ればその理想に於て如何樣なものであらうとも、現在に於ては畢竟階級的生活に對する改善運動である。改善運動は嘆願運動である事、無論であり、改めて一切の嘆願改善運動は勞働階級にとつて〇〇〇運動である」。この見地に立つものにとつては、目下の一切の組合運動が嘲笑出來る立場にある。

殊に甲組合が乙組合より少しく下等な要求で爭議に入つたと云ふだけの事で、乙組は甲組合の爭議を攪亂し、その要求條件を不必要とする理由にはならない。それは只甲組合が乙組合より下等な要求條件であつたと云ふまでに過ぎない。從つて甲組合の爭議に對し、乙組合がその戰線を潰裂し反對するとすれば、それは爭議の統勢を攪亂したものであつて、如何なる理由をもつてするも、結果より見て、官憲と聯合反動的野合である。

此の場合に於て、吾等はよし此の問題を思想上の相違からであるとするも、只單に主義思想上の爭ひであるとの見解の下に事實の攪亂を許すことは出來得ない。

何故かなれば、「爭議」は無產階級の實戰であり、階級戰の戰列にある者は悉く、此の場合爭議そのものを支持すべきが無產階級に籍を置く者の正道だからである

×

「我等は何れの爭議であらうと、それが無產階級のものである限り「その戰線」を支持すべきである。

それが爭議を立場とする無產階級運動の大義名分であることを信ずる。

故に我等は爭議の事實に當面して、その統勢を攪亂するが如き場合は、よしそれが無產階級の銘あるの組合であらうとも排拆し、徹底的に彈該する。

× ×

ことに近時無產階級の大義名分である。共同戰線の合言葉の陰にかくれて、一黨一派の私腹を肥らす奴豬を、無產階級の赤い血で清める必要を痛感してゐる。

今日組合運動外の立場にある吾等は彈該すべき必要を感ずるものに對してはドシ〱彈該する。然し吾等の彈該は事實を持つてする故に、組合或ひは人とに依つて事を斷せず、事によつて人と或ひは組合を斷じて行く見地に立つものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

川崎爭議に於ける評議會の態度批評

川崎に起つた富士紡爭議が何日に初められて何日に終つたか。そして其の結果がどうなつたか。それは爭議に對して熱心であるべき讀者諸君の既に御存知の事であらうから改めて書く程の必要もあるまい。

吾等は只その爭議に於て勞働組合評議會がスカツプの行動に出た。と云ふ事を爭議に參加せぬ或は參加出來得なかつた遠方の同志及び讀者諸君に御傳ひする責任を有してゐる、と共に諸君も又その「スカツプ」と云ふ事實に對して一矢報ひねばならぬ＝プロレタリアの戰線に連帶の責任感を有する者である事を確信する。

× ×

富士紡の爭議に於て、その當面の責任者勞働總同盟の會社側への「希望及び要求條件」が決して高級なものであつたとは吾等も云はない。

然し我國資本家の重鎭「紡績聯合」一方の雄、富士瓦斯紡に勞働組合發會式を上げ得た事は、十四年度に於ける總同盟の一大手柄であつたと云はなければならない。

由來組合運動の振はざる我國に於ても、工場の大やなであり從業員の多數であり且つその虐使振りの模範的である點に於て他に類例を見ず。而も組合運動の振はざる、紡績從業員の如きは無かつた。

それを富士紡全從業員六千三百人の内、三百八十名の組合員を得て總同盟川崎支部として發會式を上げ、十六名の解雇者を出した事に依り、全從業員が一致して罷業を決行するに至つた事は、資本家の心膽を寒からしむるに足り、且つ無產階級の戰線が如何なる者であるかを彼等に示し得たものであつて、組合運動の振はなかつた十四年中では痛快な事の一つなるを失はない。

× ×

此の爭議に於て「總同盟の希望及び要求條件」は確かに高級なものであつた。

彼等資本家は、この低級なる要求條件ですら爭議化するに足る程貧婪であり無智である事を天下に公表した。そこに總同盟の低級なる「要求條件か、力あるものとして初めて生きる。吾等は未組織に近き勞働組合と及び結束堅き鬪爭組合との「要求條件」に對して差違の有るべき事を實戰の上に於て認めざるを得ない。

何故かなれば、未組織勞働者にあつては要求に對する、即ち爭議に對して勝利の感が無ければ、罷業は決行しないからである。

爭議をして最も有効ならしむる事は、全從業員の罷工である事は一度びプロレタリアの實戰に參加せる者の等しく首肯する所であらう。その和と差が即ち「要求條件」の高級と低級との差であるからである。故に「吾等は如何なる要求條件に於てなされ樣ともそれがプロレタリアのものである限り、その戰線を支持すべきである」と云ふ理が分明である。

× ×

曾て我等は同じプロレタリアの陣營にあり、等しく合同主義を信奉し、政治運動を肯定する組合としての總同盟と評議會との「分裂」を組合運動の爲めに悲しむだ。

此の二組合は決して思想上に於ける、アナーキズムとボルシビズムの如き相違の爲めに「分裂」したのではなかつた思想上から來る分裂！只單にそれだけの事であるなら、何故に我等が悲しめ樣、此の分裂に當面して我等の悲しめた故は、評議會が山川を巨頭とし、惡辣を事とする直譯共產主義、所謂日本「法廷共產黨」の魔手にあつたからである。

爲めに今や一切の無產階級運動は政治運動と云はず組合運動と云はず事々に潰裂と渾沌との渦中にある。

× ×

吾等は川崎爭議スカツプの以前、此事件に類似せる事件として曾て大正十二年六月、關東車輛工組合の爭議に對し勞働總同盟關東鐵工組合本所支部がスカツプして、戰線同盟にその事實を糺彈せられ且つ詫證文まで强請せられて、我國組合運動史上に一大汚點を殘せしことを記憶するであらう。この關東鐵工組合本所支部なるものが即ち、總同盟分裂後に於ける評議會の重鎭鐵工組合である事は、無產階級運動の上に常に注意を怠らぬ同志諸君の先刻御存知の事であらう。評議會は生れて幾時も無くして、今又「川崎に」この恥ずべき、下劣なる反無產階級的行動を繰り返して、その歷史の出發点に消えさる醜点を止めた。

吾人は爭議に當面し爭議を一組合の組合利己心乃至は黨派的利己心の滿足の具ならしむる事は出來ない。とは云へ決して組合員の增加の氣運を殺がふと云ふのではない。只、無產階級の輿論をして爭議に對する看視を嚴にし、爭議をしてスカップ或ひは組合と組合との抗爭の余地なからしめんが爲めに努力すべきである。それが組合運動圈外にある。無產大衆の最も重大なる一つの仕事である事を確心する。

×　×

次に吾等は川崎爭議のスカップを報告するに當り、最も公平である爲めに、總同盟及び評議會の相方より散布せられし「ビラ」を諸君に提視し、それに依つてこれを一々討劍する事が、便利であると信ずる。

川崎富士瓦斯紡績爭議團を應援せよ!!!

川崎市の富士瓦斯紡績工場は、紡績業に共通な、勞働者虐使の模範工場である、從業員は この慘虐なる境遇を突破する爲めに勞働組合を組織せんとした。先月末頃からこの空氣は漲溢して本評議會所屬の東京合同勞働組合員と總同盟の組合員とが同時に出來た。總同盟は組合威力を示す爲めに本月八日、關東紡績勞働組合川崎支部の發會式を開催した。その結果 十六名の解雇者を出すに至り、それが動機で全員起つてストライキを決行しやうとしてゐる少數解雇者の復職でモメるので會社と官憲の警戒嚴重となり、從業員の全部が一堂に會することが出來ず、全員一致の要求條件を決定する譯にゆかなかつた。そこで總同盟幹部は、從業員に代つて次ぎの希望及び要求を會社側に提出し今日迄再三交渉を續けてきた

希望條件

一、我々の生活は頗る困難を極めて居ります、會社は賃銀問題に就いて適當なる考慮を拂はれん事を切望します。

要求書

一、寄宿女工の取扱を改善され度し。(イ)親近者に病氣危篤のものある際直に歸鄕を許可せられ度事。(ロ)親近者の面會を自由にせられたき事。(ハ)休日及相當理由ある場合は外出を自由にする事。(ニ)貯金拂戻しは本人立會の上にてなす事。

二、被解雇者全員を復職せしむる事。

三、食事を改善し營養と清潔に留意し二日に一回は肉若しくは肴を使用されたき事。

四、勞働組合加入の自由を認められたき事。

十一月十九日

日本勞働總同盟
關東紡績勞働組合　川崎支部

富士瓦斯紡績株式會社
川崎工場長　吉岡一男殿

以上の希望及び要求は復職の條項を除く外は 凡て會社側が考慮しますと云へば、大勝利解決と云ふ具合に解決が出來る樣な要求である。

我が所屬組合員はそれとは別な要求を持つてゐる。單に 考慮を願ひます、へい考慮します と云ふ具合に解決せんとするものでない。

然しながら我々は 勞働者の幸福の爲の鬪爭には一切の感情や組合利己心を顧みることを罪惡と信じる。

故に我々には此度の爭議に付て我々の 要求を投棄し、總同盟の要求を支持し、その貫徹の爲めに 死力を盡すものである。

そして我々は此度の爭議に付ては、總同盟の指揮の下に働かんとするものである。

資本家の前に共同戰線を完成せよ!

勞働組合萬歲!!

關東地方評議會

罷業は開始せられ爭議は正さに白熱化し、勞資者にその戰線を如何にして支持すべきかの廿二日、關東地方評議會が應援團及び罷工團の大示威運動中に右の激文を散布せしことは如何に强辯するも勞働組合として、その本分を表明したものとは解し難い。

從つて、昨年より陰に陽に抗爭し來つた總同盟對評議會の抗爭は、その資本家に對する鬪爭の白熱化するにつれて益々具体的に深刻化するに至つた。

今我等は茲の激文を平易に一讀して二つの意味のあることを感ずる。

一、罷業團中には評議會員もあり總同盟會員もあり、然るに罷業員全部が一堂に會する事の出來ぬ故をもつて、總同盟幹部が之れに變つて右樣の希望條件及び要求條件とを出すに至つたが、然しその復職の條項を除く外は總同盟幹部の意向で、罷工團の意でない即ち總同盟は罷工團の意の有る所を壟斷したものである。云ひ換れば總同盟は爭議大勝報告の爲めに罷工團を利用し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たものである。

一、少なくとも我が評議會所屬組合員は會社が恐しますと云へば左様ですかと云ふ様な「ヤマカン」要求の代辯者ではない。然し此の「ヤマカン」爭議にだても吾が組合は決死的奮闘を敢えてする。

× ×

吾等は組合運動の分野にあつて、組合利己心を肯定する然し斷つて置く、勞資の實際戰に參加する者にとつて、應援と組合利己心とは全然隔劃せらるべきものである。

然しながら右の激文中聊か問題で有り得る點は果して罷工團中に評議會員と稱する者が、少なくとも一團の勢力として存在してあつたかどうかである。三千六百の従業員中には三人乃至十人位ひの評議會員と稱する者が居たであらう事は吾等と雖も認める。

然しそれが「ビラ」となつて爭議の要求を唐突せねばならなかつた程の勢力あるものであつたかどうかゞ問題である

右に對して吾等が實地に爭議を見しことを土臺として又風聞の中から確聞であると思推する所のものを綜合して生れたる結論は、川崎爭議團中に評議會員のなき事である。彼等評議會は罷業團中に自己組合員の勢力ある一團の有る事を聲明する事に依り、其の陰にあつて總同盟の横暴を鳴らすべき組合對組合の抗爭戰術を見いだしたのである。

その具体的現れが即ちこのビラである。

俚言に「好く游ぐものは溺る」てふ事がある。目下の評議會の服用すべき金言である。

苟もプロレタリヤの戰籍に身を置く勞働組合でありながら、當面の敵と相對峙しつゝある味方の後方に「攪亂」の本部を設置し、爭議の全線に渡つて斯の如き「ビラ」を散布するが如き事はその結果に於て善であるか惡であるか、一目判定し得る筈であつて、それは組合運動の正道にもとるスカツプ的行動と云はなければならぬ。

それを要求條件の相違とのみ見ず組合利己心の發動を見逃してはならぬ。

のみならず「吾が組合評議會は、その提出するべき要求條件を屍つて、總同盟の要求條件を支持する爲めに決死的應援をするものである。に至つて彼等評議會の應援論理の實にシトロモドロであり、此のビラの本能寺が奈邊にあるかを解するに足るものである

思之!ヤマカン爭議の要求條件を貫徹する爲めに全力を上げて努力せなければならない程の遊戯組合がどこのプロレタリア組合の中にあるか。

咄!この戰線破壊者!

従つて此のビラに對して下す吾人の斷案は徹頭徹尾總同盟に對する抗爭の具体的現れであつて、評議會が露骨に且つ徹底的にその利己心を爆發せしめたものである。評議會も此の「ビラ」に至つて罷業は勿論應援は問題でなく、組合利己心が只一の問題である。と云ふ他かない。吾等は此の間何等の疑念を挾むべき余地のない事を斷言する。

然して罷業責任者である總同盟側の此のビラの對策として同じく廿二日に發せられたる決議及びその聲明書の文句に聞く。

▼關東地方評議會の罷業破り▲

一

我等は現在決死的奮闘を續けつゝある川崎富士紡の大爭議に對し關東地方評議會が行ひつゝある應援を以て、真の共同戰線の爲めにあらずして、我爭議團の陣營を攪亂し同盟罷業を裏切り、以て惡むべき階級的罪惡を犯すものなりと斷言す。

二

彼等評議會員は、爭議團の決行せる大示威運動に加りながら、徒らに氣勢を煽つて秩序を亂し、以て故意に示威運動解散の口實を官憲に與へんとし、又應援者の挨拶に名を借り、全然爭議と何等關係なき總同盟分裂問題を口にして、自己の組合宣傳を試みるが如き陋劣唾棄すべき行動を敢てして居る。更に彼等は表面は爭議應援のビラと稱するものを撒布して、內容に於ては富士紡績工場には評議會所屬の東京合同組合員ありと偽り、且つ爭議團の要求は總同盟幹部の要求にして、評議會所屬の組合員は、爭議團とは別個の要求を有するといふが如き戰線の統一を亂す所の陰險極まる言辭を弄して居る。

彼等の應援が誠意ある應援にあらずして、同志を欺き同志を裏切らんとする目的應援なることは一目瞭然である。

三

彼等は共同戰線に名を借つて、實は陋劣なる組合的野望を遂げんとするものである。彼等の眼中には勞働者の利害なく、階級的道德なし、唯だ此の機會を組合利己心に利用して、決死的勞資戰の成敗を顧みないものである。我等は爭議團最後の勝利の爲め、勞働階級の正議の名に於て、

彼等評議員の應援を絕對に峻拒し、其の階級的罪惡を糾彈するものである。

一九二五年十一月二十二日

日本勞働總同盟
關東紡績勞働組合 川崎支部
富士瓦斯紡績川崎工場罷業團
神奈川縣川崎町紡績社宅四ノ一四

決議

一我等が決死的奮闘を繼續しつゝある同盟罷業に對し關東地方評議會の執りし態度は應援に名を藉り自己組合の宣傳と罷業攪亂を企てしものと認め斷乎として應援を峻拒す。

一九二五・一一・二二

日本勞働總同盟
關東紡績勞働組合 川崎支部
富士瓦斯紡績川崎工場罷業團

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の爭議に於て評議會の應援が誠意あるものでなく、寧ろ爭議てふ事實を中心としてその黨派的野望を成し遂けんとしたものである事は爭議參加組合及び評議會員らの散布せし「ビラ」の眞意に依つて分明なるものである事に大衆は一致する。

爭議に當面して、戰線の支持を必要とする評議會であるならば、斯の如き醜惡極るビラの散布は出來得なかつた筈である。及一歩を讓りこのビラの散布が統勢を攪亂する目的でないとするも、結果から見て完全なる罷業の攪亂である以上、爭議に對して行つた自からの正しさを誇る評議會として何ものをも有してゐない筈である。

此に吾人は「評議會に對して罷業應援の峻拒」と云ふ總同盟の立場を發見し、その處置を當然とする。

よし聊か相違せる要求的事項あるとするも當面せる爭議と云ふ事實に對し、その爭ひを内部に止め、一致して戰線を支持することが「應援と言ひ共同戰線」と云ひ言葉の正しき解釋だからである。

次に評議會が富士瓦斯紡績罷業團なる名に依つて無產階級を欺りたるビラを同志諸君に提示して、評議會なる組合の本質を語らう。

聲明書

我等は全勞働組合の熱烈なる應援を要求す

今や我等の爭議は將に白熱化し、全勞働階級の熱烈強大なる應援によらずんば勝利を得るは不可能である。

然るに奇怪にも、今朝撒布されたるビラには「關東地方評議會は應援の名を藉りて組合宣傳と爭議攪亂のために來りたるものであるから、我々罷業團は應援を峻拒する」と罷業團の決議の名を以て發表されてあるではないか！

何たる暴擧獨斷ぞ！

我等に熱誠なる應援をおくる評議會を何の理由あつて拒否するか、我等は飽くまでも熱烈強大なる評議會及び全日本の勞働組合の應援を要求するものである。今朝のビラは我等罷業團の意志にあらずして、ある野心家の虛僞の惡宣傳なることをこゝに聲明するものである。

我等はかゝる惡宣傳に欺るゝことなく、あくまで熱烈なる應援を要求するものである。

富士瓦斯紡績罷業團

由來黨派的利己心の強く、分裂、混亂、渾沌を事とする我が國無產階級運動の分野になつても、評議會は最も組合利己心の動くがまゝにその行動を徹底的に決行する組合であつた。右のビラの如きは最近に於けるその具体的な現れの一つであるに過ぎない。

今や評議會は無產階級を欺かんが爲めに罷工團の名を僞名するまでに大膽なる行動を取るに至つた。夫れに依つて組合利己心の滿足を計らんとしてゐる。

成程罷工團は評議會自身に依つて書かれたる、ビラの示すが如く、確かに應援團の白熱的應援を希望しつゝあつた。強大なる階級的一致の應援に依らずんば勝和を得る事は不可能事であるとまで切望してゐた。

然しそれと罷工團の名をもつて評議會自身に於て書かれたるこのビラとの間、何んの關係があるか。

吾等をもつてこのビラと評議會との消息を許さしむれば次の如きものである。

評議會はどこまでも爭議團中にその組合員の在るが如き外見を粧ふことに依つて、爭議の攪亂である事を避得らるべき者と信じ、且つ又罷工團でその應援を切望してゐるかの如く粧ふことに依つてスカツプに對する組合の面目を保つことに腐心し、合せて罷工團が總同盟の彼等に行つた「應援峻拒」を面白く思はないと云ふ、出歛雜目を書くことに依つて自分等の行動が決してスカツプでないことを裏書きし樣としたまでの話である。

然し前に吾等は確心をもつて同志諸君に斷言せし如く、爭議團中には評議會員のあることを今もつて認め得ないのである。以上僞滿もペテンも實に此に於て至れりつくせりと云ふべきである。

× ×

吾等は今こゝに爭議より組合の爲め、プロレタリア道德よりも組合利己心！と云ふが如きベラ棒なる勞働組合の存在評議會の實体を知つたのである。

× ×

此のビラに對して總同盟は次の如く云ふてゐる。

憐れむべき評議會の痴態よ！

自から革命主義者を以て名乘り、他を罵るに日和見主義者、裏切者、資本家の手先き、を以てする彼れ評議會！その評議會が川崎に於てなせるところを見よ！

彼等こそは眞に裏切者であり、資本家の手先である！！彼等の態度によつて今、ほくそ笑みつゝある者は官憲と資本家を他にして何者があるか？

あゝ其頭に無產階級を冠の戴いて、その手に資本家のメスを握る豚の手先よ！

我等は我等の友誼團体に對し、彼等の此醜狀と裏切り的行爲を徹底的に彈劾すべきを訴ふるものである。

大正十四年十一月二十七日

日本勞働總同盟 關東勞働同盟會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

この爭議は各勞働組合が何等文句も云はず眞面目に熱心にそのデモンストレーションを決行し、一大合同を現實さしたのに對し、又革命的である點に於て、評議會より激しく、思想的に於ても政治運動をする否定せる、芝浦勞働組合の如きが、この爭議の戰列に參加し總同盟と共に聯合してストライキを始終した事實は、如何に評議會が曲辯し強辯するもその行動が罷業の攪亂であつた事を語るに充分なる證據である。ことに評議會の幹部のみが「極力應援はするがその要求は愚例極まるものである」ことに固守した事實＝この無屁し切つた理屈の影に評議會の實体がうかがはれる＝ものであつて、この行爲は、名を無產階級の大義名分に借りて、戰線を亂離渾迷に導かんとしたものであり若しくは組合利己心の爲めに運動を弄びたるものであつて到底常識をもつての判斷は許されないものである。

これが吾等の川崎に於ける評議會に與ふべき言葉である爭議に於て評議會を評し了つた吾等は最後に總同盟の態度に一言する責任を有する。

(1) 總同盟は常に評議會よりその組合宣傳の点に於て馬拔けであつた。野呂馬であつた今も尚そうである。吾等はそれに對して好い事であるとも惡い事であるとも云はない。然して何れの方面に於ても評議會と對比せる總同盟はグズである。富士紡の爭議はその好標本である。

「爭議最中あれ程評議會に對して彈該の意を有してゐた、總同盟は爭議が終ると同時に忘れてゐる」いや忘れたのではあるまい。抗爭感情は益々深くなりつゝあるであらう。然しそれと彈該するとビラで手形を切り彈該しなかつた事實と如何んの關係があるか。彼等は機關紙「勞働」にをいてすら、評議會のスカツプと云ふ事に對して何等組合員に訴ふる所がなかつた程、それ程馬拔である。彼等の手形は常に「オドシ」である。

吾等は信ずる。スカツプは無產大衆に傳え徹底的に彈劾行動に出る事か、プロレタリア運動の、ことに日本に於ては目下の急務であると。そしてそれは戰線を整理し、來るべき鬪爭の日に吾等をして一致の足並の下に邁進せしむる事に讓つて重大なる割役を演ずべき使命を背ふものである

然し乱彈は斷叫たる彈劾でない限り、彈該それ自身が一つの混沌であつて、それによつて何等益するものはない。彈該は徹底的であることを必要とし、それに依つてのみ初めて使命を終るべき性質のものである。

この意味に於て總同盟は常に運動を混沌に導きつゝあることを一考すべきであると思ふ。

評議會を支持するもの
無產者新聞

次に川崎爭議に於ける評議會の「罷業統勢の攪亂乃至はスカツプと云ふ、この動かすべからざる事實に對し、評議會の態度を支持して、吾等のこの結論と反對の結論に立つてゐるものに「無產者新聞」なるものがある。主筆を佐野學氏として以下悉く所謂共產黨の若手歐行歸りのチヤキ〳〵で固められたものである。從つて此の集團には智辯の徒も多く、策士も濟々である。茲に敢えて彼等を智辯の徒、策士の徒と云ふ故は、決して彼等が衆人に勝つて智あり策あるからではない。只、民衆が曾つて大將の肩書き、中將の肩書き、大臣の肩書きを畏敬した如く、今日にあつては「歐米歸り」と云ふ肩書の前に、何んの批判する所もなく一切を奉納し、信任してゐるのに乘じ、彼等が世智辛い智慧を利用して曲を直と云い張る大膽さを持つてゐるからである。

× ×

それは兎に角とし、然らば何故に無產者新聞は、川崎爭議における評議會の態度を支持する必要があつたのか。

此の問題は實際運動の上の大きな流れであり、理論の問題ではなく、ここまでも實際の流れである。故に此の間の眞相を明かにする事は、問題を評議會と無產者新聞の關係に進めて解決附ける事が一番明瞭でもあり紙數を多く使はずに便宜である。

× ×

共產黨と評議會の關係は、共產黨と無產者新聞の關係と同じきものであつて、強いて區別するとすれば、無產者新聞は共產黨の宣傳機關、即ち手であり、評議會はその行動機關、足であると云ふまでのことである。

故に無產者新聞、評議會乃至はそれを主体とする政治研究會と云ふも、畢竟、共產黨が社會的に動きつゝある多面的な姿であるに過ぎない。

「評議會は共產黨の戰鬪部隊である」

彼等の景氣は、直に彼に響いてくる。

彼等の悲運は直に彼の悲運である。

彼等の幸運は直に彼の幸運である。

そこで「無產者新聞」は彼等の宣傳隊である。故に如何なる理由に依るも、評議會の存する所、無產者新聞に純正なる批評の有り得様ない、無產者新聞即評議會の立場である

からである。

從つて「川崎爭議のスカップ」と云ふ事實に當面してすら評議會を支持する事に何等の不思議もないと云ふ理が、自ずから明解されてくる筈である。（完）

共産黨なる伏魔殿の打破

日本無産階級解放運動の眞只中に「共産黨なる伏魔殿がある」無産階級の大義明分は悉く彼等に依つて政策化せられ、政策は彼等にあつて何時も「利己心」なる目的と共同の陣列を形成して再び無産階級の前に現はれる。とは、我が「進め」が討鬪の名をもつて大正十三年夏以來、口に紙にその精力を傾けて解放戰の戰野に宣し來つたところであつた。

然るに當時にあつて我等のこの行爲は、實に無産階級の解放線を攪亂するものとして共産黨の本体を知らざる大方の同志諸君の一齊憤激の矢面に立つつ來つた。

× ×

然も我等が討鬪を開始してより滿一年半の今日水平運動と云はず、政治運動と云はず組合運動と云はず、一切の解放運動としての實際運動の戰線は事々に、彼等のある所必ず潰裂に始り潰裂に終るの悲境にあることを見る。即ち組合運動にあつては、組合内部の攪亂と共に分裂それに次ぐに爭議戰線のスカップ行爲の如き、又結束を誇つた水平運動にあつては相反目せる二潮流を生ましめ、然して彼搾取階級團結のアラユル大會は彼等の舶來直輸入的屁理屈の爲めに見事蹂躙せられ常に産聲の百分一の行動をも成し得ざる現狀に置れつゝある。

民衆は今や彼等に對して目醒むべき時である。試みに無産階級は彼等伏魔殿裡の怪物の云ふ「無産階級の大數をもフエブルチユアー」に「被搾取階級の歷史的必然の前に」「共同戰線の組織的完成」にその爲めに彼等がどれ程の努力を拂いつゝ來つたかを知るべきである。「スペイ」「反動」「日和見」の合言葉は戰線內部に向つて發した彼等の亂發手形ではなかつた？。而も彼等の成し得たものとしては、十五六人を會員とする赤爛會、卅人足らずをもつて結黨せる茶番共産黨、これが彼等の云ふ組織そのものゝ具体的現れであつたに過ぎなかつたではなかつた？。而も吾等をして云はしむれば、この茶番共産黨の一幕程、無産階級解放の運動に罰深かつた行爲は曾て無かつたのである。何故かなれば、それは刑を見定めての秘密結社であつたからである。云ひ換れば、賣名と野心と私慾の結果から來たものであり、內部に於ても堺カリニン、山川ジノビエフと云ふが如き無産階級の意志を無視したフザケ切つたものであつたからである。更に暴法治安維持法實施の口實をこれに依つて得さしめてゐるからである。

然も惡辣なる彼等は海外の同志に向つて、日本の解放運動は恰も自分等の一手販賣であるかに宣傳する事に成功したそれが即ち今日にあつて彼等の云ふ「組織の完成」吾等の云ふ「戰線の潰裂」の運動資金の出所である。これを持つて彼等は或時は思想運動に或時は組合運動の圈外にあるかに粧ひ、四六時中裏門の拔穴から巧みに各組合團体の劃策室に出入し、そこに集る賣名家、馬の足共の間に黃白を散し又彼等もよく怪物に阿諛し何時もルーブル紙幣の甘きを甜つゝ來つた。

その結果として運動は常に逆轉と混沌とに始終せしめられつゝある。最近に於けるその重なる例は、無産政黨分裂の要因、今又富士紡ストライキ、スカップの要因を彼等の中に吾等は見出す。民衆は今や漸く彼等に對して目醒むる時が來たのである。

× ×

彼等の棲家伏魔殿は今や、運動家及び一部慧眼なる學者の眠を瞞すべき神通力を失つてゐる。吾人は先きにこの伏魔殿打破の爲めに礫を投げた。然して吾人の先鞭によるこの醜類放棄の運動は今や燎原の火の如き勢をもつて無産階級の戰場の擴大と爭鬪の白熱化して行くにつれて、全國的に開始せられるべきを確心して來た。更に民衆は進んでこの伏魔殿に礫を投げ、專門の通行標政研及び評議會を彼等怪物の手より奪還し、加速高的に進展したこの運動を一層徹底せしめ、社會運動內部に於ける彼等の水陸兩棲の伏魔殿政策に止めを差すべきである。

吾人は組合運動も思想運動も共に相結んでこの伏魔殿を打破し、更に分裂、離合の現狀の裏に論理を深め改て、結合の新生、新戰術の誕生の可能を信ずるものである。

吾等がこの運動を起したと云ふ事は、曾ては階級道德の違反者であるかに考へつゝあつた人達も今や、その人達が正しき立場にある人々である限り、吾等のこの運動の正しきを知るべき筈である。これに抗爭して起つ者は、從つて吾等の敵である。無産階級はその何れに味方する？。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共産黨の陰謀
政治研究會乘取顛末
（一）

濱田博之

單一無産政黨樹立の希望は見事に單なる希望だけの事になつて決裂した。總同盟の投げた一彈に因つて、政治研究會、評議會、無産青年同盟を三位一体とする、日本共産黨は僅かに土俵の外に投げ出されて終つた。渡邊政之輔に指導される評議會政研の市川、佐野、上田等を中心とする政研東京評議會との策戰は、茲に一頓挫を來したわけである

衆目環視の中でかく迄も見事に土俵の外に振飛ばされた共産系は、眞逆にこのまゝで引込んでもゐられまゐから、所謂多士濟々の智謀を絞り盡して、再戰の準備にとりかゝるだらうが、それは扨て置き茲に吾人の述べんと思ふのは抑々共産黨直系の政研東京評議會の淀橋支部と評議會の東部合同勞働組合との協同策戰に依る、政治研究會乘取の秘話であるんだ。

事實は斯ふだ、日本農民組合が提唱に因つて、無産政黨組織の準備に取懸ろうと云ふ話が持上つた時には、實際に政研の中央委員連は餘り突然なので、些か面喰つたのだ。これは怠慢と云へば怠慢だろう、大正十三年春に發會式を濟してから、今日迄に確かに一年半になるんだから、如何に地方への宣傳と支部組織に忙しくはあつたとしても、遠からず來る可き筈の無産階級政黨問題に就ての準備の上に手落があつたと云ふのは、共産黨の魔の手に引懸るにはモツテコイの餌食であつたのだ

そこで農民組合の提唱で既に御承知の如く各團体各自に綱領規約を持ち寄つて協議と云ふことになつた所が、政研中央委員としては、事餘りに急な爲めに、綱領規約を作製してゐる余裕がない所から、昨年のマルクス主義に發表して世間にも廣く行渡つてゐる高橋龜吉氏（當時政研中央委員）の無産政黨綱領を基礎にして審議しやうとなつて、大山郁夫氏宅に中央委員會並に調査委員會を開いたのが、九月廿五日頃の事だ。高橋案は實に立派なもので流石に經濟學者の智嚢を傾けた、一言一句もヌキサシならぬ程のものではあつたが、肝心要の根本精神が餘りにもリアリズムを一歩も出ないものなので、最初はこれを何とかして改めて見やうとしたのださうだが、結局其時の委員會の大勢は否決に傾いて、遂に高橋案は葬られた。この時に最も猛烈なる發言をして、一擧に高橋案を蹴飛ばさうとかゝつたのが政研東京評議會中でもかくれたる辣腕家として知られた佐野文夫、一名大木陽一郎だ。

佐野文夫はこの委員會に出席する前に、東部合同（評議會所屬）の渡邊政之輔とも協議して、日本無産黨の勢力を背後にして委員會に出席したのだが、この種の會合に從來一回たりとも顔を出したことのない彼が、突然に顔出しをしたので、委員連の中では不思議な事もあると既に思つた者もおつたさうだ。果して佐野は猛烈に高橋案に肉迫して大勢は次第次第に高橋案否決に傾いて來たので、高橋氏自らその案を撤回して終つた。

そこで今度は改めて綱領規約作製となつたが、時機は既に二三日の後に切迫してるし大勢の委員でガヤガヤ發言しても、結局纒らないとなつたので、改めて起草委員を選んで佐野文夫、鈴木茂三郎、藤井悌の三人が擧げられて、明日中に綱領規約を作製して再び中央委員會と調査委員會とにかけて、それを無産政黨準備委員會に政研案として持ち出さうとなつて、當日はその儘に散會して終つた譯なんだ。

所で日本無産黨の最初からの策戰と云ふのが、政治研究會の中央委員は先づ自己の黨外から選出させて置いて、そのかはりに平會員をドンドン自己の黨員から入會さす他に種々な手段を弄して平會員に反幹部の氣勢を煽つて、結局中央委員を手も足も出ない樣に封じ込まうと云ふ戰術を執つたのだ。この抱込み策は見事に成功して兎も角も、東京評議會はほとんど共産黨のお先棒を振るやうな事となつたそれにその當時は未だ存在した水平社青年同盟は高橋貞樹の指揮下に、所謂大阪會議で松田喜一を使つて政府中央委員問責案を出し佐野ケサミがそれに對して妥協的に纒めて來る筈でゐたのを、同行した渡邊政之輔に東海道の汽車の中で、一晩の中に抱込まれて猛烈に會議の席上で中央委員辯護の長廣舌一席をやつて歸京すると共産黨の連中からは「御苦勞御苦勞」と賞められること思ひの外に、案に相違して「君は怪しからんよ、あんな中央委員の辯護なんかやつて」と肘鐵を喰ふ一悲喜劇があつたとの噂だから、世の中も面白い。その高橋貞樹も＝セ水平社員と曝露しては御両君共に敵も味方もなく秋の悲哀を感じてゐることだらうがこれも憂き世か。

（二）

共産黨の佐野文夫君は、共産黨の腹案になる無産政黨の綱領を持つて、約束の如くにその翌日鈴木茂三郎、藤井悌

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

と會合した譯だ。

然し佐野君は頭の中には持つてはゐたが、未だ文字としたものは持つてゐないと云ふので、結局佐野君が別室に入つて晩までにそれを書上げる事となつた。鈴木君は同しく規約を作製した。佐野君が一日懸りで書き上げた無産政黨綱領は、取りもなほさず日本共産黨の幹部で固めた政研淀橋支部と、評議會の東部合同勞働とで密議の上で出來上つてゐたものである。これをその晩の中央委員會並に調査委員會の審議にかけて、大分アチコチで辭句の修正を受けた上で、結局それが政治研究會案と決定して、十月一日の政研大會に持ち出す迄の段取りに運んだのだ。

所へ突然に降つて湧いたやうな一事件は、九月一日の朝刊に出た、共産黨の政治研究會乘取り陰謀の新聞記事だつたのだ。好機乘ず可しとばかり、共産黨は逆手を使つて、この記事を種にして平會員の氣勢を煽りつけて、この種の出所が高橋龜吉氏であると宣傳して、その朝會場へ來た高橋氏の入場を拒んで追ひ返すやうな、フザケた眞似をしたものだ。

この種の出所が東か西、それとも南か北か、知る人ぞ知らんだ。高橋氏はまるきり思ひも寄らぬ濡衣を着せられて惡辣な槍玉に上つた事だけは確かなんだ。噓と思ふなら、その種を貰つてそれを載せた新聞社に聞き合せて見よ。

共産黨の別名なる東京評議會は見事にこの題目をひろい上げて、陰謀とは何だとばかりに、シャニムニ中央委員に突懸つた。それから關西方面にも早くから、中央委員を葬れ！と云ふビラ宣傳が頻りに撒かれてゐたから、大阪評議會でも東京側に呼應して中央委員に吠えついたものだから、折角中央委員會案として出した無産政黨綱領も滅茶苦茶にヤツつけられる。そこへムッとばかりに不意打に突出されたのが、所謂關東評議會作製の無産政黨綱領なるものだ。そして政研東京評議會や關西側の連中が一致して、その案を支持して一氣呵成的にそれを通過させて終つた。

斯くて中央委員の連袂辭職、中央委員の再選となつて、共産黨が完全に政研の執行權を握つた。とは云つても實際は佐野文夫君が總裁だそうだ、他の九名は要するに空名の者もあれば馬鹿な目を見させられてゐる者もある事は確かである。

茲に不思議な事は評議會案として提出した綱領が、佐野文夫君が作製して、中央委員會に出した綱領と同一なことで、それからまた中央委員會が決定して九月一日の大會に出した綱領は、辭句こそ異なれ根本精神に於ては、大した差異のないものなのである。

かうなると何が故に中央委員會提出の案を葬つて、それと相違のない評議會を通過させて、その結果は中央委員の辭任となつた。つまり中央委員を葬らんが爲めの策略であつて、既に數日前から新しい中央委員の顔觸れは、共産黨のお歴々に因つて決定してゐたとの話だ。

すると結論は斯ふなる。共産黨では最初は政治研究會の役員仲間に自分逹一味の顔を出すことは仕事の上で都合が惡いから、絶對に顔出しないで他の連中にやらせて置いてそのかはり、平會員では一味の徒黨で中堅を固めて、中央委員の仕事を監視させ、機の熟するのを待つて政研の根城を内外相應じて一擧に拔かうとする腹だつたのは明瞭だが、無産政黨樹立の問題が迫つて來ては、そんな呑氣にしてゐられない所から、急に宣傳戰を開始して、島中雄三の「自由主義」問題を種にして、中央委員會ブツ潰しの戰ひを始めたものなのだ。そして見事に二ケ月許りの間に政治研究會を乘取り、今では共産黨の佐野文夫君を主盟として、今回の單一無産政黨樹立運動にも、評議會と日本無産青年同盟と提携して、第二の仕事に懸ろうとしたのが、總同盟の一投石に依つて、共産黨の考へてゐた無産政黨は、何の苦もなく解散政黨となつて終つた譯だ。如何に公平に觀てもこれが陰謀でなくて何だ。

日本共産黨のブルジョア政治利用、ブルジョア帝國議會利用の宣言は何時しか、その限度を乘り越して、同志と稱する味方の陣營内に迄も、その利用策を延長して、遂には總同盟の分裂となり、共産黨の所屬である所の勞働組合評議會は相手をきづつけるに手段を選ばぬ共産黨の常套手段を模して、自分達と系統を同じくしない組合を、日和見と云ひ改良と云ひ、甚しきに至つては反動と呼んでゐる。知らずは反動とは抑々何であるか。階級戰の同一戰線内に於て、自黨に非ざる者を直ちに反動と呼び、勞働戰の陣營に於て自らの組合の勢力扶殖の爲めには、爭議のスッカブをするも反動に非ずとするのであるか。

今回の共産黨の政研乘取は吾等の階級道德にかなへるものとするのであるか。共産黨の主領山川均君は常に自由なる討論に依つて、我國社會運動の進展を期す可しと主張するにも拘らず、共産黨は今回の政研問題に關しては平素の主張を裏切つて、完く陰謀的行動を執つたが、今回の擧に關して正義を以て堂々と爭ひ主義主張を以て青天白日の下

に相毆つは共産黨諸君から見ると、實に愚の骨頂であり、馬鹿正直の極であるとするのだらうが、山川均君は之れに對して何等の辯解があるか。高橋龜吉君に一語の發言權も與へずに、會場から追ひ出したのは、果して自由討論の主張と相反せざるものであるのか。無産階級の戰術とは共産黨諸君の信ずるが如き陰險、惡辣な女性的なものではない筈だ。局外にある者なら、成程とこの話は肯定出來るだらう。

日本の昔からの諺に「門を出たら七人の敵があると思へ」と。この諺に訓練せられた日本人は、完く外國人が言ふやうに、どれを見ても探偵か犯罪人の顔附だそうだ。共産黨の戰術は正にそれではないか。解放十二月號誌上に青野君が云つた通りに、懷中の封建主義は正に共産黨一派の戰術の虎の卷だ。

階級消滅に忠實な、無産階級の良心に富める鬪士は彼等の目からは馬鹿に見える。こんな馬鹿は手ッ取早く蹴飛ばし、また自分達と肩を並べて行きそうな人間なら、隙を見て兩脚をカツ拂つて、打倒れた所を頭の上から蹈んづけろ、と、無産階級も資本階級も、糞もヘツタクレもあるものか、それで吾黨萬々歳だ。

この戰術に政研の中央委員はマンマと引懸つて、頭の上から蹈んづけられだが、總同盟は流石に老巧に土俵際で振飛ばした。總同盟が振飛ばしたのこそモツトモの次第だ。

虐げられし女工

川原康司

虐げられし無産の群其れは工場寄宿生活の女工によつて一層顯著に且つ露骨に見る事が出來る。幼い時から暗い運命と戰ひ今又脅威と壓迫更に自由を束縛され働く事の他何も知らずに太陽が一日の業をすまし淡い殘光を投じて西空の彼方に沒し去らんとする頃ひ人生を呪ふような汽笛の音と共に初めて解放される乙女等は賑かなる町、自由の天地へも飛ぶ事さへ出來ず又もや寄宿舍に幽閉されねばならないのだ。十時間乃至十二時間の間は賃金に買れし体ではあれど其の以外は自由ではないか。欲するまゝに向上させ解放せなければならない、それが正しい道であらねばならぬ而るに何ぞ工場の監視人は晝の勞働に疲れ果たる彼等が夜の一時なりと人間らしく生き智識欲を滿し遷進歩する時代と共に向上せんものと婦人公論又は婦人世界の如き雜誌を讀むものなら直に生意氣だと取り上げられると云ふ。何と横暴な非人道な行動だらう斯の如き二重の束縛を受け與へられし休養時間さへ外出する事も出來ず暗い寄宿舍の中で青白い顔色にて沈默して居る、何時まで沈默する日本の娘寄宿舍の家根を――而して多年潜在の威力の程を示さずんば到底永久に自由も解放も來ない唯徒らに過去の因襲と傳導を守り資本家に屈從して居ては決して新しき生命新しい社會は生れ出ない。古來勞働階級が資本階級の爲めに生命を賭してまで働き來つた話しは多數に知つて居る。然しながら勞働階級の爲めに命まで投げ出したと云ふ資本階級を見出した事はない。實に勞働階級は今日まで夥しい犧牲を甘んじて拂つて來たけれども彼等資本家は其の非道を悔ひる事をも知らず權力或は金の力を以て益々壓迫し彼の足下に屈從せしめんとして居る。力で以て自由を束縛し壓迫せんとする者がある時は矢張り力で其れに對抗し防ぐより他何物もない。十人より二十人總ての者が團結して戰はねばならない見よ!!あの擴散した太陽の光線を一度プリズムの中に集中して放たんか強烈なる光となり熱となりて何物をも燒き盡すではないか決して女性の力は弱きものでない例へ女一人の力は弱きにせよ總ての者の精神が一致結合し敵に當つたなら何物をも恐るゝに足らず多年虐げられ壓迫されし無産階級は凡て相提携し以て團結の前に彼等を戰慄せしめねばならぬ。

團結せよ兄弟姉妹!!

× × × ×

× × × ×

階級戰

T生

薄暮き曉の彼方
暴風は荒れ狂ふ
血みどろの叫喚が逆卷く
おゝ鬪生の彼方よ。
鮮血滴る〇〇旗の翩飜
一閃二閃三閃無數の劍戟の閃き
耳を聾する銃聲砲彈の轟き
おゝみよ曉の彼方
砲烟彈雨の中も血みどろの叫喚に
驀進聲
おゝ被虐民の集團だ。
曉の彼方よ、鬪生の彼方よ
血みどろの叫喚にふるいつゝ
ユトピアを求めて、血みどろの行進、階級戰の歷史。

× ×

暗雲の巷に
渦巻き群がる陰慘の群
眼は青い怨火をはき
弱々しい聲々は集つて恐しい爆發となる
飯だ!飯だ!
あゝ、曉の前の暗雲の巷よ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

端書回答

凡ゆる意味に於いて無產階級解放運動史上特筆大書すべき大正十四年及び新しい局面に向はんとする大正十五年に就いて本社は左の問合せ狀を發し敎を乞ふた。

問合せ文

【一】大正十四年に於ける社會運動の回顧

【二】大正十五年に於いて我等何を爲すべきか

望月源次氏

(一)組合運動―社會運動―分裂の體驗である、我々が自らの陣列を離間し、結合せしめるは、必ずより大なる陣形確立の豫定と計畫とが伴はなくてはならぬ。

分裂の指導者―日本共產黨系の人々に此の質問をするものは―而して彼等の日本社會運動に顧みる愚策の責任問題として―それは實に純眞にして勇敢なる日本の無產大衆だ、日本の歷史的過程の鐵槌だ。

(イ)組合内に暗流と猜疑心とを生じ、共同的活動を停滯せしめた。

(ロ)組合内の產業別整理と其の統制を遲らしめた。

(ハ)亦全國的結合の機運を回避した。

(ニ)無產政黨の成立に關する內部的要素を欠除せしめた

お丶陣列の分離を何處にも行はしめたが、然し慾深き敵に對してではなく、日本共產黨に對してゞあつた。而して其の結果は、我々を抑壓する敵をして其の政策を樹たしめた事だ。

(二)

(イ)亂されたる無產階級の戰線を確乎たる現實的政策の下に一致せしむる事。

(ロ)無產政黨の內容を充實せしむる事。

(ハ)日本無產階級としての對支那問題の徹底的調査研究、及び其の結果の發表普及。

其他種々

麻生久氏

十四年度は總同盟の分裂などつまらぬ事があつたと思ひます。

十五年中には今度出來る政黨を出來る丈け健全に發達させたいと思ひます。

前田河廣一郎氏

(一)大体に於て山川均君の「方向轉換論」に許釋された政治參加論が勝つた傾向を看取します。共產黨事件の判決なども面白い表裏のあつた事と思ひます。「進め」の戰線整理も大分やかましい年でしたが離間者の爲め共倒れにならぬやうに御願ひします。

(二)前進!前進!

石川三四郎氏

大正十四年度社會運動は極めて陰性を帶びてゐたが、それだけ底深い處に發展しつゝあつた樣に思はれる。

十五年に於いても、普通選擧や無產政黨なぞいふお祭り騷ぎに眼を呉れず、眞の無產者の自由の根を深く〳〵培養すべきである。今の普通選擧は無產者のオピヤムである。今の政黨は無產者の毒殺者である。

十五年に於いて最も必要な社會運動は此眞實を無產者に知らせる事であると思ふ。

平野小劍氏

(一)水平運動は社會運動の通有性とも申さうか十四年は正に思想的混亂時代であつた。即ちアナ、ボルなぞと少數指導者間の軋轢は全く水平運動をして死滅に導いたものだ。そこで起ちあがつたのは純水平運動の全國水平社青年聯盟であつた。こうして水平運動上に新劃時代をなしたが、回顧するとその余波が今年にも及びぞうだ。他の社會運動もあまり浮調子な政治熱に走らず各々持場々々に歸れなかつたのが何よりも遺憾だと思つてゐる、

(二)十五年に於ける我等は先づ各自が持場に一旦歸つて出直すことだと思ふ。

そして「何を爲すべきか」よりは何を爲さねばならぬかも先づ元旦早々考へる事でなければならぬ。

吾々は分撒された持場に歸つて資本主義牙城へと睨視觀念の擊破の爲めに足並を揃ふ

全國水平社聯盟第一回協議會

高橋貞樹放逐さる

本年五月全國水平社第四回大會後直ちに福井、京都以東を中心として組織された全國水平社自由青年聯盟は機關紙自由新聞を發行し大々的活動を繼續しすでに三百五十二の聯盟の創立を見るにいたつた青年聯盟はその內容と實質的には大阪の青年同盟―今は解體して水平社無產者同盟と改稱し日本共產黨の手先きとなつて二七部落民高橋貞樹が牛耳をとつてゐる。その實質と量に於ても新聞や彼等の機關紙にて發表してゐるほど豐富なる同盟ではない。全國的に區々たるもので到るところ反對されてゐる。社會はその內容を知らないから勢力絶大なるかの如く思ひ無產政黨加入の團体もしかく思つてゐるらしい――とは雲泥の差のあ

陣營の調整をなす事が大事な實務だと思ふ。持場へ歸れ！

片桐市藏氏

何事も成し得なかつた小生としては、書くべき回顧感想もありませんが……十五年度の小生の希望としては社會運動のリーダーが、凡て社會に集團して互に睦み合つて居ると云ふ樣な事は余り感心したことでもないから、少しく地方に離散して地方民衆の啓發に務めて貰つたら結構な事だと思ふ……社會〇〇は決して都會運動のみにて成就するものでないから。

新居格氏

（一）個人的な事は書かず、社會運動の動きにいろ／＼の事があつたが、援々たる感慨を抱くのみ。

（二）十五年に於て我等何を爲すべきかに就いては其の事文字で聲明するよりも、實行で答ふるのが最も確實な回答と思ふ。

抽象的且つ心理的に云へば斯の誠實ならざるいゝ加減のタクチツクスを排撃しつゝ、どんなに少數になつても（たゞの一人になつても、所信を寸毫も曲げない進歩をするだけの話である。たゞそれ丈け

本莊可宗氏

（一）同じ目標を指して努めつゝあり乍ら、いろ／＼な感情の行違ひから小黨分裂して行く傾向を見ました。

（二）小異を捨てゝ大同に就く樣に互に交誼的になる事、民衆を導くに先づ觀念から建てなほしてゆかなければ駄目である。故にマザアスース出版協會やチヤンス、ケルン社のやうな仕事を盛んにする事。

北澤新次郎氏

（一）十四年に於て特に顯著なるものは無產政黨の準備運動の樣に思はれます。

社會運動も激して相當の實績を擧げたと考へます。

（二）十五年度に於ても同樣大衆に即して基礎の鞏固な實行な運動を希望します。殊に同志打ちの愚は回避して慾しいと考へます。

宮城潮作氏

（一）治安維持法反對運動、失業救濟運動、無產政黨結黨運動、大庭柯公虐殺事件の詰問、閥族驅逐運動、露國勞働代表歡迎の主催者たる共產黨系のお調子者か世界的の大恥を晒した一件、イヤヘヤ賑やかなことであります。

但しプロレタリアは益々生命の脅迫を告げて居ます。今少しプロレと密接な運動が望ましう思つてゐます。

（二）日本プロレタリアートの心臟と胃袋に關係のある運動に移らなければならないと思つて居ます。

岩崎一氏

（一）反動期さらんとし、無產階級解放運動に明るい方への一步前進を約束し暗示するかの樣でした。

（二）恐らくリベラリズム萬歲の年ではないでせうか。我が同志は現實の共同戰線にあつて、明白な理論と確固たる立場とを見失はない覺悟が必要ではないでせうか。

梅津四郎氏

（一）「單一的無產政黨の樹立！！」何と男々しい聲だつたらう。そして全無產階級を打つて一丸としたる無產階級自身の黨、所謂鬪爭的大衆黨のモツトーの下に各團体が動いた事は實に喜ばしかつた。此の聲に依つてブルジョアジーは相當の恐を抱いた事であらう。

（二）此の大衆黨をして愚劣なる封建割據の精神によつて甲を愛し乙を排するが如き醜態を演ぜしめず、利己的なる組合私有主義を排して一致協力完全なる將來の鬪爭黨を支持すべきであると同時に、メンシエビーキの出現せざる樣努力すべきである。

坂田利八氏

（一）日本共產黨一派の議會主義化と白面の鬼妖治安維持法反對の手ぬるさ加減——一九二二年當時の惡法案反對の宣傳ビラと比較して見るとへドの出る樣な手ぬるさだつた事

（二）此の際少數運動の意義を更に強く思ふ少數運動は結局少數運動だらうだが、その批判攻撃に依つて邪路に向ふとする運動に新しい基準を示す爲にも吾々は宣傳用として本誌研究の爲めに今一つの雜誌乃至は結社を必要と思ふ——之れは共產黨一派の樣にレーヂスカでなしに中まで眞赤い西瓜のやうな奴でなくちや駄目だが。

全國水平社青年聯盟協議會

ろほど自由青年聯盟は決定的な多數の青年を網羅してゐる組織聯盟である。

その第一回協議會を十月十八日京都市上京區田中河原町水平學校樓上に開催するにいたつた。當日出席した代表議員二百二十名、他は委任狀送り來れるもの百三十二と參加聯盟未組織は二十五、議長に京都の丹羽君を推して左の協議事項を討論可決した

決議

全國水平社青年聯盟は人類最高完成の爲め一切の社會惡に對し徹底的糾彈を以つて革正を期す。

吾々青年聯盟は水平社自治の革新を圖り飽くまで人間禮讃の普及を期す。

吾々青年聯盟は純水平運動に背戾する主張行動に對して徹底的掃滅を期す。

大正十四年十月十八日

全國水平社青年聯盟
第一回協議會

可決事項

一、融和聯盟徹底的反對の件
一、青年聯盟本部記置の件
一、青年聯盟大會を來年三月三日京都に開く事
一、青年聯盟所在地名簿作製

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

帆足理一郎氏

（一）十四年に於ける社會運動は不景氣のため聊か頓挫を來たしたのか、又は上調子な空騷ぎが少なくなつたのか、段々落付いて來たやうに見える。

（二）利共は社會運動の根底に精神的自覺が必要であると思ふ。唯物的な革命はとらず。大衆自身の人格的自重心を強め、その靈的要求に眼覺めて眞に社會運動をば文化的に意義あるものたらしめる事が出來る。

十五年には此精神的方面に一層歩みを「進め」てゆきたいと願ふ。

小川未明氏

（一）各組合がいろ〳〵な行がゝりを捨て、無產階級の單一政黨を形造つた事は、在來の感傷的から、科學的に至つた實證と思ひます。

（二）右翼といひ、左翼といひ主義政策の異見に過ぎない。互に反動的であつてはならない。

各自が正しい信念に依つて行動する樣な、自覺あり、批判ある時代たる事を望まなければなりません。

津田光造氏

（一）十四年は社會運動沈潜して表面に花々しい活動は見られない樣であつたが、それだけ日本人の生活の内面に深く食ひ入つて行く用意と力とが養はれたと思ひます。

（二）本年は一層此の傾向を深め且つ高めて社會運動家は、日本を其の生活の内面から深く動かす樣にすべきであると思ひます。

長沼明氏

（一）十四年度の回顧を云へば普選の聲に依り運動は最も惡い轉機を作つたと云ふ一言に盡きる。幾年間又引續きプロレタリアートの悲慘な生活が續くことか、人々よ足許を見て呉れ。

（二）同志は第一に知ること、第二に知らしむる事に努力せねばならぬ。知らざる事が最も恐るべきことである。夢を描がくな。

山内房吉氏

（一）大正十四年の社會運動に於て第一に記憶さるべきものは、兎に角無產政黨の生れる氣運をつくつたことだと思ひます。之れは日本の社會運動の一進展と言ふ事が出來ると思ひます。

（二）この何れ生れるであらう政黨を眞に大衆的なものにするために努力すべきだと思ひます。と言つて、經濟的鬪爭（組合運動）を決してお留守にしてはならぬ事は勿論です。そして勞農提携の具体的方法を考へる事。

深梅政夫氏

（一）何といつても總同盟と評議會の分裂である。あれは實に重大な事であつた。無產政黨の出現、之も我國の社會運動には驚くべき一つの階段である。

大正十四年は眞に多事であつた。色々の批評もあるが兎も角よくも歩みを續けて來たものだ。

（二）生れた許りの無產政黨の育て方を如何にするか、物にするもならぬも只育て方のみである。

又無產青年同盟も今年は大いにやらねばならぬ事が限りなくある。

其次が例の軍事教育問題である、學生及び青年少年の教育は、イタリーになるか、ロシヤいたるのかの實に愼重な考慮を要する問題であると思ふ。

都會よりも地方、殊に農村に於ける忍耐深い運動を地方の同志に望んでやまない。

眞鍋一郎氏

（一）

イ、第一回全國學生軍事教育反對同盟參加、

ロ、治安維持法案反對運動應援

ヘ、第二回全國學生軍事教育反對同盟參加、

ニ、職工の啓蒙運動

（二）

イ、プロレタリアート啓蒙運動、

ロ、青少年軍事教育反對運動

ハ、學生軍教育反對運動組織

付　學生に階級意識を持たしむるべき啓蒙運動

福田理三郎氏

（一）日本社會運動、勞働運動史上特筆すべき惡口雜言、喧嘩分裂、黨爭、私爭、一人よがりのお山の大將當り年。その中で無產者黨の樹立は大きなヒロイ物。

（二）十四年に於て日本の社會運動家もあれ位、喧嘩、分裂

の件

一、宣言、規約作製の件

一、其他の社會運動と協議機關設置の件

一、朝鮮衡平社と連絡の件

一、世良田事件に對する當局へ抗議書發送の件——但し機關紙に發表——

一、全國水平社本部所在地變更を期する件—大阪より他地方へ—

一、不純分子一掃の件

動議　高橋貞樹に對して

（別項參照）

一、青年聯盟決議發表の件

一、自由青年聯盟を全國水平社青年聯盟と改稱するの件

一、政治行動に關する件否決

政治行動に關しては全國水平社青年聯盟は無產者の立場から、經濟的直接抗爭によつて無產者解放の爲め邁進する事を可決し結局政治行動は否決となつた。

決議

大分縣速見郡御越町内竈
九八三番地ノ二
同縣士族　現大分縣屬
高橋八郎　長男
貞樹
明治三十八年二月八日生

但し旧亀川村と御越村とが合併して御越町と改稱す。

備考　本人（貞樹）は速見郡海門寺に生れだりと言ふもかゝる村は全然なし。只海門寺濱と稱する海岸あれど部落なく。而も父八郎氏は現在大分縣屬にありて貞樹氏の部落民と稱するを極力否定す。

先づ右の樣なものです。

以上の事實を調査したる全國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

をやつたら、その方の卒業證書は貰へるだらうから十五年は、大合同、大團體運動の起るべき年、起さねばならぬ年、而して我國の社會狀態から當然起るべき××の前夜に備ふべきである。

岡田明氏

（一）例の勞働總同盟紛亂の眞相が世間に正しく理解されなかつた様に思はれた事。併し無產政黨樹立の事に就いては何にも知らぬ市井の素町人にも多少の刺戟を與へたやうで門外漢の小生もチヨツト微笑まれました。

（二）最早新社會組織に就いての見本は、勞働者の前にはいくらも出來ました。併し彼等は今直ぐに其の中の何れを選べは善いか分らない。亦其の見本を理屈の上で比較研究するひまもなければ、其の豫備智識も少ない。それに現在の切迫した生活を少しでも改善を計るのが目下の急務である。されば私達は其の勞働者の目下の急務に協力して努力すると共に勞働者の解放は彼等自らが成就すると云ふ自主の精神の徹底に努むべきであらうと思ひます。

菅野菊三郎氏

（一）現實第一主義の下に理想を達成せんとする傾向の著しきを認めます。たとへば我國無產勞働大衆が、積極的に、國際勞働機關を利用せんとする氣運が頓みに昂つてきた事は喜ぶべき現象と思ひます。

（二）無產階級同志の小黨對立を撤し共同の目的の爲めに大同團結を計る事は大正十五年度に於ける急務中の急務と思ひます。

小林主男氏

（一）十四年、其れは加古川日毛の紛糾、三菱製糸高砂工場の爭議等の勃發に依つて、安々として[illegible]せし資本家の頭上に大鐵槌を加へて心膽を寒からしめ、昏睡せる無產階級を呼び醒ました。更に卅有余名の犠牲は千人を抱擁する工友會なる勞働組合の礎石を作つたのは何と云つても東播勞働者の一大收穫であり、記念すべき年である。播磨平野には、此後益々社會運動は深刻化して行く傾向にあるのは實に喜ばしい事だ。

（二）我等の目指す所は無產階級の解放である。從つて無產階級の凡ての力を此の方向に伸ばさしめる事が、我等の社會を建設する迄は何年たつとも變らない我等の爲すべき事だ。であるのに何日迄も理論派だの、現實派だなどと、吞氣千萬にも私情的な喧嘩を續けてゐるのは、社會運動上の一大損失であるばかりでなく無產階級の步調を亂す敵である。

我等無產青年は聯盟して、私情を振捨て、[illegible]て無產階級解放への道に向つて突進して行く丈けの氣槪のない社會運動ブローカー共を擊退せしめ、無產階級の大同團結を速める事が目下の急務だと思ふ。

前田泰男氏

（一）三菱政府に普選を要求して治安法と交換され、やたらに勞働組合を生み、合理的手段、てな寢言を吐き、ボルだ、アナだ、勢力だ、繩張りだのと、味方喧嘩に花が咲き、分裂破壞、方向轉換が行はれ、右や左と御都合に依り日和見、無智な無產階級は喰物にされた無產黨が旗揚げブルとプロと二股かけて一芝居打つとは要するに共產黨派の正体が暴露された年だ。

（二）閥とか、繩張りとか商品化そうとする社會運動其の黑幕ブローカーを排斥し、私を無くした純眞なる運動を起す可きだ。

先づ味方を制し後、アナにもボルにも共通の敵たる資本家に向つて勇敢に戰ふ事が必要だ。

大串孝氏

（一）何にもやらなかつた者にとつては回顧と云ふ程の强い印象なし。

（二）我等．何を爲すべきか？は何にを爲すべきか事にぶ突かつた時やるさ。他に高見なぞと云ふ程の事なし。

梅原北明氏

（一）大体に於て四つを問題せねばなりますまい。（A）は普選案の通過です。（B）はそれと交換にされた惱のある惡法治安維持法が可決された事それです。（C）は無產政黨樹立に對する研究と運動とが急に色彩づけられて來

水平社青年聯盟は特殊部落民は部落民自身の行動によつて絶對の解放を期するの綱領に反するものであるを以て、大分縣士族高橋貞樹を徹底的に水平運動より放逐を期す。

大正十四年十月十八日

全國水平社青年聯盟

第一回協議會

因に青年聯盟は益々全國的にその勢力增大し、日本共產黨の下働きを隱然なしつゝある水平社無產者同盟を透[illegible]し彼等の陰謀と巧みな宣傳行爲を打破し眞實な無產者解放と純水平社運動の旗幟を高らかに宣言して猛進することになつてゐると。

尚ほ同聯盟は本部を京都市上京區田中西河原町に設く、關東方面の聯絡を東京牛込區原町一ノ七二自由新聞編輯局內に設く、同聯盟の主なる執行委員は左の如し。

丹羽增次郎、淺田三郎、菱野貞入、川口時次郎、北原春雄、生駒長一、鈴木傳吉小山紋太郎、杉浦繁男、平野小劍、水野繁茂、水野光堂

◎日本共產黨の青年鬪士、自稱水平社員高橋貞樹が實は部落民でも何でもなく、大分縣の士族の小忰だつたと云ふこ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だした事です。それで最後に(D)としては勞働總同盟が分裂して日本勞働組合評議會の創立を見た事のそれです。

其他事件としては群馬縣の水平社燒打ち事件、又は芝浦の爭議に次ぐに高松事件、最近では小樽高商の軍教事件、そして年末に近づいた今日、川崎の富士紡績では猛烈なるストライキが起つて居ります

尙人としては[illegible]
[illegible]×××××
×××××××××××××
×××××××××××××
×××××現象でした。親友なる同志諸兄よ、汝の愛する友のために[illegible]
[illegible]タワリシチが絶命した時ですから。

(二)に就いては今のところ、無產政黨の具體的運動を起すことを待つのみです。什麽運動を起すにしても、今後××行動に出るに限ると思ひます。プランを立てたら躊躇せず、その目的に向つて驀進することです。

マルクス旗の下に、そしてインタナショナルの精神の下にアンチ、ミリタリストとしての自分は、大いに闘つて見たいと思つてゐます。

高橋貞吉氏

(一)十四年は無產政黨樹立運動の基礎を作ることに暮れた

(二)十五年は無產政黨が生れ出で、いよ／＼働く時期に入りませう。

それにつれて、それの働く方向分理原などが決せられねばならぬ。十五年にはどうかさうした問題をミッチリと研究して方向を定めたい。

入谷正忠氏

(一)大正十四年も殆んど過ぎた。

回顧すれば此の十四年は我無產大衆に取つて永久に忘るゝ事の出來ぬ又、紀念すべき年だ。治安維持法、地方靑年に軍事教育の普及法、民衆にお茶濁しの普通選擧法の實施又我岡山には御念入りにも警察犯處罰令施行等掲げて考へれば斯くも積極的高壓手段に出たものだ。

此の治安維持法及び警察犯處罰令は正しく我社會運動の彈壓令であると同時に、彼等ブルジョアの墓穴をより大きく、より深く掘つたものであると思ふ。地方靑年に施す軍事教育は我々民衆に對する彼等の挑戰にあらずして何ぞや

彼の小樽高商の軍教學生に指示した想定を見よ。

斯くして本年中に執りし手段は、我民衆の運動の極致の處の手を以つて挑戰否彈壓せんとしたのである。又我無產階級に於ては幾多の支障を支へて漸く一大單一無產政黨の樹立を見るに致り、全國的無產靑年同盟の烽火も揭げられて居るのである。

彼等は斯くして我無產大衆を無視した否民衆運動に凡ゆる兇惡なる手段方法に依つて挑戰して來て居るのだ。

(二)我等は來るべき十五年度に於ては、より好き組織と、より堅き決心を以つて戰鬪準備を整へて鬪爭を掛けねばならぬと思ふ。生れし無產政黨を完全に發達せしめ、ブルジョア議會を利用して眞に活きたる運動をなさしめねばならぬ。又無產靑年の全國的大同團結に依つて先づ軍事教育に反對し、然して我プロの解放に、無產婦人も全鬪的一大聯盟を作り婦人の解放に。

我プロレタリアは男子も婦人も靑年も、夫れ／＼組織ある一大團結に依つて一齊に

に對抗し、然して解放を計らねばならぬ。

我等の進むべき道は鬪爭の二字あるのみぞ。

村松正俊氏

(一)沈滯して居たと思はれます。

無產政黨組織の準備が稍々人目を惹いたかも知れませんが、その裏に例の共產黨一派が策動してゐたと思ふといやになります。

(二)例の共產黨一派を撲滅すべきこと。

權均氏

(一)朝鮮に於て大正十四年度の社會運動としては別に目立つ程の宜い現象に見えない。只無產靑年運動あるのみ。

(二)然し十五年度に於ては最少し此の運動を組織的に擴張して、農村靑年に迄普及しなければならぬと思ふ。

其れは潜勢力養成の第一步であると思ふから。

とが痛快千萬にも晴天白日の下に暴露された。彼貞樹は嘗ては一橋の商科大學にも學んだ者で、同校の學藝會の機關雜誌に「共產主義者の死」つてな迷戲曲を書いてゐた事は、商科大學の卒業生等が知つてゐる。そして彼の名著？迷著かは知らぬが「水平部落の一千年史」とやらは、京都大學の喜田貞吉博士の著「特殊部落の研究」と云ふ「歷史と地理」と云ふ雜誌の特別號として夙くからその道の研究者には知られてゐる名著と、彼の迷著とが內容がそつくり、唯違ふ所は終の方に附いてゐる水平運動の宣傳ビラや大會の議事錄のやうなものだけだ。

大分縣の士族の小悴たる貞樹は早くから大森のキン・ヤマカンの食客となつて、上田茂樹や田所輝明や西雅雄等と共に、キン門下の秀才として未來に望をかけられてゐたものだが、水平運動の全國を風靡するや、何處をどう潜ぐり込んだのか大正十二年の春頃から急に水平社の高橋貞樹となつて、共產黨の爲めに水平運動のスパイ役を勤めた。お

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

室伏高信氏

（一）うしろ向き時代。

（二）勞働黨、共產黨、農民黨等々を造る事。

尾崎陞氏

（一）階級鬪爭の一般化、大衆の政治鬪爭への動員の轉換期であつたと共に、運動の具体化の傾向が見られた。

（二）更に一般的階級意識の完成と自己批判を忘れぬ具体的運動への努力を望みます。

柳瀬正夢氏

（一）外見的にも心理的にも俺達にとつて大きな年。

エポックメーキング。スタート。「無產政黨」の產聲、（其の影「無產者新聞」の發刊）總同盟の分裂。これらは十四年を突破して走る。問題は愈々此れからです。

（二）行路に、たゞ春の治安維持法反對運動に於いて「反對聯盟」の名による各思想團体のとつた行動的、誠意を憶ふときの熱のなさに、共同戰線は暗くさみしくかき消される。

（二）復數に於いて「プロレタリア文藝聯盟の運轉。單數に於いては其の部門、慢畫及ポスター演劇による飛躍。

新井兵太郎氏

アナ、ボル、サンヂカリスト、資本主義長命丸、共產黨、帝國主義者、現實的組合主義者、自我的日和見主義者等耐會運動と云ふ奴は複雜なものだ。今更ら驚き、もものきさんしよのきとでも吊下げ度い。

普通選擧によつて幸福は來たるものだ。樹立しようとしてゐる無產政黨に對して云々く民衆の權利は擴大した。資本主義の行き詰りだ。と喧騷して、資本家長壽の路を擴げる樣な事をやつて退ける人達。

自分達は政治否定なりと看板を掛けて自己滿足の形に見うける人達、是れ等の人達から現在の議會の組織、政治運動に就いての明確な、正直な、勇敢な說明を聞く事が出來なかつた。

先覺者たる者は衆愚に對する親切と勇敢とに缺けてゐた事は事實であらうと思ふ。議會が如何なるものか、議會の組織は什麼ものかと云ふ事を大衆の多くに知らせそれに期待を持つ事が急であると知る時こそ政治運動の態度は決定する。

僕等は勞働者の立場からストライキが負けても（厭だけれど）勝つても、意義あらしめようとしてゐる。未組織勞働者をして組織化す運動。政黨監視、澤山ある樣で何から書いていゝか後が出ない。ボロを出すのは感心しないから此で止める。

飯野狂生

（一）元來何物も持たない俺達は只切齒するのみ。都會の運動はともかく、田舍青年の無自覺と來たら御話にも何にも成つたものにあらず。只俺達の力の微弱さを感でて慚愧の念に堪えず。

（二）尙ほ將來に向つても徒らに言論文章にのみ慷慨悲憤ばかりしても居られまい。今少し實質的に何にか、さねばならぬと痛切に感ずるものである。

倉本南氏

（一）過ぎ去つた大正十四年度を回顧すると、吾々は全く夢の樣で一ケ年を過ごし、特記する程の事が無いのを恥ちる。吾々プロ階級者が如何に惡戰苦鬪しても、地方同志が一致しなければ仕事は出來ぬ。唯だ生きんとする苦悶と悲哀のみである。小作爭議にしろ、勞働運動にしろ、農村の疲弊一つとして問題になつて居ない。先づ地方同志が團結せざれば效果は擧がらぬ、余は諸賢の御判斷に任かすのみ。

（二）次に十五年度に吾々の爲すべき事は勿論多々あるが、先ぎの事を言ふと鬼が笑ふ。吾々は能書は言はぬ。お上手屋の言、或は物質的には走らず、唯々自分の主義主張を曲げず終始一貫不言實行主義で此の大正十五年度は運動活躍する決心である。要は實行にあるのみ。空想運動は禁物……

白石[illegible]雄氏

（一）（二）共同戰線も豫定もありません。唯だ常に我々は機會を利用して「效果」ある何事かを爲し、又は爲さうとしてゐるのみです。あまり中央の事情を知らない僕にとつては、地方の情勢に應じたやり方を執るより外に仕方ありません……「革命家」は多分こんな人間を嘲笑して呉れる事でせう。

陰で水平社にいゝ加減に引搔き廻されて、あれだれ結束と統一を誇つてゐた運動が、十三年から十四年にかけて分裂して終つた。青年同盟の出來たのも其下準備で、それで化の皮が剝がされさうな形勢が見え出した所で、急に青年同盟を解体して日本無產青年同盟とかに看板をかけかへて、今度は水平運動なんか糞喰へと云ふ態度を見せてゐる。流石は親分のお仕込みだけあつて、隨分と鮮やかな手際だが、スパイと云ふことは官憲の御用を勤めることばかりではないんだぞ。同志の顏して同志の運動を引搔き廻しに來る—つまり彼のやうなのも水平運動から見れば立派に許し難きスパイだ。

日本共產黨もトンダ所で醜態を出したものだ。總同盟を引搔き廻して評議會をでつち上げ政治研究會を惡破極まる方法で乘取り、しかもいゝ加減に世間をゴマかして面の好い事を喋つてはゐるだが、今度の高橋事件ではグウの音も出せない。これだけは如何に辯護しやうとも、また共產黨—

木本凡人氏

(一)總て相離反すべき必然的運命を有つとはいへ、互に情實と異なる主張とを有つ社會運動團体の凡てが同一戰線を進め得ぬと信ずる問題に直面する毎に相方が所謂、萬國の勞働者團結せよへの努力を大正十四年度に最も多く認めた事實は、我々プロレタリア解放完成の爲めに、何と云つても一切を拔きにして喜はしい事であらねばならぬ。

それは要するにプロレタリアは必ず團結せなければならぬ。すべきものだといふ事を常に全プロレタリアの惱裡に彫みつける事に奏効する迄に於いてゞある。

(二)如上の理由の下に吾々は更らに新たにより強く、より堅く全プロレクリアは相互に團結に向つて努力せなければならぬそれから又離反してもよい。さうして又團結へと努力する。

その進轉の中に解放戰の完成は歩一歩として近づき行く。

忍 [illegible]之助

(一)何んと云つても共產黨の目覺ましく活動した年だつた。曰く、總同盟の分裂、曰く水平社内部の混亂確執、それに次ぐに總同盟對評議會の抗爭。政治研究會乘取の陰謀、市電自治會への暗中飛躍。無產政黨の分裂。

彼等の活動舞臺は先づこれだけであり、結果も從つてザッと右の樣なものだ。

(二)十四年が社會運動内部の内粉から内粉に終始した樣に十五年度に入つてもそれが續くであらうと思ふ。その間假に一時的な握手はあつたとしても蒔いた種は、蒔いたもの自身が集穫せねばホントの握手にはなるまい。言換ればそれは再び内粉を前提としての握手であるに過ぎない。

そこで私見は、分裂を恐るな、分裂の中に社會運動の体驗と論理を深めろだ。そしてそれを實行に移せだ。

これは決して結束してあるものを分裂せしめろと云ふのではない。目下の社會運動が分裂そのものだと云ふだけの話しである。從つて無產階級が大義名分の旗下に集るとしても、それが誰に依つて持たれてあるか。理か人間か、それを見て集れと云ふのだ。

渡邊理治

(一)運動の内面から見て云へば、無產階級の大義名分が漸く商品化＝共產黨は誰れにでも、ロシヤにでも自國の無產階級にでも、それを賣つて仮にしてゐる＝の絕頂に登りつめて、加速度的に下り坂に向つて來た傾向にあると思ふ。

從つて十四年度は彼等の陰謀がもたらす小黨分裂に明け喧嘩に暮れた理である。

然し運動家は各々此の小黨分裂の間にあつて自からの体驗に依る多くの獲得物があつた筈である。その獲得物の價値定めば獲得者自身がやるべきことだ。

人々は各々泣くべきこと、笑ふべきこと、腹立つべきことが違ふのであつて見れば、そうするより致し方ない。

(二)さて十五年度に於て吾等は何を爲すべきか、と云ふては見ても、十五年が十四年の續きであり、十四年が吾等の仕事に何等區劃を附くべき程の段落を告げた年でない限り、大正元年も大正十五年も吾等の使命、仕事に變りはない。只十五年にあつては前年から引續き行はれるであらう。余波小黨分裂、それに附いて廻るであらう。離間策ゴシップが一層激甚の度を加えて來る事が必然であると思ふ。

その間にあつて、自からの信念、ヤラネばならない事を大膽に勇敢に決行したいと思ふ。

吾等にあつては即ち

一、討閥の徹底。

一、大庭氏に對するロシヤ政府彈該。

一、啓蒙運動。

一、スカップ看視と彈該。

一、生るべき無產黨への注意

一々擧げて來て見ても初まらないが先づこれ等を當面の仕事として後は湧いた時、起つた時、降つた時。

附記

混沌裡に終つた舊年及び新局面を打開せんとしつゝある本年の豫想は新年野頭最も有意義であり、殊に多數の回答を得た事は讀者と共に欣快とする所である。

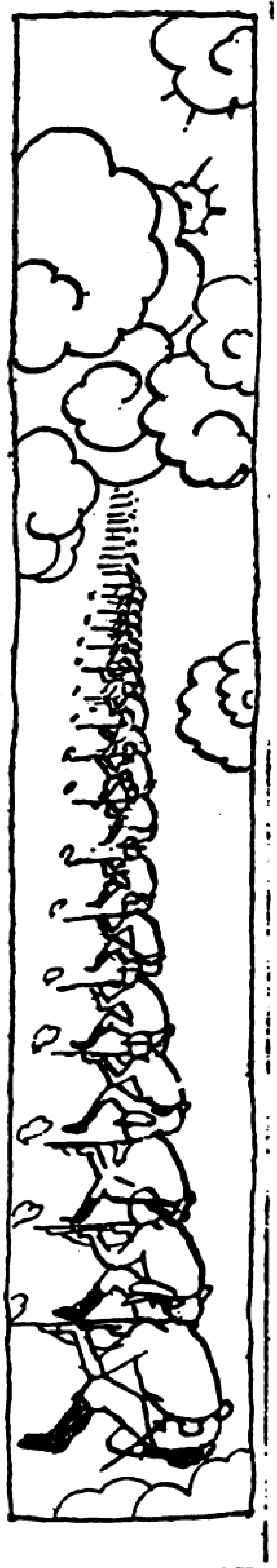
流の奥の手で、この責任を眞樹一人にナスリつけ樣としても、これだけは衆目の見る所いかにしても隱し切れない。眞逆に自分の家に一年も一年半も世話した人間の素性を知らなかつたとは、いくら白々しくても云へない義理だ、知つてゐて部落民でもない高橋貞樹を水平運動にそつと素性を隱して入込ましてあつた事に對しては如何に善意に解しても水平運動に對するスパイでなかつたとは云へぬ。一を以て十を推しても、この水平運動に對する共產黨の遣方が總同盟に對しても使用せられ今また日本農民組合にも加へられんとしてゐるのだ。政研乘取の陰謀はどうだ。俺達は何處までも正義を叫ぶんだ。戰術は勿論必要だが、こんな同志に對して陰險な策を弄してまでも自分達の權勢慾や小野心を滿足さす爲めの戰術なんか撲滅すべしだ。まるでこれでは德川時代の大奥の女中達の仕事か、それでなければ支那の官ガンの宮中に於ける勢力爭ひ見たやうなものだ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

論彈

理論と實際との間隔

高木平原



今年の夏僕は或る組合から頼まれて、勞働問題の講演に行つたことがある。本部や支部で講演をやつてゐるうち、幹部の人々とも知合になつていろんな尊い經驗談を聞いた。

或る日のこと、講演が終ると夕食の時刻だからこいふので、僕は幹部の一人に伴はれて、ちつとした飲食店に行つた。そして其處で茶飲み話にこんなことを語つた多くの聽講者のうちどれだけの數が、眞に自覺してゐる立派な組合運動家であるかといふことがしよつちゆう僕の心で問題となつてゐたからである。

「あなた方の支部には、何人位社會主義の理論の判つてゐる人がをりますか」

僕が無遠慮に訊ねると、其の人は答へて云つた。

「さあ、何人もゐないでせうね。極く少數でせう」

其の組合は日本に於て、單獨組合としては最も强大なものゝ一つであつた。人はこの事實を聞いておそらく意外の感に打たれるかも知れない。けれどこれは別に意外なことではない。何處の組合でも日本の現狀では同じことだと考へられる。評議會の如き急進的なものでさへが、眞にコンミュニズムを理解して活動してゐる者はほんの數へるほどしかゐないのだといふことだ。

斯くて組合の實狀は、これ等極く少數の先覺者達によつて指導されてゐるのだが、同時に又其處に吾々門外漢の注意を惹くものがあると思ふ。

僕は言葉を次いで訊ねて見た。

「では、あなた方は組合を導く爲めに、非常な努力と忍耐とを必要とする譯けですね」

「さうです。吾々は組合員との間隔を、常に考へてゐなければなりません」

幹部の一人はさう答へた。

幹部と組合員との間隔——

組合は少數の幹部によつて指導されてゐるとは云へ、少數の幹部は又まつしぐらに自己の最高の理論に向つて、進む譯けにはゆかないのである。事實は少からず多數組合員によつて制肘され、極言すれば指導されてゐるのである。もし少數がどし〲先へ進んで行つてしまつたら、多數はあまりにも後方に取り殘され、兩者の連結は全く斷たれるに至る。幹部が常に自己と組合員との間隔を考へなければならないとは、つまり其のことであつて、組合運動が理論の運動ではなくして、實際の運動だからである。僕は其の言葉を聞いて、なるほどなと思つた。

吾々の如き書齋の中の人間には、このやうな問題は、平生あまり考へられてはゐない。書齋の中では元來、さうしたことが重要でないとは云はないが問題にされてゐないからである。書齋の中でなら、自分獨りがどんなに飛躍しようと、どんなに先へ突つ走らうと其れが可能であるからである。どんなにも理屈をこね理論に走ることが出來るからである。レエニンの所謂、小兒病が、其處では可能である。からである。けれど一と度び書齋を出ると、なか〲さうはゆかない。そこには常に民衆と自己、理論と實際との間隔の重大な問題が横はつてゐるのである。

何人も知つてゐるがやうに社會主義は書齋の中のものではなく、街頭の上に立つものゝ理論の運動ではなく實際の運動でなければならないと、屢々多くの人々によつて説かれてゐる。けれど其の説かれたところとは反對に、日本では社會主義が自分獨り先の方へ走り出して、民衆をあまりにも後方に取り殘してゐる場合がないとは限らない。社會主義が實際の運動だといふのは、民衆を對照とするからである。民衆を對照としなければ實際運動ではなくなる。思ふに社會主義が獨り先へ行つてしまつて、民衆をあまりにも後方に取り殘す時は、民衆は時に社會主義を火ツケだと誤解し飢えたる者の握飯の强奪者だと見做すやうにならないこともない。

然し僕は理論を全然無視する者ではない。理論は大切である。其れは重大な役割を持つ。其れによつて人類は、最高の峯に導かれる。けれど最

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

高の峰に導かれるものが、獨り理論の判る先覺者乃至先驅者だけだと考へ可きでないといふだけである。彼等以外に猶ほ大切な一般の民衆があるといふのである。されば一般の人間が、道草を食つたり、横道にそれたり、中休みをしたりする時、彼等先驅者の任務は、最も困難なものとなる。自分等だけが先へ行つてしまふ譯にはゆかないからである。兎に角、自分が今何處の邊を歩いてゐて、民衆が又何處の地点に達してゐるかといふことが充分考慮されない限り社會主義運動は理論に走り理屈に墮して、大きな效果をおさめることは出來まい。丁度組合の幹部が組合員との間隔を常に考慮に入れて行動してゐるがやうに、社會主義運動も亦、自己と民衆との間隔を考慮に入れて行動しなければならないではないか。而してさうする時始めて其れは、實際運動となり充分な效果をおさめることが出來るのであらう。理論と實際、社會主義と民衆、其間隔の問題け最も重大な問題でなければならない

ファシズムの高潮

物部明

イタリーに於いて端を開いたファシズムは今や全世界に亘つて彌漫跳梁を逞しうしつゝある。

全無產階級の政治的戰線への進軍に依つて歷史的飛躍を遂げつゝある日本の社會運動も亦、プァシズムを誘發し、反動の潮流が解放運動途上に張り横たわつてゐる。

日本の支配階級が最後の滅亡の目前に迫れるを看取し、愴惶として自らの存續の一日も永からん事を希ひ、クーデターの一として軍事教育てふ名の下に學生のファシズム養成に着手し更らに青少年に迄其の魔手を擴げんとしつゝある。

過般の小樽高商に於る「主義者及び不逞鮮人」想定問題の如きは實に、學生のファシズム化を劃しつゝある彼等支配階級の陋劣なる根本方針を暴露したものに外ならない。

過ぐる日、鳴物入りの宣傳の下に生れたる日本黒シャツ黨事、立憲大同盟の如きは我國に於ける代表的反動團体を以つて自他共に許し、其の宣言、綱領等は實に巧妙なる美言美辭を以つて揭げられてゐる。

併しながら彼等が如何なる巧言、如何なる美辭を弄する共、依然として支配階級の手先であり、走狗であり、我等プロレタリアートの敵である事には斷じて變りはない。

彼等は社會主義を外來思想なりとして極力排斥しつゝある。傍ら、イタリーに發生したるファシズム運動を何等の修飾も加へず、其儘踏襲、模倣して不關焉の態度を示してゐる。

知らず!イタリーの外國たるや否や。

ファシズムは何れの地に於いても、官憲の默許の下に白晝公然と武裝し、或ひは白刄を閃めかし、或ひは竹槍を扱いてストライキ中の爭議團を襲擊し、罷工勞働者を脅威せしめ勞働階級の正當なる權利、當然の要求に對して不法極まる壓迫、迫害を加へ、解放運動を彈壓しつゝあるのは其の最も顯著なる罪惡である。

而して之等暴力團に對する司法當局の取締りの寛大なるに對し、今更らの如く悲憤を洩らす者はあるが此は寧ろ當然と云ふべき自明の理である。

或る地方に於ける官憲當局の如きは勞働爭議勃發するや直ちに之等暴力團を使嗾し、白刄を閃めかして罷工勞働者を脅迫せしめ、以つてストライキ破りを爲す事を常套手段としてゐる。

斯の如くにして飽く迄も×××なる支配階級及びファシズムは斷へず××てふ彈壓の刄を以つて我等を迫害しつゝある。資本主義制度が滅亡に近付けば近付く程彼等は增々、勞働運動、農民運動、水平運動に對して猛烈なる迫害の慘虐性を露はすであらう。

茲に於いて乎、我等も亦、何事かを覺悟しなければならない。苟も正義なりと信じ、眞理なりと說く以上は、其の前方になつて之れの進展を阻害せんとするものゝ一切を擊破して勇敢に突進する覺悟はなければならない。

我等の進路は不斷の荊棘に閉ざされてゐる。我等の頭上には不斷の迫害、牢獄、ギロチンは落下せんとしつゝある。されど我等には團結てふ最大の力がある。プロレタリアートは確固不拔にして組織的なる此の力を以つて血迷へる帝國主義者の猪突的暴力主義、和製ファシズムを一擧に粉碎せよ!

▽△

共產黨曰く「我々唯物論的辯證法主義者即ち科學的社會主義者即ち革命的社會主義者は—」勞働者曰く「分つた、革命が起きて危くなつたら、サツサとロシアへ逃げて行くだらう」

▽△

共產黨の學者尤もらしく言つて曰く「結合する前に分離しなければならぬ」(マルクス主義十一月號)

▽△

事實の進展は容赦なく答へて曰く「分離はしたが結合は永久にし損つた」(雲助)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「學者」の抹殺

遠山香澄

如何に多くの書物を讀んで讀んだゞけのものを頭の中に詰め込んでゐた所が、それは結局それだけのものだ。書物を詰め込んでゐると云ふだけなら、學者の頭よりは圖書館の庫の方が、餘程傑いんだ。

書物を讀んで、それを口から喋るだけの事なら、人間よりは蓄音器の方がずつと役にも立つんだ。

智識を頭の中に詰め込んで置くだけの仕事、またはその智識をリノタイプ式に、口から、音聲に出して見せるだけの仕事なら、生きた人間に態々頼まなくとも、結構人間外のもので間に合ふ、學問と識見との違ふ所はそこだ。外國の社會主義書即ち日本の社會運動だと思つてゐる連中の頭は、つまりこの圖書館の庫か乃至は蓄音器なんだ。十と五とを加へると十五になると云ふことは、鸚鵡で敎えられたから知つてるが、十から三引くと幾つ殘るかと問はれると「マルクスはそんなことを書いては居りません」と平氣で答へる連中が、日本社會運動家や主義者と稱する仲間にも澤山ゐる。

學問は知つてゐるんだ。だから理論から行けばかうなんだ。だから現實の問題に當てはめて見て、それが自分の覺え込んだ理窟どほりに行かないと「これは怪しからん。この事實はマルクスの理論どほりに當てはまらん。これは事實が間違つてゐる」と來る。マルクスこそイヽ面の皮さ。こんなのに會つちや、現實の生きた問題なんか、そつち退けだ。やれレーニンの曰く、ブハーリンの云はく、ジノビエフ御大の申されたの、扨てまた御祖師さまマルクス聖者の御遺文には……等々く々と來る。その間に日本社會運動の現實はトンでもない方角へ吹飛んで終ふから、「ア、無自覺な大衆よ」と來る。イヤハヤどちらが無自覺なのか、トント俺達風情には見當がつかぬ始末だ。

こんなのを稱して高等批評とは云へないだらうか。學者の書齋から聞えて來る迷言は悉く俺達無自覺とやらの人間には、まるで馬の耳に念佛蛙の面に水程も役に立たない

俺達は現實の問題を解決する爲めに、日々の鬪爭をやつてゐるんだ。論理が必要であるならば、資本論も唯物史觀もあり、×××の宣言もあるその他に宣言や決議は何百年の昔から、うんと山の樣に積れてゐる。それにも拘らず、現實の問題はそんな宣言や決議におかまひなく、どんどんと勝手な方角へ進んで行く。そして人間はその後から絶えず、宣言と決議の仕なほしをして行くそして曰はく「必然の歴史的推移だ」と來るんだ。

如何に學者が理窟を發表しやうとも、現實の問題は學者や博士の名を恐れはしない。書齋に閉じ籠つて何十册の本を書かうと、社會現象はその爲めに一部も變更されはしない。

だから現實に生きることが面白いんだ。階級鬪爭は理論ぢやない。××は書齋からは起らない。自分だけで日本の××運動を指導する積りでゐても、街頭の問題は學者が書齋で考察してるやうには動かないから仕方がない。

若しもこの書齋の××家の理論が、現實の問題に對して少しでも權威を持つやうな狀態になつたら、その時の社會運動は災ひなるかなだー。俺達街頭のプロレタリアは、行動が常に理論だと云ふ立場を忘れてはいけない。街頭の行動を無視した理論は、かの「圖書館の庫」式の學者先生に任せて、そのかはりには俺達はその「圖書館の庫」式の學者先生の屁理窟も抹殺しやうぢやないか。俺達は全生命をかけて迄も、何も社會主義の理論の享樂をやつてゐる譯ではなからう。俺達の全生命はそれとはもつと違つた××の爲めに懸けてあるのではなからうかネ。

社會××理論の高等批評をどしどし抹殺せよ。テロリズムに對する批評は、勝手だが然しテロリストに對する批評は、批評者自身その行動を執り得る時に於て、始めて批評の權利を有すると同樣に、眞の××的××家に對する批評は、やはり批評者それ自身が××的××家であり得る時に始めて許さる可き權利だ。さうではなくして、無責任な書齋裡の高等批評は、許す可らざる社會××運動への冒瀆だ

百の理論も千の智言も、悉くそれは最後の一つ手前のものだ。それが恰も最後のものであるかの如き顏して、俺達の行動を支配しやうとする時に、俺達はこの邪魔ものを抹殺しやうとする。だから社會運動の高等批評抹殺は、決して智識の抹殺ではない。まだ俺達はそれ程、智識そのものには絶望はしてゐはい。唯、レーニンの云つた「理論なくして行動はあり得ない」と云ふ語を誤解して、理論ばかりに脚をさらはれてゐる社會主義學者の批評を抹殺するのだ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

人間權を奪還せよ

井上生

社會に生存するありと總ゆる生物が須らく「よりよく生きん」として總ゆる壓制者に對して叛逆する事は本能であり必然的である。

凡そ人生の歸趨は生の充足にありと信ずる社會と云ふものは、多數の人類が結合に依つて形式され而して社會の維持向上發展は期せらるゝのだ茲に於て人生と云ふものより「生」を剝奪したなればそこには人生を意味せず從つて人類に非ずと云ふ事になる故に、人類なかりせば社會は無い事になる、されば生を充足する事に依つてこそ、始めて人生を意味し人間が「生」への努力ある事に依つてのみ、社會は形成され維持され發展され行くのだ。而らば社會の原則は須らく萬人が等しく生を充足させねばならないと云ふ事になる、故に生を充足さすに必要とする一切總ての手段を社會より受けんとする事は之れ當然の人類の權利であらねばならない

然るにそれが往々にして時勢の進運と時の變遷とに從つて、この尊い原理は浸され蹂躪される樣に成つて現代の如き不合理極まる社會を生み出す樣に成つたのである

こゝに於て俺達は何故に總ゆる權利と自由を[illegible]、[illegible]奴隷として陰慘な生活を續けなければならないであらうか、と云ふ事は、歴史的段階を見れば、はつきりと意識させらるゝのだ、であるが故に俺達は如何にすれば、この現代の如き不合理極まる社會を眞に人類が生の充足を滿たす世にする事が出來得るであらうかを考へるなれば俺達は第一にこうした處の社會にした總ゆる特權階級に向つて人間權を[illegible][illegible]しなければならない、そうしてこの不生產的組織である現代の資本主義を呪ひ此の不合理なる事を痛憤して組織を根本から改革しそうして無駄な一切の勞働を中止し眞に働き甲斐のある社會を建設する事に依つて始めん俺達全人類が均等に幸福が得らるゝ事と信ずる。

然らば俺達貧乏人は、こゝに一致團結して共通の立場から酷使し奴隷として俺達を[illegible]、[illegible]贅澤三昧に耽つて女掛や手掛さを幾人とな！連れ毎日遊び廻つて居る奴等も天を摩す大百貨店に美しく飾り立てられてゐるキラビヤカな無數の贅澤品は、それ皆んな俺達が毎日汗水流して[illegible]り出された勞働の結晶であるのみかそれが果して人類の生活上に何の意義があり得又、何の影響や關係があらう

さすれば是等無必要な生產品とその爲めに貴重なる俺達勞働者の[illegible]、[illegible]、ゐる一切の白面の沃怪共を驅逐する事は人類の全体を幸福に導きその第一條件でなくて何んであらう？……

彼の仁丹の廣告の樣な物にでも彼等の住宅には如時も人間生活に不必要な物の多々ある事を？……

引き換へて俺達勞働階級の住宅を見る時に、あゝ呪はしい！ー

お丶親しき兄弟、同志よ永遠の幸か不幸かは俺達の今行かんとするどちらかにある、兄弟よ俺達は子孫の爲めに一切に奮起して赤旗の許に集まろうではないか而して聲高らかに人間權の[illegible]の爲新社會創設の爲に絶叫しやうではないか

一九二五一一二六

新らしき女性へ

梅津四郎

お身らが、思想に徹底純化し多年我が國女性の先蜂として婦人解放（公娼廢止參政權の要求）のため努力し來られた、其の努力に對し吾人は感謝せざるを得ない、而し振返つて見るなればお身等のみが進まんとして無產大衆を忘れはしなかつたか、お身らと無產女性の間に大なる距離が出來た事に氣が御附にならなかつたか、お身の叫は余り華々しい許りで眞の解放に何らの進んだ跡が見えぬ、製絲女工を見よ、何拾萬の紡績女工を見よ、彼女等には何らの自由もなく平等もなく些遍もない、動物並の取扱を受けてゐる、朝の五時から夕の七時迄働らいてゐる、拾弐疊の部屋に拾五人が雜居してゐる、勿論行李も置けば棚も取つてある、若し以前に脱走しだ事がある者があれば戸は釘付けにさゝる、保安設備は備はらず若か一朝事有りし時は多數の犧牲者を出すは目のあたりだ 千名の工女が昇降口は一間梯子二ヶ所在る丈だ、此の上り口には錠が掛つてゐる、夕べに点呼で寢せて朝点呼で部屋を出す、唸何たる事ぞや、此は皆事實だ

お身らよ、お身らが公娼廢止參政權の要求をなしてゐても 多數の無產女性は斯うした待遇を受けてゐる、斯てはお身らの努力も百年清河を待つと同じだ 來るべき秋の力はお身らに非ずして無產大衆にあるのだ「若も」を考ふるとき お身らと無產女性の多數の間に大なるけんかくがあつては 成功しない事を考へねばなるまい

新らしき御身らよ、無產大衆に立返つて貰ひたい、そして眞の解放の叫を無產大衆の中から上げてもらひたい、無產大衆を水準迄引上げる事だ それで本當の新らしい女性として價値付けらるゝ事だ

妄言多謝、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あるアンチミリタリストの信條

水野正次

今日にあつてはアンチ・ミリタリズムは自明の眞理である。それがいかなる場合であらうと、われわれは國と國とに[illegible]しなければならない。國と國との戰爭に參加することは、今の場合直接にわれわれの手で[illegible]を同じうする仲間、すなはちプロレタリアートを[illegible]ことにほかならない。われわれの親妻、子、兄弟等は誰れのために虐げられてきたか？また、誰れのために現在虐げられつつあるか？そして、もし、われわれが[illegible]す[illegible]に[illegible]？誰れに利益をもたらさねばならぬか？……かくして、すでにあらゆるものを——自由を權利をパンを——奪ひとつた資本主義的帝國主義は、さらにわれわれの[illegible]かのいみじき美名にかくれ、巧妙きわまりなき詐術によつてたとうとするのである。さらば、われわれのほんとうの敵は誰れであらねばならぬか？……

ひとたびこの事實を自覺しわれわれのヒユウマニテイに自覺するものが、いかにしてみづからその罪を犯し得るぞ！武器をとることによつて犯す罪惡の範圍を考へてもみよ！實に戰慄なきを得ないではないか！

われわれは[illegible]二千人の[illegible]利益のために數百萬人の幸福を蹂躪する惡魔の走狗たることにほかならないのである しかして、[illegible]

[illegible]入。

武者小路氏は「戰爭はよくない」といへる詩にてかく歌つたことがあつた。

俺は殺されることが
嫌ひだから
人殺しに反對する
從つて戰爭に反對する
自分の殺されることの
好きな人間
自分の愛するものの
殺されることの好きな人間
かかる人間のみ戰爭を
讃美することが出來る
その他の人間は
戰爭に反對する
他人に殺されてもいいとい
ふ人間
自分は殺されてもいいとい
ふ人間
人間が人間を殺してもいい
といふことは決してあり得
ない
だから自分は戰爭に反對す
る
戰爭はよくないものだ
このことを本當に知らない
ものよ
お前は戰爭で
殺されることを
甘受できるか
想像力のよきものよ
戰爭はよしなくならないに
せよ
俺は戰爭に反對する
戰爭はよきものとは斷じて
思ふことは出來ない

アンチ・ミリタリズムの理論はしかく簡單だ。その理論はしかく單純だ。

しかし、諸君はこの簡單なる理由、單純なる理論に反對する、ひとつの理由、ひとつの抗議を見出し得るか？

よし、また、それに反對するいかなる理由いかなる理論があるにもせよ。われわれはもはや腦中に横溢するやむにやまれぬ要求——新しい戰禍を抑止し、平和なる新社會を建設せんとする必然的なる要求をどうすることも出來ないではないか？しかして、人類を現在の悲慘よりさらに慘酷なる未來の悲慘より救ふため、武器を棄つる以外によりよき方法が他にあり得るか？……………

私は最近如上の理論（おおそれはまたなんと單純なる理論であつたことぞ）を逐行し實現せんがため、文字通り生命を賭して戰つたのであつたが、それは不幸にして豫期以上の功果を——流された血、拂はれた犧牲に相當する功績を——あげうることが出來なかつた。私はその異常なる体驗——該事件の深刻なる經過ならびにデリケイトなる葛藤は到底この餘白に盡すべくもないし、その自由を持たぬがゆゑに私は今しばらく遠慮しておく——によつて、アンチミリタリズム運動が、もしもその實行と理論の上において國際的組織的大衆的なる準備と基礎とを缺くときは必ず失敗に歸するといふことを痛切に敎へられたのである。

由來、ミリタリズムは資本主義的國家の餘剩精力として生誕を見たものであり、そして、資本主義制度の發達につれて、漸次組織化され、より資本主義化されたものであるが、今日においては、兩者の關係はもはやさうした單純なるものではなく、彼等の關係

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と共鳴の程度は今や到底われらの想像も及ばぬ境地にまで達してゐるのである。（このことについては他日さらにくわしく論議する機會をもつだらう）

そこで、私は左のごとき大膽なる結論をすら躊躇なく發表しうるのである。

「もしも、プロレタリアートにして、ミリタリズムを完全に征服するの勇氣と實力とがないならば、恐らく、それはまだ資本主義制度の・・をもつてこれに應ずることが出來ないといふことを事實において告白してゐることにほかならないのである」と。

這般の事情を熟知し、かつ信ずること深い私は、インタアナショナル、アンチ・ミリタリズム、ムウヴメントの時代にもつとも急迫した必然的なる運動なることを知るとともに該運動の刻下の急務なることをも確信して疑はないのである（一九二五年十月十五日夭沼にて）

無産政黨勃興と無産者

湯原彦三

日本の社會運動も既に第二期戰に入り勞働運動の發達は農民運動の誘發となり農村に於ては漸進的に産業革命を起しつゝあり、ブルジョアー議會は、無産者の叫びと民衆の輿論に壓迫せられ止むなく普通選擧を實施せなければならない事となり普通選擧法案の成立したることは諸君も御承知のことである。併して普選の通過は無産政黨の勃興となりてあの近々二三年前迄はサン、チカリズムの主張により絶對に政治的の行動を排斥したる組合運動も何時しか方向轉換を起し參政の氣運は漲り政治研究或は無産政黨の組織と無産階級解放運動も又其聲に刺激せられたる勞働者も小作人も其の主たるべき經濟運動より政治運動の方に熱中する有樣となつた。

全日本の勞働者よ無産の同胞よ普選の實施により我々無産階級の代表者を僅か少數をブルジョアー議會に送つてどれだけ社會が改造なされたかと云ふことを確り意識せなければならないと思ふ。日本には世界に比のない決議權を有する、明治時代の遺物たる貴族院のあることを忘れてはならない。少數の議員を議政壇上に送つても決して無産者の生活の安定を得る能はざることを斷言する。

我々はブルジョアー議會を看視することは議論の余地はないが組合運動も政治行動よりも今少し組織の力を得ることを必要とし政治運動に熱中するは考慮を要することゝ思ふ、政治行動を主とする運動は絶對に反對すべきである。現代の組合運動者に可なり政治屋の多きことを悲しむ。

勞働運動と警官

山本春一

勞働運動に對する官憲の威壓干渉を、吾等は是を以て單に官憲其の者ばかりの罪とは云ひ得ない。警官と雖も矢張り俺達と同じく生きむが爲め食はんがため、一家の生計を維持せむがために働いて居る無産階級だ。勞働者が生く可く、社會に向つてパンを與へよと叫ぶ。眞理なる運動には必ず同情して居る。下級警官も經濟上に於ては誠に不幸な階級である。俺達と同じく社會のドン底を流れて困窮生活の悲慘事にも忍從せなければならぬ。勞働者を斬り付けては心の中はいい氣持はしなからふと思ふ。所が中には無自覺な、無意識なさも俺はいい地位になつたやうな了間で居る警官が居る勞働者が合法的なストライキをした時、衝突に當つて彼等に斬られて歸宅した時、良人の其の慘狀を見た妻子は悲哀の極に落ちるだらふ。怨恨は骨髓に徹するに違ひない。

反對に警官の妻子の心意は如何であらふ自分の良人が職工を斬つたと聽いて欣ぶ者はあるまい。人情の然らしむる處はおそらく變りはないだらう。

俺が先年某未決監に收監された際、看守長がこう云ふ事を言つた「監獄は君等を好んで引張り込んだのではない。檢事局からの命令で君等を預つてるのだから、監獄を怨むより檢事局を怨め」と云つた事がある。看守でさへ俺達を優遇して呉れる。然るに俺達の運動に壓迫干渉を餘儀なくさすのは何者だ。俺達は資本主義社會の不合理を叫ばざるを得ない。

如何に現代の社會組織が不合理に、少數の有閑階級に都合よく出來て居るか。俺達は其の凡ての不公平を呪はざるを得ない俺達兄弟等に壓迫の手が加はれば加はる丈、俺達の眼は憎惡と反感に燃ゆるであらふ。兄弟等よ目覺めざる者は醒めよ！起たざる者は立て、悟らざる者は來りて究めよ。

人類の共存を本意とせる正義の團結の旗下に走せよ。我等團結の力に、・・・・・・行執なる資本主義經濟組織を改造せよ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社便り

閥賊に御禮する

私は最近罰金五拾圓さ貳百圓を科せられた、傷害罪は山川均が北原横田を煽動して進め乘取を計畫し破れて逃げるときに保證金を盗んでいつたが私らは横田を毆つて それが傷害である、布施氏の辯護に依り診斷書が毆打の日より一ケ月遲れて取つてある 全く〳〵ニセ診斷書であつた事が判明した二百圓は新たに大庭事件調査會が起りてからである、吾々が其實情を確めんさコップを訪ふさ進め社の奴らは國際問題を起すさ警視廳はあわてゝ私を半年もたつた新聞紙法違反を見付けて收監したのです、讀者諸君よ閥賊の奴はこんな事をするのです。

私は此機會を得て、閥賊に御禮を申上ぐる（福田）

二邦角

▲私は相州腰越在に移つた。社の方は同志諸君が適材適所を分擔してやつて吳れることになつたので一安心だ。暫くこの名にし負ふ、「義經腰越」の地に、痩せる心さ身さを養はんさ思ふ。

▲此頃松風の音さ共に口ずさむ。「擊たるゝものも擊つものも、今更此處に見かへれば、共に夕の嶺の雲、風に亂れて散るかごさ、蠻觸二邦角の上、蝸牛の響おもほへば、世々の姿はこれなりき。」（腰越在にて、石川）

肌が違ふ

▲我等は知る、今我等の爲さなければならない多くの事のあるを、けれ共、我等には不幸にして運動費さ云ふものは更にない。この頃思ふは此事だ。

▲進め社が新なる幾多の同志を迎へ陣容を新にして戰ひ得るに至つたのは近來の快だ。進め社は言はゞ御國固有の社會主義浪士の社だ。洋行歸りのハイカラ社會主義者共さは肌が違ふ。（雲助）

彈壓に抗爭せよ

全日本の同志が久しきに亘る獻身的努力さ、重大なる犧牲さを拂ひ漸くにして呱々聲を擧げ我國無產階級解放史上に歷史的新機軸を劃したる農民勞働黨は暴戾なる政府の爲め、存命僅か數刻にして忽ち結黨を禁止された。

奸悪なる既成政黨流及びブルジョアジーは定めし一齊に、農民勞働黨成立の歡聲に愕然さして戰慄し、禁止の報に雀躍さして凱歌を揚げたであらう。

我等の豫想は適中した、即ち彼等ブルジョア政府は左手に普選なる餌食を提り飢えたる民衆の眼前に示し、其れを得んさした民衆の頭上に、彈壓の兇刃を揮つた。彼等は勇敢に　た。我等は知る、將來何を爲すべきかを！

されご今後に於ける無產階級の政治運動は今回の禁止に依つて、新らしい局面に向つて進展し、其の構成分子の上にも大變化を來たすであらう。

新たなる年を迎へた吾々は、社會運動界に包まれつゝあつた不純分子の掃蕩を期し、改年さ共に層一層の奮闘振りを示すべく意氣愈々旺んなり。（松山）

現代の英雄？

人生の行動は意氣さ信頼さにある。「命も要らぬ、名も要らぬ、金も要らぬ人間は始末に困る。この始末に困る人間でなくては、共に國家の大事は謀るに足らぬ」さは南洲翁の語だ。命を要らぬ人は、今の世の中では稀きにしも非ずだが、名も要らぬ、金も要らぬに至つては、眞に現代に於て寂々寥々だ。

吾々の運動は勿論命も要らぬ覺悟は皆してゐる筈だが、尙ほその上に「名も要らぬ」さ云ふ要件一つを附加したい。ここにおつてこそ始めて日本の社會運動が深刻化して來るのだ。日本の維新の大業にした所で、ごれだけの勇敢なまた信頼し得る人間が、名もない捨石さなつてゐるか。僕はその人達を尊敬する。ロシア革命にしても眞の原動力さなつたものは、悉く此の默々さして捨石さなつて階級戰に斃れた勞働階級の戰士達だ。

日本の社會運動には、今何よりも斯くの如き「英雄」が必要だ。現代の英雄さは、この意味でなければならぬ。この「英雄」が出ない限り、日本の社會運動は、何萬年經へも無風帶さ同様だ。

吾々は「進め」を通じて、斯くの如き英雄を全國に求めんさする。そして信頼さ意氣さに依つて、日本社會主義運動の上に、劃時代的記錄を殘さんさするものである。（山川）

戰はん哉！

戰はざるべからず

打破せん哉！直譯的運動精神、抗爭せん哉！日本共產黨？

吾等は無產階級運動の代號毀共產黨を葬らんさす。それに依つてのみ無產階級運動を混亂の今日から進展への明日に導し得る道を發見する。

× ×

無產階級運動は此の代號毀打破に依つて何等損失を蒙らない。堺さ云ふ、森柳一萬圓貯金法の稱本書き、有田ドラックの宣傳係、山川さ云ふロシヤ御用黨の總師、其の他色々顔觸フックメーカー、こんな人間を以來無產階級でかつがなく成るだけの事である。そこに無產者の心からの哲理が流れる。此の二氏に共通なる點は、無產階級の大義名分を自己の爲めに政策化した點に於て成功した、までの話である。

× ×

此の共產黨なるがり〳〵黨の惑する打擊は、その御百度踏み、參拜九拜黨に於て悲痛な事であらうが、彼等の爲めに分裂し混亂し來つた勞働組合、思想團体にさつては、丁度搾取した者を絞首台上に目擊する程の痛快さを感ぜしめるだけである

× ×

共產黨を葬る事の必要は、確かに現代の運動を泥沼から救ふの道であり、無產階級運動を新生に導くに十分價値ある者である。

× ×

戰線整理のために！

各々の組合をしてスカップ行爲なからしめんが爲めに、右黨も左黨も、その爲めに起て

× ×

戰はん哉！　戰はん哉

戰はざるべからず

（渡理）

大庭柯公虐殺眞相調査から

△大庭問題は決して立消えではない。不親切にして無責任に「[illegible]」は未だ吾等に何等の回答をも與へない。詳細なる記事は問題の解決さともに發表すべきは勿論、其後の報告さして本號に於いて該問題の記事を詳くべきはづであつたが多面にして煩雜極りなき日本社會運動が派發せる種々なる新問題の爲め紙面の餘地なきを遺憾さする

△來る本誌二月號には調査會のくわしき顚末さもに、尙必要ある諸氏への呈言、並に解放十一月號紙上に於ける山崎今朝彌氏及其の他の諸氏にも責任ある筆戰に見える。

△尙私は來る一月十日金澤九師團工兵九大隊に入營することになつた。改めて軍隊から解放戰の戰線に參戰する日の近きを報告して置きます（谷口）

全土戰報

愛知縣

農村青年聯盟生る
―青年雄辯聯盟と共に―

不當な壓迫と苛酷な手段を弄す資本家のお先き棒―官憲の暴戻の下から我々無産青年は、幾多血と泪の試練を經ていつに農村青年聯盟を組織するに至つた。最初青年農民黨として同志若干名が町議戰の折奔走したのが動機となり、本聯盟を生むだのである。それと共に青年雄辯聯盟を組織し、闘士の養成に努めてゐる。何分田舍のことゝて一部の青年を除く他、思想の幼稚は脱れないが、今はその一過程として少數者の團結である。けれど軈ては尾張部一圓を、そして三河部一圓を、愛知縣全般に及ぼす計畫を樹てゝゐる。三河には未知の山口君等が活動されてゐるやうだが、接近したいものだと思ふ。この頃各青年團の團員に向つて書籍雜誌の調査をしたが、新聞に誇大な廣告をするキングなどが多く讀まれてゐるには一驚した。それでも數年前までは雜誌など殆ど讀まなかつたものだが、一進歩と言ふべきだらうか？、中學講義錄なぞも大分讀まれてゐるやうだが、農村青年の向學心の盛なのは證されたわけだ。彼等―（農村無産青年を指す）―が夜這ひやその他の惡風習から漸次自覺して、自己本來の立場に立脚するやうになるのも近い將來であらうと思はれる。我々はその先驅者としての使命を及んでゐる。それに官憲の不法な拘禁にも對抗しなければならぬ。解放とか新人とか讀む青年は警察の呼び出しを喰ひ、どうかすると一夜乃至一週間もの檢束に逢つたりする氣の弱い者などこれで駄目になつて了ふ。農村青年聯盟は思想の洗禮を無自覺な青年に與へねばならない。我々が荊棘の道に幾多の障碍と陷穽のあることは見え透いてゐる。支配階級の惡智に破れてはならない。共力して我々無産青年は廢頽そのものゝ農村に黎明の光を仰がなければならない。力は組織より―農村青年聯盟は青年雄辯聯盟と共に、明るみへの道を辿りつゝ、最後の勝利を期しなければならない。（尾張の東部にて）大和久雄

九州

南九州に於ける
無産青年運動

現在に於ける官製青年團の運動が段々と思想的にも實際的行動にも漸次青年自身の運動に方向を轉換し其れが無産青年運動の形式となつて純粋の意味に於けるソシアリズムの方向に急激なる思想的自覺の飛躍的發展を遂げつゝある。其してこの運動――目標を凝視せる――が凡ゆる周圍よりの壓迫に拘はらず必然の過程を踏んで増々其の流れを大にして或ひは陰然、或ひは公然と青年の過激なる運動となつて現はれつゝある。南九州に於ける農村無産青年の運動も將に勃興ぜんとしつゝある全國的農村無産青年の如上の形勢を的確に反映し縮寫してゐるものに外ならぬ。反動の根據地、白衛の製造所と迄目されし南九州の地が今や思想的純化と階級的團結とを暗々裡に形成しつゝある事は正に支配階級をして、　　　　に足るものがある。之れ實に當地方に於いて○○○○○○殆んど寢食をも忘れて活動しつゝある一二の無産青年の暗中飛躍の

結果に外ならない。

要するに無産青年運動主として農村無産青年運動が南方の反動全盛の地を起點として漸次隣接地方に擴大し今や全九州を席捲せんとしつゝある。其れが日を逐ふに從つて全國に散在するプロレタリア團体と完全なる系統的連絡に依つて勢力を增大せんとしつゝあるのは誠に喜ぶべき事である。

尚又近々組織されつゝある無産青年の思想團体の如きは一脈の不純分子をも含まざる赤色の色彩を施し、そして其の赤色は漸次に全國的の赤點と共に團結し一切のブランクを包括するに至るに違ひないと思ふ。

一切の〇〇運動も農村の經濟的支持なくしては不可能であるロシヤに於ける慘膽たる苦心の跡は歴然として我々に其の好例を垂れてゐる。

永き　　　と　　に屈したる青年の群は焔々として流れ來る新らしい思想を飽く迄吸收し解放の曉を望んで堅き團結の下に進みつゝある。

終りに臨んで新に組織せんとする南九州に於ける思想運動家闘士諸君の今後の健闘を祈る。（大阪）矢勝或雄

鳥取縣

投機以上危險な農業

服部芳象

梅雨期の田植ゑより三伏炎暑の下田の草取りを經て秋のみのりまで、雨につけ風につけ心を痛め、いよ〳〵收穫といふ時「むく起きに霽見る二百十日かな」むくつけき。併し可憐なる心の小作人が、心からなる祈りも今年のような暴風雨一過すれば、田を流し作物を荒し、殘すものはたゞ一片の哀愁。——

冬より春—晩春にかけて、施肥に手入れに心を盡し勞を措まず骨を折つても梅雨に會ふと、取入も出來ず取入れても蒸さつて了ふ。

「梅雨越しの麥二俵賣る小作人」今日の小作人は不作では二俵の麥も賣ることは出來まい。投機は一種の賭博だ。往々にして、「濡れ手で粟」をやる。これが許されているのは大なる冒險を含むからだ。小作人は如何によくいつても「濡れ手で粟は」愚か。やつぱり食ふや食はず。一朝不作に會へばその慘めさたるや、とても筆舌の及ぶ所でない。人類の食糧を供給する貴き生産者—小作人様をいつまでこんな境遇に置いてよいものであらうか。併し世の中の事は理窟ぢやない論理はどうあらうと問題を解決するものは力である。力は〇〇〇〇だ。彼等は彼等自ら階級的意義に眼覺めなければならない解決の途は只この一途黎明の鐘は既に鳴り響いてゐる。風害五割永久五割今年は地主〇〇ダ。カブカア

大阪

産業別的組合合同へ

産業別的組合組織云々は、別に新しい言葉ではない。既に二三年以前よりお互同志の間に唱へられてきた問題であるが、之れはやれ〳〵と直ちに形の附く簡單な問題ではない。未組織勞働者は勿論、既製組合にしても種々其立場を異にして居たり、亦色々の感情や緯察の爲めに本問題の必要なることは、お互が十二分にそれを知りながらも、今日迄實現の出來ないのは誠に遺憾の極である。元來斯の如き問題は、出來ない出來ないで置けば十年百年待つても出來るものではない。勞働運動の本質から考えても、世界の趨勢から觀ても、お互に眞に實現さる可き誠意があるならば、今少しお互同志が大なる度量を以て、從來の感情や緯察は放棄して白紙同樣の氣持となつて集まるならば、本問題の實現は必ずしも難事でないと信ずるものである。されば如何にすればよいかである。總同盟以外の團体は次の問題としても、我が總同盟内部丈でも少く共我が大阪聯合會丈でも、乃ち機械、電信、伸銅の各組合が其の前提として合同することである。續いて合同組合も整理して金屬に關するものは之れに加へて新しき陣營を造つて、對外的に備へ可きであると信ずるものである。又對内的にも之れが必要なることは云ふ迄もなく既に諸君の知れる如く我が總同盟も終に二分した。かてゝ加へて、今日の如く不景氣の打續く時勢に於ては、各組合を通じて起る事件は好景氣時代の其れよりも、其の性質を異にして居る從つて物質的にも、人出の上からも、大組合にはさしたる影響

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

はあるまいが小組合には其の弊害又甚だしきものがあるからである。（村主儀三郎）

岐阜縣

町民の爲めに　あく迄戰へ

従來日本の政治吾が郷土に於ける、町政の由來の實權は一部ベチ有產階級の獨斷するところとなつてゐた。我が郷吾が郷土の政治の禍根は實に此處に存する。

現町に存在する凡ての政派は悉く有產階級を代表する町政機關であつたる事は我が郷土の町政運用策の現象にて明に雄辯に物語るものである。即ち財閥歷代支配階級が一般國民一般町民と無產階級の利益と幸福と無視し來たかは到底是れを計り知る事は出來ない。政治の精神の最大多數の最大幸福たるや言ふ迄もなく、民衆の手による民衆の政治町民の手によつて行ふ町民の町政でなければならん。併るに我が郷土に於ける町政の現場面はどうであらう。町政の實權は少數有產階級の獨占的で左り彼等の我が儘勝手に處斷せる自己階級の利益と幸福とを伸張し彼等有力支配階級の意の儘に運用されてゐるのではないか？今春四月以來町長選出問題大杉事件及町税戸數割賦課制定問題等幾多重大紛爭問題を續け未だ其の解決を見ず亂脈亂調子にある狀勢ではないか。此の亂派にある現町政の根本的大改造を計らんと自覺ある無產無名の鬪士により町政革進會なるものを組織し三百有餘の町民に賛成を求め歷代有力支配階級の暴政に對抗せんとついに改革運動の火ブタを切り第一線に起ち先づ一般町民の意向に反對せんとする、代表議員に辭職勸告を迫り或いは町税不納同盟を決行せんと企だてしが。官憲の悪辣たる手段の爲め事如く結束は蹂躙され革進闘士は法律のゆるす範圍に於いては勇カンに戰つたが、一般町民の無自覺と團結心の薄弱且又町民派に於いて町長候補者として起べく人物不定あるいは指導者の町愛犠牲的精神の乏しき爲め今や一般町民は涙をのんで慘敗の運命に落ち入つて居るのでないか、見よ支配階級は一般町民の代表者であるとか？町民の利益とかと言ふ美名のもとに町民を瞞着し町政を攪亂し彼等は終つた、暴政の實情は今や全町民の前に完全に暴露し一般町民に不信任を受け辭職勸告は突きつけられ彼等有力者よ今や二千五百の町民の前に恥ずる處はないか大道を平然として濶歩するを止せ、町政を私する者は町民の公敵で在る、既成ベチブルジョアジー代表者の毒酒に醉へる者は再醒する時はくるのである。我か町民代表者が如何なる美しきカン板を目の前にかゝげ様とも我は彼等の口車に乘つてはならん。彼等の一時的の解決策に滿足してはならん。彼等支配階級の言に甘じ此の紛爭問題を此の儘放任する時は我は永久に彼等のエジキとなり苦しまなければならないのである。起て町民よ今や一般社會は大改造を絶叫しある。此の亂派亂調子に在る現町制を根本的に改造するは何人や況んや當町制を構成する分子でなくて何者がなし得るや、換言すれば我等町民の歷史的の使命で在り急務中の急務である。現此の紛爭問題を完全に解決し理想的下麻生町の建設する迄は吾等は一歩たりとも退く事は斷じてならん。見よ支配階級は全般町民の不統團結精神の薄弱を見破り尚も吾等町民も永久的（　　）のもとにつながんと尚自己階級を保持せんとあらゆる方法手段を構じて居るのではないか、町民よ町を愛する者今後一層彼等の行動を監視し來年の六月改選期に於いて彼等と彼等の一味が候補に起つとも吾等一票たりとも投じてはならん。（水野具三郎）

高知縣

余りに靜かである

餘りに靜かである。或物を祕めた靜けさには嵐の前の無氣味さがある。自覺した者の沈默には一脈の强さがひそむ。然るに我縣下農村靑年は、勞働者は余りに無自覺である。その沈默にはブルを恐怖さす無氣味さがない。

縣廳の役人は本縣には小作爭議が未だ一件だに無いと鼻が高い。喜ぶべき現象か。……」「……ても不平一つ云ふ事知らぬ現況に於て、爭議の起らないと云ふ事は小作人の無自覺を語るものであつてお役人の如く歡ぶべき事ではない、眞に悲しむべき事だ。

此の……に對して何故悲憤の

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

血が湧かないのか‼争議の起らないのは奇蹟だ。

又勞働者にしてもそうだ。只ブルの酷使に甘んじて何んの主張もなければ自覺もない。一例を云へば甲の所より乙に職を移そうとする時仲々おいそれとは暇をくれない。今出られては困る。替りのある迄居て貰はねばならん。是が彼等の言ひ草だ。そして彼等が解雇する時はどうかと云ふに一片の豫告さへなく首切つて仕舞ふ。血も無ければ情もない。それをする御無理御有理と泣き寢入つてゐるのである。俺の目から止め度もなく熱い涙が流れる。口惜しいぢやないか。

何故しかく無自覺であるか。是を交通不便にのみ歸するは當を得てゐない。資本家の惡辣極まりなき奸策に丁度蜘蛛の巣にかゝつて虫の樣に身動きも出來ない狀態に今迄置かれて來た。現在とてもそうである。その結果として卑屈になつたのではあるまいか、今一つ讀書力の缺けてゐる事を擧げねばならない。縣下農村靑年の中に牢獄に等しき工場に資本家の爲に働く男工女工に又店員諸君の中に「進め」を讀んでゐる者が幾人あるか、情無い事だ、然し悲觀はしないかくれたる同志のある事を知る近き將來に於て何等かの方法を以つて具体的行動に出で樣と畫策してゐる。

縣下同志よ、來れ！然して戰へ！無產階級幸福の爲に！。

（北村陽之助）

岡山縣

狼狽へた立毛差押へ

岡山縣西大寺町の小作人數名に對する當町地主等が十月下旬稻作立毛六町体を突然に差押へた事は既に其當時新聞、雜誌にて報じてあるから省略しますが玆に面白い話しがある。夫れは差押へに際し、執達吏が何を狼狽へたか田地を間違ひて他人の自作地に筆太に書いて立札を立てた爲めに、自作人や小作人兩者共大怒り、玆に問題を惹起し自作人は訴へを起し小作人は早速稻刈取りと云ふ騷ぎ、一時は一大事件を突發せんとしたるも地主等及び執達吏は早速差押への訂正をなし其後全部の立札を立替へ且つ立札の柄を半分程に切つて、稻の中に隱して仕舞つた。此の珍差押への原因は地主等が小作人の目に知れぬ樣窃かに執行し周章てた結果であるとは寧ろ滑稽千萬である呵々。

（倉本晃兩）

廣島縣

生きる事を脅されて

私は昨年五月二十二日迄彼の平和な瀨戸內海の一劃に、見るも恐しい吸血鬼の吐く煙の下で重苦しい[illegible]居たが、俺達の生活は日に日に窮迫して來た。彼等吸血鬼は自ら作つた、此不景氣の斷末魔のもがきに最早や失神して、遂に俺達勞働者をより多く搾らむとした。然し吾々は是以上搾取れては如何に溫順な者でも堪えられない。其處に年來の[illegible]愈々反抗と更り玆に彼等を撤底的に膺懲せんとして五月二十三日より三十有余日に亘つた因島の大爭議が起つたのであります。俺達は地方の情勢を考へ、恨を吞んで一時兵を納めたが此爭議に於ても官憲の壓迫は極度に、奴等の常に口にする嚴正中立は遂に假面をはがれて俺達十三名を尾道刑務所へ三伏の酷暑に打込んで、二ケ月を過した。やうやく保釋になつて神聖なる裁きなるものゝ眞相を窺つた處が意外にも三ケ月の刑の申渡しがあつた。人間が此世へ生れて生きる事を脅かされる程苦しいものはない。此脅威から逃れんとした者が、彼等の造つた牢獄へ打込まれると云ふ事になると全く俺達は行く可き處取る可き手段が盡きて仕舞ふ。然し現在の凡ゆる機關は皆資本家擁護の爲に設げられて居るのだ全國の兄弟よ！俺は喜こんで下獄する。俺達は斯くして一歩一歩解放の黎明へ近づくのだ、俺達にはこの勞働運動が全生命なんだ。吾人は敢て自ら誓ふ。安逸を求めず、溫柔を欲せず、饑寒を忍び、困苦に堪へ、名利に惑はず、權勢に煩はされず、能く一切の懈怠に克ち、最後の俺達勞働階級の解放まで、身は燒盡されやうとも解放戰の第一線に立つて奮鬪する事を――下獄に際して――

健在なれ、同志よさらば。

（宮本新七）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛知縣

嗤ふべき官製のビラ

愛知縣警察部の無能は、今更ら天下に訴ふ迄もないことだが最近各方面に亘つて、所謂主義者の驅逐策を講じつゝある。それは銀行會社商店、又は理髪店迄等に「新聞雑誌通信記者、又●●●●●●●●●●●●は社會運動に名を籍る主義者が●●●●●●●●●●●●賛助及び購讀名義にて、金品を●●●●●●●●●●●●强要せるに於ては、即刻電話又●●●●●●●●●●●●は本人を所轄署に突き出さるべし」云々のビラを配布して、如何にも資本家番犬の忠勤振りを如實に示してゐる。かゝる苦肉策を一般公衆の目に曝し、澎湃たる社會運動の機運を抑壓しさらんとする態度は、洵に以つてお芽出度き限りと言はなければならぬ。上に金佛と珍品の苦虫首相加藤内閣が、暴案治安維持法を出し、日に監督を膨張せしめ、下に斯の如き無智無能の警察部あり、以つて資本家をして安んぜしむ●豈升は三菱王國の安泰を彌が上に不淨の富を蓄積せしめるであらう。無產の同志よ、我等が双腕に[redacted]を共に語り、共に戰はんかな。（不屈生）

三重縣

あしまでやる

俺達小作人の貧乏と壓制から脱けようとする運動は、全國的に日と共に根強くなつて來た。一度岐阜で烽火をあげてから、全國の小作人は一度に立つた、そして[redacted]村から村へ、郡から郡へ、縣から縣へと團結し三年間を悪戰苦闘し來り今では小作人階級と地主階級のはつきりした階級鬪爭の域に進み、戰の基礎もいよ〳〵根強く固りつゝある。

我が日本農民組合三重縣聯合會松阪支部では昨年の秋永久三割減を地主である松阪町有塚大三郎、山路菊松外數名に要求した。けれども、彼等がうんそれと直ぐに、俺達の云ふ事を聞きそうな事はない。彼等は一つぶの米だつて負けないとぬかした。そこでどうしても目的を貫徹すべく、六十人の小作人は益々結束を固くし不納同盟を斷行した。それで地主から無智な俺達小作人をおどかすべく内容證明書などが幾度も來たことは云ふまでもない。どのつまりに地主は自分の飼犬である中島辯護士に一切を頼み、耕地返還のそしようを起した。我が農民組合側でも顧問辯護士である小岩井氏に一切を託し最後の勝利をうるまで戰ふ事にした。こうして一年はすぎたが未だに解決しない。だから今年も勇敢に戰ふべく小作人一同は益々結束を固くして居る。（井口秋聲）

茨城縣

茨城の青年立て

茨城縣の同志立て、大擧手を執れ。本縣の炭抗夫小作人は自覺せざる限り、[redacted]のは明らかである。先年度の小作問題紛爭數三萬余件の多きに達し本邦第一に位するにも關らず小作調停法にチヤホヤ誤魔化されて滿足して居る。隣縣福島に於ては同紛爭數は第十位の少きに位せど小作人は確立し、郡山には農民組合の支部がある。調停法は今年布かれた。炭抗は全然ダメだ。年寄の土着が多い勢か同志が日干しにされても平氣だ 抗主も心得たもので給拂ひを延したり下げたりして三四ケ月おきに三十名位宛馘首して行くんだ。運動に行くと飼犬が吠ねく計りじやなく同志さへ白眼視する樣じや手が附けられない。在縣の青年よ此の樣だ。今日無產者政黨が樹立されたからには確り助けてやつて呉れ。何よりの血路が僅かに開かれたのであるから、ドン〳〵組合に加盟して大衆運動で行つた方が得策である。今度支那問題も視察して來た同志に聞いたか、支那の群集運動は紀律的に整然だつたさうだ。此れが力なんだ。（文狹生）

全士戰報欄は唯單に讀者諸君の投書のみに解放してゐるのではない。本當に全國の運動情勢の報告欄として見るべき記事を多くあつめたいと思ふ。爭議其の他實際の或は資本家横暴でもいゝ、殊に支局の人達に依つて報道して貰ひたい。全士戰報は「進め」の生命であり、都會と地方、地方と地方との完全なる通信記事であつてくれとは讀者諸君も編輯者自身も共に切望してゐる所である事を承知されたい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

學藝への警戒

本莊可宗

一

行動といふものは意識から生れてくるものではありません。意識こそ行動によつて支配されるものなのです。例へば生活といふものは哲學から生れてくるものではなくして反つて哲學こそ生活（の要求）に從つて色々に築きあげられるものなのです。樣々な時代にその生活要求が色々に變り（即ちその時代の方向が色々に變り）轉じてゆくに從つて之の時代との意識、哲學が次ぎから次ぎと新しく生れてくるのであります。――ですから行動、即ち生活の要求といふことが一番最初であつて、意識或は哲學に從つて生きてゆくといふことは第二次的な生き方なんです。新しい時代は生活要求から生れてくるのであつて、その哲學から生れてくるのではありません。意識や哲學といふのは一つの時代の固定した跡、謂はゞ糟なんです。ですから意識、哲學に從つて生きるとか行動するとかいふことは實は過去の時代（制度感情）の良心と視角とによつて生き行動するといふことに外ならないのです。新らしい時代を生む所の動力は、ですから決して哲學、即ち既成の意識構成に此かでも頼つてはならないのです。それは飽くまで無產階級の生活要求をその生活の良心と感情とをヂカに眞向に翳して行動することに依らなければならないのです。行動は、ですから何等之までの學問や教養や良心や倫理には、拘はつたり顧みたりする要はない！行動が軈て新しい良心や學問や倫理や視角を齎して來ますから。歷史に於て如何なる革命運動も、手近では日本の維新でさへも、行動は全く既成の意識構成とは何等關係なく全く別個の、新しい要求と行動とに隨つて發展していつたのです。ですから教養の豐かな旗本の若侍や、大奥の禮讓と氣品とを愛する女官達の、視角と良心とから見れば新興運動者達は明かにフーリカン（無頼漢）でありその運動は一種のヴァンダリズム（文化破壞）でありました。彼等は新しい文化が起きることには留意しないで舊い文化の滅びることに顰蹙したのでした。今日でもそうです。今の無產運動者達の無哲學、無教養を嗤ひ、未來の世界を危むべき人達は既成の（即ち滅ぼさるべき）文化概念や思惟方法や倫理に立つてゐる爲めに、現在の行動を指して、輕跳無智のやうに言ふのです。文化は運轉して人類は墮落するがやうに思ふのです。

二

こゝに氣を付けなければならないのは、ブルジョア側が、（その視角と良心と意識とからして彼等の備へた學問や教養や倫理觀念であるから、それに依るのは宜いとして、無產階級の人間が彼等の教養によつて慣らされることは甚だ危險であるといふ事であります。――何故ならばこの教養に慣らされるといふことは、即ちとりもなほさず、彼等ブルジョアの視角によつて物を見、彼等の良心に從つて物を批判すること、謂はゞ彼等のイデオロギーによつて物を考へることには慣らされることに外ならないからであります。それは無產者自身が無產者運動を目して危險であり輕跳であると考へるやうな素地になるからであります。今まで作られた總ての學藝は皆、ブルジョアの手によつて成り、彼等の階級的利用に設立し、彼等の意識によつて構築されて來ました。宗教もいつしか彼等の生活意識によつて組織立てられて了ひました。こゝに無產階級は、之までの學藝、教養に挑戰し之を奪取し、プロレタリアの手によつて之を解き崩し新たに新學藝、新系列が彼等によつて新築されなければならないのであります。その覺悟が必要なのであります。教養尊重の弊風、學藝への拜跪の盲昧から眼醒めて、彼等は新しい彼等の手を持つて成るべき學藝の新築に勤しむ意氣が必要となつてくるのであります。ボグダノーフが學問の「勞働者への改訂」と言つたのは意味が深い。バクーニンが御用學者を應じたのは譯があります。「レフの宣言」で「プーシキン、ドストエフスキーとトルストイとを現實の汽船より投げ捨てよ」、「われ等はブルヂョア的實學と批評家を、その賞讃に對して戰つた」、「思想的復讐の醜惡なる趣意をもつて今日に於ける實際的な役目を胡魔化さうとする者を打のめせ」（尾瀬澤）云々といふ言葉を力強く感ずるのであります。

生活行動といふものが唯一絶對の決定者であつて意識的葛藤は所詮從屬的な意義がないものであること、及び既成の學藝、教養に胡魔化されて、無產階級が眞に彼等自身の眼で物を見ることを忘れて了はないやうにブルジョア學藝によつて彼等の眼は余りに屡々眩眠される！）この二つは大切な事と思ます。（一二一〇）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰爭と階級鬪爭

橋野昇

一、全社會的戰爭と階級戰爭

戰爭は、原始社會に於ては一社會群と他の社會群との間の武力的鬪爭であつた。それは富の爭奪又は他の社會群よりの優越を目的とし、時には排他的敵愾心がその原因をなしてゐたが、それはその全社會の戰爭であり、仕事でありその社會の全人員の精神の体現であつた。即ち彼等は自己の屬する社會の生長の爲め、共有財產保護の爲め、又は他の社會群よりの侵害に備へる爲め、一朝事ある時は、團結事に當つたのである。自己の屬する社會の生長は自己の生長であつた。即ち彼等は、全然社會的意義に於て働く事に依つて、自分自身をも利益する事を得たのであつた。

併も等彼は、一面に於ては、徒らに好戰的ではなかつた。即ち徒らに戰爭を事こしたのではなく、只自己社會の利益にのみ鬪つたのである。故に彼等の戰爭の基礎は、必ず彼等の全社會的意識であつた。

所が、生產道具及び武器の發明發達、奴隸使用制の發生等は、即ち生產機關の發達は原始共產制の狀態をそのまゝには止めおかなかつた。その結果として起り來りし產業の發達は、財產共有制の破壞と共に財產私有制を持ち來らした。そしてその結果各個人間に貧富の溝渠を堀り、一社會は、持つ者と持たざる者との階級に分裂した。そして持つ者の階級は、持たざる者の階級を支配した。

その時以後戰爭は、全社會的性質を稀薄にし、階級的性質を濃厚に帶得した。その時以後戰爭は、社會の名に於て行ふ支配階級間の武力的鬪爭となつた。即ちそれまでは戰爭は、全社會的意識に依つて行なわれ、全社會的利害の上に立たされたが、その時以後戰爭は、支配階級の階級的意識の下に、階級的利害の上に立たされた。そして支配階級は、被支配階級の[illegible]

[illegible]

[illegible]。それはよし幾分かの利益を被支配階級に持ち來らした事があつたにせよ、それは隅然である、余光である。併しそれと共に幾多の、幾倍の不利益が被支配階級に持ち來らされたかは見逃す事は出來ない。その戰爭は、徹頭徹尾支配階級の利害關係の上に立つてゐたのである。支配階級部分間の戰爭が全社會の犧牲で行なわれたのである。被支配階級は[illegible]

[illegible]知た。換言すれば、支配階級は、[illegible]

[illegible]そしてそれは支配階級にのみ利益なを爭鬪手段となつた。

二、民族意識と戰爭

民族的形態が社會の原始的形態である如く、民族的敵愾心は人類の原始的心理狀態である。そしてそれは今ゝ尙ほ文化民族間に於ても、一の化石となつて心の奥底から消えやうともしないのである。社會進化の理法も、それを比較的に露骨に陰然に、暴力手段を智的手段に代へ得たのみである。否々、それを往時に於て想像も付かざりし[illegible]

[illegible]如斯は民族的敵對は、人類爭鬪本能の不可避的体現であるやを思わしめるのである

近時盛んに稱導さるる、インタナツショナルの聲も、これをそのまゝ受け入れる爲には我々は余り多くの之れに反する事實を見るのである。勿論我々は、無產階級の無國境的團結の可能を信じ得るけれども、それは資本家に對する共通利害關係に於てのみ言われる事であつて、未來の國が出現した場合、更に又、それへの過程に於て、民族的優越慾より又は支配慾より起り來る恐るべき結果は、今我々の前に重大なる問題となつて現れて來てゐるのである。

近代に於ても、個人的に如何に親愛を示すものと雖も、一朝民族的召集を受くるや直ちに劍を取つて戰場に相爭ふのであつて、それは古代に於ける人類の社會的本能そのまゝである。この事情を見拔いて狡猾に之を利用したのが支配階級である。原始共產社會に於ける全体としての社會本能は、社會が階級に分裂して以後直ちに階級としての社會的本能に變更さるべきであつたが、即ち人類はその時以後全然階級的意識に依つて動くべきであつたが、斯くなる事は、支配階級に取つては、生死の問題である。即ち支配階級は、自己社會の民族的存在を持續する事に依つてのみ、今後も支配階級たり得るのである。從つて自己社會に於ける階級的分裂が意識的となる事は、即ち對立の事實を被支配階級に依つて意識される事

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、彼等の位置を危險ならしめるものである。故に彼等がその危險より逃れる爲には、被支配階級をして階級的自覺を引き起さしめざる事が必要である。その自覺への認識を阻害する爲に、民族的自覺を高らかに叫んだ、被支配階級の意識を對外的へ對外的へと導いた。彼等は武勇を説いた愛國を説いた、他民族よりの優越を説いた。光輝ある尊敬すべき自己民族の歷史を説いた。民族的、國民的團結を説いたのである。

彼等は、彼等の支配的地位を維持し强固にする爲には、これらの言辭を巧に弄する事に依つて被支配階級を欺瞞しその子弟を戰場に送らねばならなかつた。送られた人々は「勇者」の榮譽を得んが爲め、又は背後の〇〇〇に强迫されつつ、祖國の爲に死者狂ひに戰つた。そして獲得したものが寶玉であつたにせよ、それは一切支配階級への土產とせねばならなかつた。その結果としての民族的榮譽と經濟的好況は、支配階級が一手に引き受けて與れたお蔭で被支配階級はその煩勢を免がれる事が出來たが、その反動として當然に起る經濟的不況は被支配階級が一切引き受けねばならなかつた。好況中鱈腹食つた支配階級は、不況の襲來と共に、一齊に工場の扉を閉して冬眠に取りかゝつた。彼等の倉庫には巨萬の富が蓄積されてある。幾萬の人々を戰場に送り得る國家權力も工場の扉には何等の支配力もなく僅か一馬力のモートルにさえその命令權を及ぼす事ができないのである。實にそのモートルこそ國家權力の發動を命する國家の原動力である。即ち機械が國家に命令する。

かくて失業勞働者は市街に野に山にあふれた。それは急迫の問題である。明日の、今日の問題である。生命の問題である。我々は再び生死の境地に立たねばならなかつた。そして我等は如何にして戰爭が行なわれ、何の爲に戰爭が行なわれるかを深く考へねばならなかつた。

そして戰爭は、我等にとつては、[redacted]い事に氣付いた。尙ほそれが日々の工場に於ける[redacted]。最早行くべき所へ行かねば止まない勢である。そしてそれは行くべき所へ行く。それは必然である。

被支配階級即ちプロレタリアは、一致團結してブルジョア階級とその〇〇と〇〇し逐に政權を彼等の手から奪取して、[redacted]そしてそこにプロレタリアの理想制度、即ち全人類の爲め社會制度が持ち來らされるであらう。それは必然である。不可避である、力である。

三、戰爭と資本主義

以上に述べたる如く、現在に於ては、戰爭は、社會の一形態たる國家の支配階級に依つて行われるのである。近代に於ては、ブルジョア制度の内部に於ける矛盾は、一方に於て民族間の衝突に導き、他方に於て、階級的反目を誘發する。前者は資本主義的戰爭となり、後者はブルジョア、プロレタリア間の階級闘爭となつて現われる。

資本主義的闘爭は、國家權力とその社會制度とを直接に變更するものではないけれども、その結果階級間の反目を激甚にし、延いて[redacted]〇〇[redacted]〇〇の結果は戰爭の結果と異り、社會制度の變革を持ち來らすのである。即ち從來の支配階級に代つて、被支配階級が政權を握るのである。その結果、生產制度その他一切の社會的施設は當然變革されるのである。如斯、支配階級に取つて最も恐るべき戰爭が、何故支配階級自身に依つて行なわれるのであらうか？。

その答は明白である。それは支配階級がその制度を維持し強固にし又擴大せんとする所の手段であるからである。例へば、現資本主義制度に於ける戰爭は、金融資本主義の保護及びその管理範圍の擴大をその直接の目的としてゐる無政府的自由競爭制たる或國際經濟界に於ては、戰爭は彼等の唯一の武器であり、生命である。彼等に取つては、戰爭は『自由に非ずして「必然」である。即ち戰爭は、彼等の自由意思に依つて行なわれるに非ずして、それはブルジョア制度の必然の產物である。ブルジョア制度と戰爭とは、因果の關係によつて連結される事を決定的に運命付けられてゐるのである。彼等は自らの墓穴を自らの劍で掘らねばならなかつたのである。彼等が封建制度から產業支配權を奪ふ爲に役立つた生產機械は今やその齒車に彼等をくわへて廻轉し初めた。

試みに見よ！現生產界に於て何等戰爭に緣なきものがどれ程あらう？、直接戰爭の需要に依つて動く大工場の機械は、大規模に物凄く動いて居るではないか。これらの生產品が社會的復生產の條件にな

開放琵琶歌

瀬戸の曲

川合義虎

地に殃ひ有れば天譴と云ひ
神明不義に與せずと云ふも
旻天毎に無情なり
　思ひ出づるも恨みの種
頃は大正十二年
　九月一日の事と知る
搾取と飢ゐの虐閉に
　苦しみ喘ぐ同胞を
尻目にかけて悠然と
　不義の搾取に歡樂の
現を抜かす大醜都
　東京市をば中心に
突如襲へる大地震
　須破激震よと言ふ間もなく
天柱砕け地坤は裂け
　劫火は四方に擴がりて
昨迄で誇る資本主義
　文化の都も泡沫の
姿と消えて忽に
　阿鼻焦熱の世と變る
此の日南葛勞働の
　闘士と人に知られたる
山岸川合の両君は
　決死を期して麻布なる
勞働組合社を逃れ出で
　己が家路を急ぎしに
道に溢ふるゝ避難者の
　群れに二人は右左
離れ／＼となりにける
　心を宙に義虎は

るとは。經濟的盲目にして、觀念論的にのみ動く修繕不可能の機械の如き一部軍閥の人々以外には、決して考へ得らるべきではないのである。それは決して明日の利益とはならない。それは再生産行程を破壊するものである。されば戰時需要品生産の擴大は、究極に於て、國家を窮乏と疲弊に導くものである。

されば、ブルジョア階級が支配階級たる限り完全なる社會的再生産は不可能である。殊に戰時に於ける生産過程の中絶の結果として當然起る社會的疲弊は社會主義的生産關係への轉換を促進するものである。されどそれは無産階級に取つても多くの危險の倶ふ事を見逃してはならない。殊に[redacted]

四、戰場より階級闘爭へ

今や我々は、戰爭の惡夢より覺むべきである。そして我々の生長が、無搾取なる協働社會への努力にあるとの覺醒に入らねばならない。我々は我民族と他民族との間に、ブルジョア的利害を除いては、抗爭反目すべき何等の理由もなき事を靜かに考へねばならない。それと共に我々は他民族の被壓服階級も亦、我々と同様に、[redacted]。彼等は、經濟的利害關係及理想に於て、我等の兄弟である。

資本家階級が相互に抗爭するのは資本主義的利益と分捕品のより多き分け前にあづからんが爲である、勞働階級はこのまゝでは、幾十年待たうとも、その利益の分配に與かるが如き心配は決してないのである。我等は安心して資本主義的戰爭に見切りを付けるべきである。それと共に我々は我々の今までの敵がはたして今も尚ほ眞の敵であるや否やを見極めねばならない。その結果[redacted]以外の所にある事に驚くであらう。

[redacted]何等關知せざるプロレタリア階級との共同責任の如く見せかけてゐるのである。のみならず彼等は、この犯罪行爲を保護、提携、友愛の美名を以て装ふてゐるのである。斯くする事に依つて彼等は、自國家内に於ける被支配階級の人々をも巧みに欺瞞してゐるのである。欺瞞は彼等の被支配階級に對する常套手段である。例へばブルジョアはプロレタリアに對する時、温情、撫愛、共同を口にするのである。そして勞働者は資本家のお蔭で食つて行けると云ふ事を、さも勿体らしく説くのである。併し事實はその反對である。彼等は勞働者を搾取する事に依つてのみ生き得らるべき勞働階級の寄生虫である。

コンムユニズムABC黨の壇の浦落ち

▲マルキシズムを批評的精神を以つて發展せしめようとは更にしない所謂共產黨派の諸君は、理論的にも既にその當然落ち行くべき最後の所まで落ちて行つた。例のマルクス哲學に於ける唯物論的辯証法（形而上學乃至歴史哲學）への一族落ちがそれである。嘗つて一昔前獨逸を中心にマルキストの間に流行した事のあるこの前進化論的見方は、かくして今や日本の所謂コンムユニストファンの間に大持てである。

▲「コンムユニズムＡＢＣ」級連中等は、ほんさうにそれを「日本に於けるマルキシズムの深化」乃至進歩などと考へて居るかも知れない。だが、それは決して「日本に於けるマルキシズムの深化」でもなければ「進歩」でもない。それは寧ろ日本に於けるマルキシズムの非科學化であり、退歩である。それは「紙上のマルクス」を讀んで「紙背のマルクス」を讀む能はざる徒輩に屬する所のものである。

▲日本主義思想界にもさう百許り居る譯でもあるまいし、この有様を見て苦笑して居る向も無いものでもあるまい。やがてその中には無遠慮な批評が出て來て容赦なく科學的解剖台に乘せ去るであらう。それまでは先づ大いに宣傳し、唯物論的辯証法とは如何なるものであるかをファンに十分理解せしめて置いて貰うことだ（雲助）

上野の附近に覚ろ頃
　倒れし家屋の棟下に
救いを求むろ母子四人
　見れば無慘や今將に
背後に迫ろ火の波は
　溺死の母子四人をば
一氣に呑まん剎那なり
　心にハツト義虎は
我れを忘れて躍り入り
　幼兒三人を救ひ出で
返す踵に母人を
　救はんさする其の折りに
列風渦卷き火は猛り
　救はん術もなかりけり
只悄然さ義虎は
　さり殘されし幼兒を
兩手に犇しさ抱きしめ
　炎の裡に消ゑて逝く
人の命の果敢ささ
　運命の手の無情さに
斷腸の思ひに釉絞る
嗚呼此の涙禮て又
我が身の上にならむさは
　神ならぬ身の知らざりけり
心は後に幼兒を
　兩手に抱へ背に負ひ
上野の森へさ逃れ行く
　心の裡や如何ならむ
情に厚く　且つは又義に強く
　只一筋に來ろべき
弱者解放の世の爲めに
　全生命を獻げつる
仁勇義憤の此の人も
　嗟々呪はしき軍憲の
血に狂びたる劍銃に
　恨みの最後を遂げしなり
　みは深し龜戶の
森吹く風も永しゑに
ブルヴョア制度を呪ふらん
軍閥主義を咀ふらん
（加藤利讓）

大衆への問題

渡邊信義

一

數年前の、好況を最高潮期として我が國の經濟界は凋落して、其れ以來不景氣は生活の前途を暗雲を以つて鎖してゐる。其れは今以つて底が見えない。不景氣は時々その深刻さを思はせるやうな社會的現象を增しつゝある。深刻なる不景氣の暗雲の中に、ブルジョア側は如何にして此れを切拔けようかとし、プロレタリア側は如何にして此の不景氣切拔けに就いての自己に加へられるブルジョア側の挑戰に對抗して戰ふべきかとし、其處に種々死鬪は繰返へされ繰返へされる。

一般者は此の不景氣を以つて是れ迄屢々襲ひ來たつた我が國に於ける普迪の過渡經濟恐慌の稍々長きものであるとしてゐるが、此れに對して此れは我が國資本主義經濟の最早や救ふべからざる永久的の恐慌のそれであるとの意見がある。

吾々も亦、此の不景氣が從來の其れの如きものではなく吾が國資本主義經濟の最早や救ふべからざる永久的のものであると考へる。其れに現在の資本主義經濟の存續する限り一般者が翹望するやうな景氣の回復は覺束であらう。たゞ帝國主義的侵略政策が其の効を奏さない限りに於ては。

しかし吾々は、我が國がかゝる永久的經濟恐慌の過程に入つたとしても、直ちに此れを以つて我が國資本主義の崩壞を信ずる事は出來ない。吾々が是れから益々死力を盡して資本主義と戰はない限り治[redacted]。其れは萎靡しながらも何處迄も尚よく續いて行くだらう。

此處に一般無產大衆の問題が儼然と橫たはつてゐる。

二

社會主義、それは其れを知る者にとつては呶々を要しない明白なる無產者解放の手段である。其の社會主義が呼ばれ出したのは十八世紀である。また我が國に於いても其れは日露戰爭以前から其の呼びを上げられてゐる。そして其れは常に血の呼びを以つて進められて來た。

社會主義が吾々無產者解放の手段であり、そして其れを信じ戰ふ者にとつて、それの信念を強くすればする程、こゝに關心せざるを得ないものは、一般無產大衆生活の現實である。一般無產大衆生活の現實とは、單に其の慘めな抑壓の生活を指すのではなく、其の[redacted]生活してゐる一般無產大衆の現實生活意識である。

彼等は如何なる現實狀態、如何なる生活意識の下にあるか。吾々が日常彼等と接觸して感知するところのものは何か。吾々は吾々の周圍近所隣りに生活してゐる同じ無產者を見る時に、とても社會主義運動の彼等に對して絕望に近い迄の感情を經驗する。此處に具体的に一例を述べてみる。これは筆者自身直接經驗した事實であるが、筆者は嘗つて一無產者と世間話の末、話が偶々不景氣の事に及んだので此の不景氣の何たるか。其の原因や、そして吾々無產者の生活の開拓等をロシアの事などを例に引いて社會主義の一條りを話して聞かせたのであるが、その時その相手が云ふのには、早く日本もさうなつてくれないのかなあ、と自分達の生活をよくするのは恰も何が奇蹟的にある者がやつてくるのであつて、自分達は其れに關しないと云ふやうに云ふのである。彼は自分の生活の開拓を自分でやる事を忘れて、他にやつてくれる者の出現を待つてゐるのである。此れは單に一例に過ぎないが、かうした事を數へる限りがないだらう。何と云ふ無氣力か、無關心か、頽敗か、諦めか、無自覺か、懦弱か、盲目的な悲觀か。全くうんざりする。其のために吾々自身の頭迄が暗く凋む。

三

實に一般無產大衆の現實生活意識はかうした狀態である。彼等は自分の生活が慘めであり苦しいが故に、如何にしてよく此れから爲すべきかと日々焦心しないわけではな

い。たゞ、其れはたゞ自己の生活の幸福を、この資本主義社會の自由競爭の偶然が生むところの僥倖に依つて獲得しようとするだけに過ぎない。その慘めな苦しい自分の生活を救ふと云ふ事を、深く社會と云ふものを通して考へる迄に進めない。

社會主義と云ふ立派な自分らの慘めな苦しい生活を解放する手段があるのに拘はらず彼等は其れを自分らの現實の慘めな苦しい生活の救濟に結びつけて考へる事をしないのである。そんなものがあるやうだが、と云ふやうな狀態にあるのだ。

此れは如何した心理狀態であるか。吾々にとつては變に思はないではゐられぬ事であるが、彼等にとつては何の變な事はない。如何して彼等はかゝる狀態にあるのか。其れは彼等が是れ迄の支配者社會に於ける慘めな生活に依つて惡毒された人間の醜さに依つて、社會主義の實現が何か高遠な理想であつて到底及び難いと考へる其の爲めであるかも知れぬ。又是れ迄餘りに屢々示された其れが結局單なる美辭麗句であり、羊頭を揭げて狗肉的のものであり、自分等の實際生活にとつて何の益するところがなかつた支配者側の美辭麗句に彼等が食傷せしめられた爲めに、其れと此れとを混同してゐる事からの爲めであるかも知れぬ。其等は彼等のかゝる狀態を說明する一面性は持つてゐるであらう。だが、其れは何と云つても彼等が自己の慘めな苦しい生活對社會主義の問題に切實な考へを到さうとしないところに根本的な原因がある。

四

其處で或る者は、かうした狀態にある一般無產大衆を見て、とても駄目だ、彼等はもつとこつぴどく搾取され抑壓されなければ眼が覺めない、もつともつと不景氣がひどくなり、どん詰り迄行かなければ駄目だ、どん詰り迄行つたら如何に何でも彼等とても少しは眼が覺めるだらう、其れ迄は如何ともしかたがあいと横手傍觀の態度をとるやうになるであらう。

此れには一面の理がないではない。だが、吾々はさうした態度は、我が國に於ける資本主義の現實が永久的恐慌に入つたからとて直ちに其の崩壞を信ずる事と共に排さなければならぬ。其等は、一は一般無產大衆に對して傍觀的態度をとり、一は一般無產大衆の現實狀態を度外視し、共に一般無產大衆に動きかける事を忘れながら、しかも尚社會主義の運動、無產者の解放運動を考へるやうにもなるである。云ふ迄もなく一般無產大衆に對して傍觀的態度をとる時には其處に運動はない。一般無產大衆の實際を忘れ度外視しながらする運動は、其れは無產者の解放運動ではない。無產者の解放運動に藉りてする實は新しき支配者たらんとする運動である。

吾々の運動は、無自覺無氣力の一般無產大衆を積極的に獲得する事を離れて運動はない。

吾々はもつと〳〵一般無產大衆への問題を眞劍に考へなければならない。彼等の實狀を確かりと見詰め、社會主義が及びがたい高遠な理想であるとか羊頭を揭げた狗肉的のものであるとか、さうした觀念が少しでも彼等にあるとすれは其れを一掃し、無氣力頽敗惰弱無自覺等から彼等を引放ち、彼等をして切實眞劍に彼等の慘めな苦しい生活と社會主義とを結び付けて考へさせ奮起させるやうに、彼等に對して根強い執拗な態度を以つて積極的に働きかける事をもつと〳〵眞劍に吾々は考へなければならない。(完)

進め社規約

一、本社の宣言に贊する者を以て會員とする。

二、會員は毎月本社發行の雜誌進めの無代頒布を受け他に、本社主催の研究會講演會に出席し得。

三、會員は會費として毎月金拾錢を前納する(但し成る可く六ケ月以上前納の事)。

四、會員にして三ケ月間の會費滯納の時は會員としての權利を失ふ。

五、會員は入會申込の際に入會費金五拾錢を會費と同時に納め、本社から「進め會員章」の配布を受ける

附記　進め會員章の件は別項「社告」を參照の事

四十六頁より續く

無情冷酷な役人共も、この願ひには心を動かされて、やがて浪々と酒を滿した器を持つて、喜四郎の前に置いて。彼はぐつとその盃を呑み干すと、心靜かに首を伸べて刀を受けたが、胴から離れた首は四五間かばりもころ〳〵と地上を轉つて、酒盃を擧げてゐた八郎兵衞の前に止まり、かつと兩眼を見開いて、まるで生けるが如くにヘタとその顏を睨みつけた。

山田八郎兵衞はさつと顏色を變へると、手にした酒盃を思はず取落して、うんと一聲うめくと同時に氣絶した。斯くして志士の魂魄は永劫にこの世に生きたのである(完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佐野學福田狂二の對話

去る十二月五日午前十一時茅場町停留場にて福田君と僕とが電車を待ちつゝありし折偶然、共産黨首領佐野學君現れ來り挨拶を爲したので、共に市街自動車に乘り種々の話を交はした。其の對話が頗る面白かつたから左にスケッチする。

福田「君等は仲々盛んだネ」

佐野「どう致しまして」

福田「逐々君等は敵となつた」

佐野「そう云ふ譯ではありませんが」

福田「一度ユックリ話さうではないか」

佐野「そう致しませう」

福田「川崎爭議に於ける評議會の態度は君等は何と云つてもスカップだ」

佐野「私も評議會の態度は明かに惡ひと思ふ。又無産者新聞に其事を惡いと書かうと思ふ。無産者新聞は評議會の機關紙ではない。總同盟は無産者新聞を評議會の機關紙だと云つてゐるが、無産者新聞は大衆の運動機關です。今度の事で組合の

社會講談

御藏入郷の暴動

山川亮

(一) 叛逆の密書

會津南山御藏入りの郷はその頃は幕府の直領であつた。天下の大將軍家の御膝元を去ること山河幾十里、この邊りの住民達は花の大江戸の賑ひも知らず、まるで牛馬のやうに朝はまだ星の輝く曉からかけて、夜は利鎌のやうな弦月が中空に冴える頃までも、働らき續けても、一椀の澁茶にもありつけぬ程の生活の難澁に打ち挫がれて、生きる甲斐もない生活を送つてゐた。

丁度正德三年の春の初めてある、先の代官中川吉左衛門が職を退いて、新たに赴任して來たのが山田八郎兵衛と云ふ男、代官山田八郎兵衛は赴任匆々に、先づ御藏入郷を仔細に見廻つて歸ると、軈て各組頭の重な連中を呼寄せて

「さて皆の者共、今度拙者がこの御藏入郷の取締を仰せ附けられたに就ては、皆の者も承知の通り、この郷は忝くも將軍家直々の御支配所であるからは、年貢の事に就ては充分に氣を附けて取立てねばならぬのぢや。拙者は上のお目鑑に依つて代官役を仰付けられた上からは、先の中川殿の時代は兎もあれ今後は年貢滯納の儀は寸分も猶豫は罷り成らぬ。と申すも、この郷の百姓めらは將軍家御直々の御支配に依つて、他村の者共とは相違して牛涯の面目と心得なけりやならぬ。それに何かと申せば、やれ不作ぢやの重税ぢやのと勝手な事を申し居る。この山田八郎兵衛が代官役を仰附かつた以上は、そんな事は云はせて置けぬわ。明日からにでも匆々に滯つたものは嚴重に取立てるやうに致せ」と鐘の吠えるやうな胴魔聲で喚き立した。

この物凄じい權幕に打たれた組頭連は頭も上げ得ず、一言の返辭も出す者もなく、戰々兢々として山田八郎兵衛の邸を出ると、誰も彼も目を見合せてパチクリパチクリ。出るものは溜息ばかり。相談しやうにも好い智恵は出ず、と云つて明日からにも早速に年貢の取立てに懸らねば、自分達の首に關はつて來る始末に、止むなく自分達の組合の滯納者の家から先づ取立てを始めたのであつた。

それでなくてさへ、食ふ米もなく、着る衣服もなく、木の實を噛み草の根を煎じて食用に當て、破れた洗ひさらした單衣を重ねて春の寒士を凌いでゐる百姓達は、この思ひも寄らぬ不意の取立てに驚ろいて、抗辯する者があれば直ぐさま時を移さずに代官所の役人が押し寄せて來て、繩を打つて遮二無二牢屋へ引立てる。病人の着て臥てゐる夜具であれ子供の衣服であれ、目星しいものは、年貢の代りと云ふので取立てられて終ふ。今では何處を歩いても、家の棟は破れて寒夜に寢ながら月を眺め、雨の日には傘をさして室の内を歩るく樣な慘めな有樣となつたが、代官山田八郎兵衛の慾心は益々募つて、土地が僻遠で虐政が他領へ漏れぬのを好機に、百姓達の血を啜り肉を喰ひ骨まで甜め盡さうとするのもある。

この御藏入郷の北を流れる河を只見川と呼んで、大高の森が南に聳え、その間に農家三十軒餘りが散在する、これを小栗村と云ひこの村に小栗山喜四郎と云ふ農民がゐた。

この喜四郎の家を訪ねて來た一壯漢がある。見るからに人柄な一老農で、喜四郎の家の門口を入ると、それを目敏くも見附けた喜四郎の妻は、

「儀右衛門どのか。よく御座らんした。主人も今朝程から待ち兼ねてゐる程に、一刻も早う奥へ」と云つて、人目を忍ぶやうにしてこの老農儀右衛門を、奥の座敷へと案内した。

軈て庭の方から仕事着のまゝの喜四郎が、膝のあたりの藁屑を拂ひ拂ひ入つて來たが、儀右衛門の姿を見ると

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大衆を怒らして困つてゐます」

福田「共産黨、評議會の人達はスリの樣なゴマの蠅が多い、其行動は惡辣である。」

佐野「さあどうですか」

福田「吾々は云つてゐる。佐野君は馬鹿正直だから、共産黨幹部の陋劣や、ゴミ共の不止な事が判らぬだらうがあんな手合と一緒になつて運動するのは惜しいものだと」

佐野「そうですか」

福田「大庭氏はホントに殺されたのか」

佐野「ホントに殺された、大庭氏は氣の毒です」

福田「大庭をスパイと云ひ出したのは田口運藏だと猪俣君は云つた。最近吾々が調査會を起してコップに詰問した所、其後荒畑が大使に其の返事をするには及ばぬと云つたそうだ。荒畑、山川は大庭を殺した男だからさもあるべき事だ。實に憎むべき奴等だ」

佐野「大庭事件に就いて色々個人や團体の行動を知つてゐますが、貴君に話されま

「おう、儀右衛門どのか。よく來て下さんした。今朝の使ひが間に會つたか、どうかと思つて心案じをしてゐた所ちや」。

「いや丁度あれは具合よく、俺が畑へ出やうとする所へ持つて來た。それで畑の方は悴に任せて、早速に此家へ來たのぢやが、急な用件とは何事ぢやの」と老農儀右衛門は額の皺を深くする。

「その用件と云ふは他でもないが……」と、喜四郎は要心深く四邊を見廻して、人影の無いのを見定めると一段と聲を潜めて

「他でもないが、この頃の御藏入鄕の百姓達の有樣ちや。代官が山田樣となつて以來、一年も立たぬに、村の有樣は見違える程に變つて終つて、近頃では鷄一匹犬一匹さへ生きた物は居らぬ」。

「うむ」と儀右衛門は重々しく首肯く。

「それと云ふのも年貢の取立てが嚴敷いからちや。一畝の田から一俵も取れぬものを、やれ二俵出せ三俵出せ。出せなけりや衣類や膳椀までも剝いで行く。それも失くなりや年頃の娘を年貢のカタちやと云ふて掠奪かして行く。これを貴方はどう思はつしやる」。

「いや俺とても思ひは貴方と同じちや。今日までに幾度考えたか知れぬ……」と儀右衛門。

「それなら俺も腹の底を打開けやうが、俺はこの身体を投げ出して、直々に百姓達の難澁を御陣屋へ訴へて、代官山田八郎兵衛に腹切らせやうと思ふ。どうせ生命は無いものと覺悟はしてゐる」と喜四郎

「それは貴方が云ふ迄も無い。老耄でこそあれ、この儀右衛門も一緒に命を投げ出さう」。

「さうか、貴方も一緒に死んで下さるか」。

「どうせ俺はもう先の見えた老人ちや。悴がゐるからには後の事は心配はない。したが、貴方は妻も子もある。それに大切の家の柱ちや。萬一の事のあつた後はどうする」。

「喜四郎がこうと決心したからには、どうせ可哀想ちやが妻も子も諸共ちや。御藏入鄕の百姓達の爲めには、この家も潰す覺悟ちや」。

「うむ、そこ迄の覺悟なりや、俺にもよい智恵がある。これは俺達二人と云ふよりも、同志を募つて御陣屋に押寄せやう。それには布澤村の彌左衛門、境野村の兵左衛門、新遠路村の久次右衛門、瀧澤村の喜右衛門達に狀を廻して、事を謀るがよい」。

黒谷村の老農儀右衛門は、代々名主の家であつたから、鄕村に關する帳簿書類は悉く彼の手に保管されてゐた。

小栗山の喜四郎と黒谷村の儀右衛門とは、直ぐさま飛脚を御藏入鄕の六ケ村に飛ばせて、田島の陣屋に強訴して迄も代官山田八郎兵衛の首を取るか六ケ村を丸潰しにするかの一六勝負を試みることになつた。

（二）名主協議會農民を裏切る

其年の冬十二月廿七日には、昨夜のうちから降り頻る雪は曉方になつても止まず。地上には早くも三尺近い積雪。その上に眼口も開けられぬやうな粉雪が霏々として、降るわ降るわ、まるで雪の渦巻のやうである。

この雪の中に何處からとなく聞えて來る法螺貝の聲、それに交つて警鐘が一點二點、また續いて一點と曉の靜寂を破つて響いて來る。この警鐘の音に呼び醒されたやうに降り積つた雪を蹴散かして、彼方の村からも四五十人、此方の村からも三十人と法螺貝の音を目當てに小栗山の籠大高の森を目着して集つて來る人の數々。見るとどれもどれも筒袖袢纏に腰蓑を纏ひ繩の帶を締めた服裝に、向ふ鉢卷で手には竹槍鋤鍬の類を打ち振り打ち振り、殺氣は四邊に張つてゐる。

「そら押し寄せろ」。

せん。兎に角大庭氏は氣毒です―

以上の會話は極めて短かいものであるが其の中には實に深長な意味を含んでゐるで思つたから茲に記した次第である

私の犯罪

——松山政雄——

傷害罪　これは大正十三年二月北原が堺、山川の命を受けて進めを乘取らんとせしも未然に看破され行き掛けの駄賃に、進め保證金一千圓を拐帶して逃亡して了つた。

六月私共は北原とこの事件に携はり横田忠夫に道で遇つた所、此事件を憤る進め社の靑年が彼を殴打したから殺人未遂の告訴をされた。告訴數者は北原と德田球一である。一審に於いて懲役二ヶ月を科せられたが、二審に於いて布施辯護士の辯護に依つて診斷書か僞物であつたと云ふ事が發見されて罰金五十圓になつた。

新聞紙法違反　二月、四月號が九月になつて起訴されたので餘りに遲そしと不思議に思つた。そして新聞紙法違反は

「取巻け、たゝき潰せ」。

「惡代官の頸をねぢ切れ」。

口々に罵り騒いで、ぞろぞろと列をなして潮のやうに代官屋敷に押し寄せた農民の數は、六ケ村五百幾十人の人達であつた。代官山田八郎兵衞は早くから今日の百姓一揆を察してゐたと見えて、代官役所の門を閉め警護の者共には夫々槍、鐵砲、袖搦などの武器を持たせて、百姓一揆の奴原め何程の事やあらんとばかりに、若しも門前に近附く者あるなら袖搦みでネヂ伏せて生捕りにしやう。遠くから投石する者なら鐵砲の目標にかけて射殺して呉れやうと、準備怠りなく待ち構えてゐる所へ、千人に近い農民が殺氣を天に漲らして、矢でも鐵砲でも持つて來いとばかりに雪崩れを打つて陣所に押し入らうとしたので、忽ち鐵砲の釣瓶打ちにあつて、農民群の先頭に立つた者共はバタバタと倒された。白雪は見る間に紅と變じ、硝煙の匂は血の匂と混じて雪の上を漂ふ。呻吟の聲と叫喚とが農民群の中に起ると見る間に、今度は陣屋警護の步卒達目懸けて石が飛ぶ木片が飛ぶ、野獸の一大咆吼のやうなうなり聲が群集の中から聞えて來る。これに應戰して步卒隊も刀槍を打振つて割込んで來る。見る間に農民勢は追ひ捲くられて總崩れになりさうになつた、其の瞬間に

「代官所の方々に申入れる儀が御座る。今年上納の米や金子の御取立て甚だ嚴しく、私達百姓一同は最早や餓死しなければならぬ有樣で御座るぞ。一同が本日この御陣屋に押し寄せましたのは、この下情御憫察あつて税金取立ての儀些か御輕減願はしく、斯くは歎願に及ぶ次第で御座りまするぞ」と大聲に喚きながら群集を離れて、一通の訴狀を高々と差し上げながら陣屋の門に驅け寄つた一壯漢がある。

これ別人ならぬ小栗山村の喜四郎であつた。

それを見た役人の一人は

「如何にも歎願の趣は承知いたす。然し强訴するとは何事であるか、强訴は國の大法に背くとは知らぬか、馬鹿者の奴がッ」と大喝一聲に喜四郎を叱り飛ばした。

「それを存ぜぬ吾々共では御座りませぬ。よしやこの身は八裂きにされやうとも、六ケ村幾千人の百姓の生命にはかへられませぬ。押しても此儀御聞届けの程を願ひまする」

と臆する顏もなく押し返した。

理の當然に伏した警吏は軈て相談の上で、それでは鄕名主の手を經て歎願の訴狀を差出せよとの事に、農民軍の方でも一先づ退いて協議の上直ちに二百三十六ケ村の鄕名主を招いて協議會を開いたが、この協議會に集まる者は鄕頭十八人、名主二百三十六人であつた。所がこの鄕頭と名主との協議會は、結局右傾派が大多數を占めて、會議の結果は農民軍の爲めに甚しく不利となつて終つた。

この機會に乘じて代官山田八郎兵衞は農民一揆の首領の中でも、極左翼にゐる過激派の下山村の横之亟、同村の杢之助、境野村の彌左衞門、同村の四郎兵衞四人を秘かに逮捕して、何等の調べも行はずに牢獄に幽閉した。そして代官役所の附近に屯營してゐた百姓軍に對しては、容赦もなく威嚇と武力とを以て解散を命じ、その裏に廻つては鄕名主の協議會の買收に懸つたので、一溜りもなく右傾してゐた鄕名主協議會は、農民の難澁な生活には面を背けて、見事に裏切つて終つた。

小栗山村の喜四郎や黑谷村の儀右衞門其他の血を啜つて盟つた人々も、この協議會の哀れな最後を見ては最早や策の施しやうもなく、齒嚙みをしながらも空しく鄕里へ引上げねばならなかつた。

（三）歎願運動無効となる

享保六年の春になつて、雪はまだ四圍の連山には殘つてはゐるが、もう御藏入鄕の地面からは消えて、何となく麗かな春日和が續くやうになつた、小栗山村の喜四郎は再擧を計劃して、激を四方の農村に飛ばせて、宮床村の安正寺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大概收監される事はない筈だのに、私丈けは突然收監された。これも第二の不思議である。八月の末から進め社が主となつて世界の謎である大庭事件の調査を始め出したので警視廳が驚いて古い發賣禁止を司法處分として告訴した。噂に聞くと何人かゞ警視廳に投書した。曰く大庭調査會は過激な者共だからコツプを毆つて國際問題を惹き起こすと

これで萬事が判つて來た。
又我々調査會員が大使館に行つた翌日コツプが驚いて居つた所、荒畑勝三が調査會等は殘くに及ばぬ。彼等に返事をするに及ばぬと云つた。

大庭氏を殺した者は實に山川と荒畑勝三である。私共の調査は炳として明かである。流言蜚語を爲すも覆へす事が出來ない。

彼等大庭河公を殺せし發頭人等が狼狽して斯ふ云ふ小細工をするのである。これは知る人ぞ知る。又彼等と雖も自己を欺むく事は出來ないのである。此の新聞紙法違反は斯くの如き事情の下に告發され

に二百三十六ケ村の農民大會を開くことに手筈を決めて、密かに殘つた同志と共に仕事を進めた。軈て其日は來た。安正寺に集る者の數は數千人、その中から總代三十六人を選んで、百計盡きた今日となつては、江戸表へ直訴するより他はないと評議一決して、更らにその中から十五名の代表を選び出して江戸へ發足させ、殘りの者は國に止まつて費用の調達に奔走することとなつた。

喜四郎は即夜、妻子と別れて同志十五人と共に、死出の旅にも等しい江戸表へ直訴決行の爲めに發足した。見返へると空には星の影寒く故郷の山々は死のやうに眠つてゐる十五人の同志は樵夫または獵人の姿に變裝して、溪を渉り峰を越え、林を潜ぐりしながら、絶食したのも幾日か、樹の下に眠り巖の下に匿れして、嚴しい監視の眼を盗んで二月七日に幾十里の山河を踏破して漸く江戸の土地に入つたそこで、一先づ旅屋に落着いて、秘かに相談した結果、儀右衛門自身が筆を執つて訴狀十三ケ狀を認め、それに四十六ケ村百姓總代の名を連ねた。この出來上つた訴狀を携へて同志十五人の者が旅屋を出たのは二月十二日の朝である旅屋の番頭を案内人として一同は、寺社奉行松平對馬守の門前へ行つた。そして三人の者が邸内へ入つて願意のある所を對馬守に取次いで吳れるやうにと賴んだ。取次に出た者は玉置刑部左衛門であつたが

「お前達は何國の者でその身分は何者であるか」

と訊ねた。

「私達は會津南山の山田八郎兵衛殿御支配の百姓共で御座りまする」と答へると

「それではこの邸へ來ても仕樣が無いではないか」と突放されて、

「私達は何分にも山間僻地の百姓共で、萬事案内不明の爲めに當御邸へ罷出ました次第で御座りまするが、仰せの語は御尤もと存じますが、何卒一同の志をお憫み下すつて願意御取上げを願はしく存じます」と懇請した。

刑部左衛門もその志を憫んで、一同の者を邸に入れて休息させ、軈て對馬守に面謁してその旨を申入れると、對馬守もその趣を採用する事は出來難いが、願意だけは認めて差出せよとの事に、携へて來た訴狀を渡して一先づ引取らうとする所へ、更らに對馬守の語があるとて、この事件は地方奉行で取扱ふもの故に、水野伯耆守の邸へ罷出で願ふが宜しからんとの注意に、一同はその厚意を謝して夕刻に旅舍へと引上げた。

翌十三日には水野伯耆守の邸へ一同は赴いた所が、用人伊藤千右衛門は大に怒つて、一度は叱り飛ばしたが、代表の者達が懇々と說く農民窮乏の狀に動かされて、遂には伯耆守へ願意取次ぎを承諾し

「唯今の處は御他行中であるから、願書だけを差出して置くが宜敷い、何れ後日に改めて參るやう」との語だつたので一同はそれに勢を得て、十五日に再び伯耆守邸へ行くと勘定奉行坂本新左衛門邸へ行けと敎へられ、坂本新左衛門からは更らに大久保下野守の邸へ行けと敎へられた。

斯くして彼方此方こ引廻されてゐて、日を重ね月を過しても、更らに一同の宿望を果す時機は來なかつた。來なかつたばかりか反對に、四月八日となつて勘定奉行坂本新左衛門からの命令で、突然代官山田八郎兵衛の江戸邸へ出頭せよとの通知が來た。一同は茲で意を決して今一度水野伯耆守の邸へ訪れやうと出懸けたのは、その月の廿九日であつた。所が伯耆守の邸では今度は見事に跳ねつけられて終つた。

一方坂本新左衛門は幕府の命を受けて、會津南山領農民直訴の件に就て、取調べの爲めに會津へ下向する事となつたので、代官所では急に南山領の取締を嚴重に堅めた爲め郷里に殘つて金策してゐた連中も、手も足も出せぬ窮境になり、結果は江戸にゐる代表十五名の連中にも響いて來た

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たのである。一審で禁錮百日に處せられ、二審に於いて之れ亦罰金二百圓となつた。―茲に山川と荒畑と官憲に御禮を申上げ、更らに同志諸君に御報告致します（福田）

是非おぼえておかれたし

◇

農民勞働黨禁止後間もなく、共產黨員某々等二三名、吉川守邦方に來り、同氏に豪語して曰く。

「若し今後總同盟が政黨をつくれば我々は之を三日に待たずして乘取つて見せる」と、階級道德の冒瀆者として我等の常に憎むべき共產黨一味の此種の常套卑劣手段も此の豪語に至つて尙誰か彼等の爲めに抗辯せんとする非人格的愚者あらんや。

◇

注告す！「無產者新聞」第六號以後の態度一變に注目せよ！農民組合に賣る賣笑婦的媚加減、總同盟に對する惡口變節其の暗々裡に秘む裏切的手裏劍に氣づかざるべからず。流言、裏切、事實無根の捏造、誇張、握手――暗殺、背負投げは最も得意とする彼等の常用手段である。之を以外にして共產黨を見るべからず。（都保）

其處で喜四郎は長四郎、久左衛門の二人と一緒に江戶を發足して故鄕へ急行する事となつた。

（四）志士續々と逮捕

雨の降り頻る夜である。一寸先も見分けのつかぬ程な闇の夜を。これこそ故鄕に忍び込むには屈強と、喜四郎、長四郎、久左衛門の三人は變裝して國境を越えて、久振りで懷しい南山領の田島へ着いた。

田島の上町には小川屋と云ふ一旅舍があつて、主人の平左衛門は親の代から喜四郎の恩を受けた者である。

三人の志士はこの小川屋を目指して、瀧のやうに降り濺ぐ豪雨の中を漸くの事で小川屋に辿りつき、そつと雨戶を打たたく。

「平左衛門どの。平左衛門どの」と喜四郎は聲を忍ばせて板戶の隙に口を附けて呼んだ。

「誰ぢや」と平左衛門。

「一寸開けて下され、俺ぢや」。

「俺では判らぬわ、名を云へ、名を」。

「開けて下され、開ければ判る」と長四郎。

平左衛門は要心しながら、そつと入口の雨戶を引くと、その隙間から現れたのは小栗山村の喜四郎の顏であつた。

「おつ、喜四郎殿」と驚ろく聲を、慌てて手で制した喜四郎は、

「叱つ、靜かにして下され。今では野にも山にも要心しなけりやならぬ身ぢや」。

てから云つて素早く入つて來たのは三人であつた。

三人は平左衛門の奧座敷に旅裝を解いて、江戶の模樣を語り故鄕の其後の窮狀を訊ね、實は自分達三人が今度身を潛めて故鄕の土を踏んだのは、故鄕に殘つてゐる名主達と相談したい爲めであると打明けた。この時、眞逆にこの豪雨の最中に、この小川屋の周圍を密偵が徘徊してゐるとは四人の者は夢にも思ひ及ばなかつた。

所が案外にも密偵は三人が江戶を發足した頃から、見え隱れに追つて來てゐたので、三人の者が小川屋に入ると同時に、飛ぶやうに田島の代官所に驅け附けて、この事を報知せたから、待ち構へてゐた代官所の役人達は、今夜こそ喜四郎を縛り上げる好機會だ。この夜をはづしたら、何時來るか判らない。彼奴を取押へて責めて責め拔いて、日頃の鬱憤を晴らして吳れやうと、即刻、捕手の數を揃へて小川屋を包圍し、喜四郎等三人の寢所に踏み込んで、三人の者が夜具を跳ね退けやうとする隙もなく、折重なつて取押へて終つたのである。

喜四郎等三人を捕縛した代官所では、大喜びで每日のやうに表道具にかけて、三人を責め問ふけれど頑として何事も白狀せぬ。其處で方面を變へた代官所の役人は、黑谷村の儀左衛門の悴與市を呼び出して

「お前の父の罪狀は、喜四郎等の自白に依つて明白であるぞ。お前の父儀左衛門こそは今回の一揆の發頭人である。直訴に關して認め置いた書類が、お前の家には隱匿してあるに相違ない。速かにそれを差出すなら、お別は勿論のこと父の罪も許して遣すがどうぢや」と、威嚇温柔かはるがはる責め問ふた。

然し與市も流石に儀左衛門の悴であつた、やはり喜四郎等同樣に、頑として何事も喋らない。

假令自分の一命は棄てても、父は今、萬民の爲めに盡してゐる。その父の子として務めなければならぬ仕事を、自分は何で忘れてよいものかと、深く決心してゐるのであつた。

斯くして獄舍に繋がれてゐること二月三月と經て、長四郎は遂に牢死して終つた。無念に喰ひ縛つた形相を、靑白い月光の下に眺めながら、喜四郎等同志の者は鬼となり蛇となつても、この怨を晴らさで置く可きかと長四郎の空しき骸を圍んで堅く誓つた。軈て雁啼く秋の最中になつて儀左衛門の悴與市だけは、坂東新左衛門の志に依つて牢

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

から出されたが、喜四郎と久左衛門との二人は何時になれば出される運命やら。自分達二人も二年三年の後には、空しくこの牢獄の中で長四郎の後を追ふ身ではなからうかと思ふのであつた。

丁度この頃に江戸でも二つの不幸が續いた。江戸へ直訴に出た十五名の内で、喜四郎達三人は郷里へ歸つて捕へられ、江戸に殘つた儀左衛門達十二名の内で、市郎左衛門と勘左衛門との二人は樣々の心勞が積り積つて揚句に病床に就くやうになつたのである。間もなく急に病が重くなつて長四郎の死から間もなくこの二人も空しく怨を殘して遂に死んで行つたのである。

（五）志士の最後

郷里との通信は絶えて、喜四郎等三人の者の生死の程も更らに判らない江戸の同志は、愈々、今年の秋の刈入時も近づいて、遙かに思ひを故郷の暮雲に馳せれば、憤怒の爲めに滿身の血は煮え返へる思ひがする。

焦燥まいとはすれど郷里に飢え凍えてゐる幾千人の百姓仲間のことを思へば、もう凝つとしてはゐられぬ程に、義憤の血が火の柱のやうにこの胸の中に熔んと燃え上る。

「己れ、山田八郎兵衛。汝の頭を取らいでは、南山領何千人の百姓が枕を高ふして眠ることも出來ぬのぢや。唯一人の汝があるばかりに、何千人の人間が牛馬のやうに働いても、尚ほ飢え凍えて死んで行くのぢや。それに汝は榮耀榮華の仕放題。南山領の百姓の血の涙だけでも、汝は生きながら地獄に陷さねばならぬのぢや」。

江戸の旅屋で盡きぬ怨を呑んで死んだ市郎左衛門が、最後に殘した語はこれであつたのだ。殘された同志十名はこの一語を骨の中に迄も刻み込んでゐる。

その年も秋の終りになつて、地方奉行から突然の呼び出しで、十名の者が出頭すると意外千萬にも、悉く捕はれて獄舍の中へ投げ込まれて終つた。そして一人一人を引出して

「汝達、百姓の身分を以て、不屆にも法を犯して強訴をするなどとは奇怪至極。許し難い罪狀である。白狀すればよし、白狀せぬに於ては、水責め火責めの拷問にかけるがどうぢや。確と覺悟を決めて返答いたせ」との係役人の訊問である。

一同の者はこれに屈するやうな者ではない。總ゆる慘虐な手段を盡しての官憲の拷問も、志士の口を開かすことは出來なかつた。斯くなる上は止むを得ぬと奉行所でも持て餘し、郷頭一組から代表一名宛を呼び出して仔細に取調べるより他はないと奉行所の役人は會津に赴いて郷の組内から頭一名宛を順々に呼び出し、都合三百五十餘人を手錠、或は宿預けなどにして、氣長く調査に取懸つた。

その間約一ケ年。冬去り春來つて享保七年となつた。百姓中の六名の發頭人並びに彌右衛門が弟の彌五兵衛が歸國して、郷里に潜伏してゐることが知れて來たのと同時に、三人の名主がそつと江戸へ上つて、同志の者と心を合わせ謀をしてゐる仔細など、追々と知れて來たので、郷頭の中の和泉田村の直右衛門、松山村の新十郎、彌五島村の六兵衛の三人が先づ目星をつけられて、科料三貫文に命じられ役義取上げとなり、續いて八名の名主も同樣の憂目に會ひ、首謀者の中での喜四郎、儀右衛門、茂左衛門、兵左衛門、久次右衛門、喜左衛門、孫右衛門の七名は死罪獄門を申渡された。

獄舍から曳出された喜四郎は一歩一歩と西町鎌倉崎に護送せられた。この悲愴な死出の旅路を見送らんものと、この日は朝から押しかける群衆は道中に群がつて黑山の如くに誰も彼も喜四郎の姿を眺めて泣かぬ者はなかつた。

七月一日の空は朗かに晴れ渡つて、空には一片の浮雲もなく碧玉のやうに澄み渉つてゐる。喜四郎は裸馬に乘せられて、靜々と刑場へ曳き出される。續いて久次右衛門、喜左衛門、儀右衛門、茂左衛門と、順々に刑場に引据えられて、首の座になほると、警吏の一人は聲高らかに、六人の者の罪狀文を讀み上げるのである。

右六人の者共、郷中の百姓共の同心無之者迄强て連判を進め、且つ御年貢上納迄も差押へ、直訴の發頭をなせし重科に依り死罪獄門に行ふ者也

一擧萬民の疾苦を除き濟民救世の爲めに奮起した六人の志士も、空しく奸吏の奸策に陷つて、死罪獄門と云ふ極刑に處せられる。その肉をも啗はんと狩つた暴虐無道、慘忍奸譎な代官山田八郎兵衛は、この慘虐を眺めて莞爾と笑ひながら酒盃を擧げてゐるのである。喜四郎は靜かに刀吏の一人に向つて

「私が最後の願ひには、何卒一杯の酒を賜らば今生に於て思ひ殘すこと、更らに御座りませぬ」と請ふた。

編輯部便り

▲本號から顧問會議及び同人會議で編輯方針を一定し、その編輯方針に從つて編輯部委員が編輯することにした。本號は初てでもあり十分思ひ通りに編輯することは出來なかつたが、次號からは十分それを期する積りである。

▲去年はその秋期に臨んで福田、佐藤、渡邊の三同人の収監等あり加ふるに春期に於ける續けざまの發賣禁止(三回)の打擊のために、重大な時期に、(九、十、十一月の三ケ月間)休刊するに至つたのは眞に遺憾とする所である。本年は如何なることあるも決して休刊しない所存であるから、讀者諸君もその點は十分諒とされて貰ひたい。

▲裏面紳士を粧ふて遺憾なき所謂共産黨の諸君は、内部的には常に我が進め社に對してその得意の「宣傳」を以つて忍ぶ可からざる流言乃至誹謗を加へて來た。そしてこれに對して憤慨し乍らも、而も斯の如き共産黨の諸君獨特の細工の出來ない我々は、從來稍々もすれば誌上に於て彼等個人に當つて來た譏があつたが、以後は一切誌上から排する積りである。其の代り斯の如き流言乃至誹謗に對しては、直接人間と人間との交渉に依つて解決する覺悟である。

▲二年間我が進め社にあつて獻身的に活動した我が谷口直平君は、正月十日金澤九師團工兵九大隊に入營する。谷口君は朴訥純情にして志操を持して固く、人情へんぺんたる當代に於て實に稀に見る人物である。共にテーブルを圍み本誌を編輯しつゝ、君を送る情切なるものがある。(編輯部委員一同)

社告

一部實に拾錢

▲本號は本文四十八頁といふ「進め」創刊以來最初の大計畫である。定價は一部拾錢だが十二ケ月以上の拂込者に對しては特に社友として優遇し、

十二ケ月て金壹圓とする

▲別項規約の通り今度同志間の連絡を親密ならしめ且つ、意識を強調する意味で「進め會員メタル」を作製した。メタルの意匠は、骸骨が白刃を啣へてゐる。其れは犧牲を意味し、無産階級の解放は我等の屍の上に始めて成就せられる事を意味したものである。實費は送料共參拾錢支局及び讀者諸君の申込を俟つ。

▲我が社の創立以來、即ち鈴ケ森時代より今日に至る迄の我が社に關係せられた諸氏に毎月雜誌を寄贈したい。其等の諸氏は至急住所を御通知あらん事を希望する。

▲去る同人會議で長らく支局を經營されてゐる諸君の中より同人として推薦する事が決定された。

▲何日もの事であるが我が社名を詐稱して各所で詐欺、恐喝等を働いてゐる徒輩がある無論かゝる者と本社とは何等の關係もない。被害者は勿論支局、讀者諸君は斯る者を見聞した場合は、速時斷乎たる制裁を加へられん事を望む。

會計規約

雜誌の御註文に關してはどうか左の條項に御注意下さい。

一 雜誌に關する問合せ、注文等は會計係宛にして下さい

二 住所姓名は判り安く書いて下さい

三 誌代は成るべく六ケ月分以上前納して下さい

四 集金郵便、代金引換郵便等にて御注文はおことわりします

五 誌代の拂込みは振替が最も安全です(通信欄に用件を明記して下さい)

原稿募集

▲論文、全土戰報、論彈、詩歌、創作其他の原稿を募集する。取捨は編輯者に御一任ありたし。不揭の原稿は希望に依り返送する。特に地方讀者諸君の寄稿を俟つ。

支局募集

現在に於ける「進め」社の支局は全國にわたつてかなりの數に上つてゐるが、種々な都合上止めたのや、規約に違反したものやでハツキリと整理がついてゐない。そこで今度其の全部を整理し、更に改めて全國に大々的に支局を募集し、尠くとも一郡に一つの支局を設けて全國至る處、我等の雜誌の行き渡らざる處なしとまでにしたいと思ふ熱心なる地方の諸君はどしどし申込んで下さい。支局規約は申込者に送附します。

自由新聞
(一部拾錢)
靜岡縣志太郡島田町四八〇四
自由新聞社

勞働
(一部拾錢)
東京市芝區三田四國町二
日本勞働總同盟本部發行

文藝戰線
(一部二拾錢)
東京市外雜司ケ谷龜原五四
文藝戰線社

耕農自論
(一部拾錢)
富山縣中新川郡滑川町
耕農自論社

文藝前衛
創刊號
(一部貳拾錢)
東京市外西巣鴨町池袋二二二九
(山川方)
文藝前衛社

奔流
第二卷第一號
(一部五錢)
(一ケ年五拾錢)
大阪市東淀川區十三南ノ町六四二
奔流社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

新聞雜誌其他の印刷
東京芝區櫻田町十九
自由活版所
所長 岡千代彦

高群逸枝著
東京は熱病にかかつてゐる
定價一圓九拾錢
之は新しき否眞の女性の呼聲であり眞の女性必讀の長編詩集である。詩集と云つて從來の所謂詩集と思ふは諸君の誤りである。本著によつて著者家出の理由も解るであらう。特に無産婦人、無産青年に本書をすすむる所以は本書に盛れる其の内容の示すところである。
東京市外大久保百人町一二二
萬生閣發行

消化と
両博士方劑
仁丹
懐中良藥
毒けし

大阪代表名物
大阪あみだ池裏門
有効 金牌 粟おこし 福おこし 總本店 大黑
年末年始御贈答必適品
店主 小林林之助

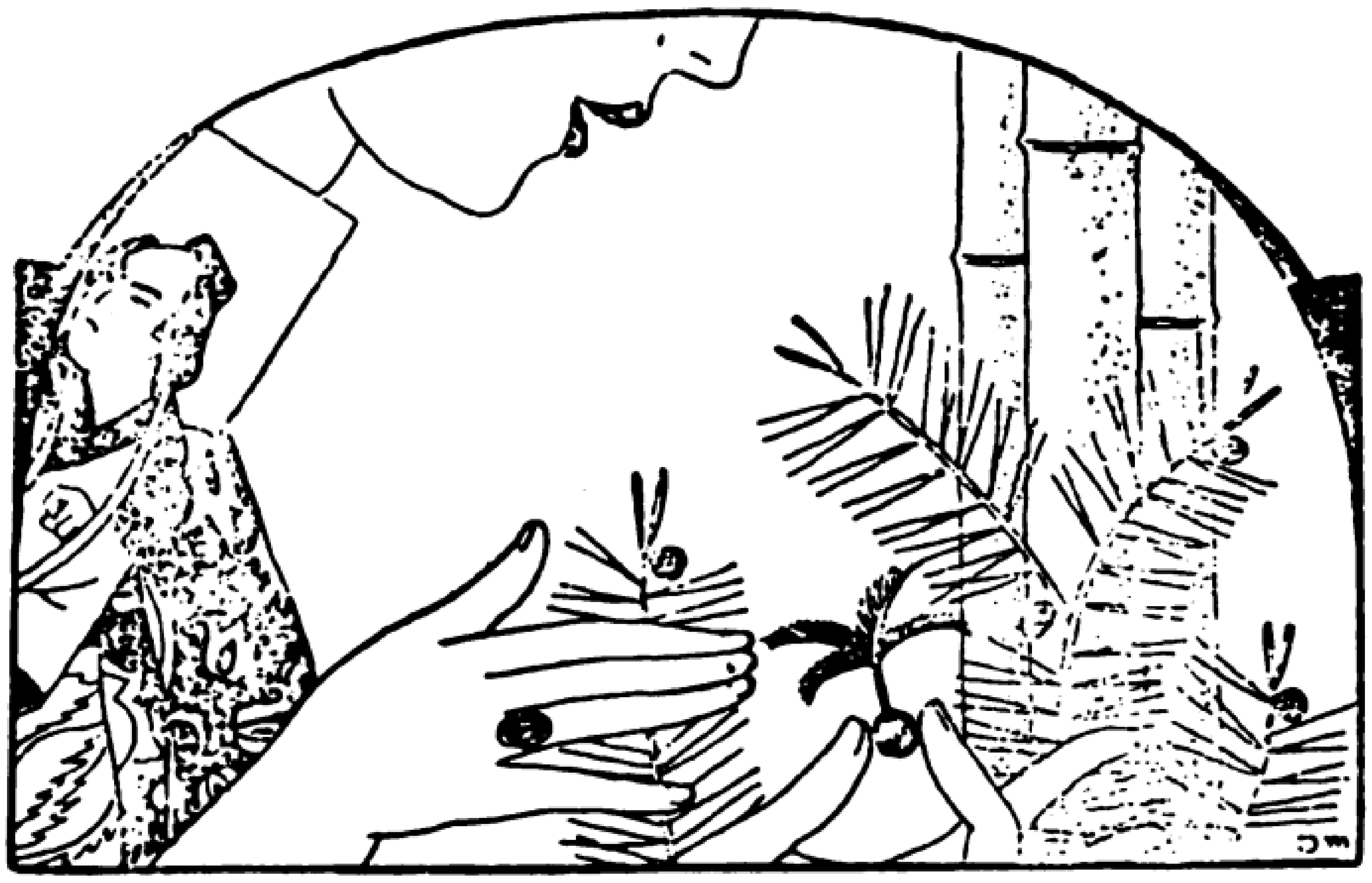
京都市下京區寺町四條上ル
帝國實業貯蓄銀行
京都支店

大阪市住吉區住吉町一六七
文明批評社發行
祖國と自由獄中號
中濱鐵獄中著作集
第一輯 黑パン
定價 五拾錢
第二輯、第三輯
一月上旬發刊

絨綿布
高級既成品
中古品
卸小賣
商
野村商店
大阪市東區
電話東一〇四六番
振替大阪一六六八番
特に
思想團體
勞働團體
水平社
に御用

喜谷實母散
主治効能
▼血の道
▼産前産後
▼子宮病
▼氣ふさぎ
▼こしけ
▼難産流産
▼白帯赤帯
▼逆上頭痛
▼足腰冷込
▼經期腹痛
▼下腹痛み
▼月經不順
定價及送料
壹貼 貳拾錢 二錢
三貼 五拾五錢 二錢
七貼 一圓廿錢 二錢
二十一貼 三圓卅錢 六錢
卅一貼 五圓 十二錢
本舗
東京市京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衞門

歐米時計及附屬品
裝身具各種美術品
ダイヤ翡翠珊瑚類
精工舍製時計
金銀盃茶器洋食器
寫眞器眼鏡双眼鏡
測量器及製圖器械
東京銀座二丁目
服部時計店
電話銀座 三七五五番 五五〇〇番 五五〇一番 六三三〇番 六三三一番 六三三二番 六三三三番 六三三四番
振替口座 東京二九八〇番



御清福を賀し奉る

昨秋増築開店後は大大阪を象徴せる理想的百貨店として格別の御引立を蒙りましたが今年は一層緊張味を以て懸命の努力を致しますれば倍舊の御愛顧を只管御願申上ます

日露協会主催
大阪日露貿易協会賛助
大阪朝日新聞社
大阪毎日新聞社 後援

ロシヤ展覧会

一月七日ヨリ廿八日マデ

陳列部門
一、美術（[illegible]）
二、貿易（[illegible]輸入品）
三、宗教
四、風俗
五、文化（[illegible]）

月曜休業◇夜間営業

大大阪中心店

大丸呉服店

大阪心斎橋

The Su-su-me Socialsts Monthly
Head office No 1 Sarugakucho 2-chome Kanda Tokyo.

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 ▲毎月一回一日發行 ▲定價一部十錢（税五厘）半年六十錢 一年一圓（税共） 發行所 東京市神田區猿樂町二ノ一（振替東京六九八五三番） 進め社
大正十五年一月一日發行 廣告料 一行一圓 一頁三百圓 發行兼編輯人 大阪市東淀川區十三南ノ町六四二 福田狂二

お買物は三越

◆三越には日常生活の御必要品は大低御座います
◆良い品は東京に限りますが東京でも三越の品ならば御安心であります

品は良く、價は廉く、品數は豊富

三越呉服店

◇東京駿河町◇

サクラビール

帝國麥酒株式會社
東京—大阪—門司